

MFSCalcR11・R06 取扱説明書(第1.05版)

0. 目次

1. 概要

- 1.1 目的
- 1.2 動作環境
- 1.3 インストール・アンインストール
- 1.4 入力・出力ファイル
- 1.5 利用制限
- 1.6 免責事項
- 1.7 機能概要

2. 基本操作

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 2.1 集計ファイルの設定 | 集計対象のファイル名情報、検索・集計項目の設定 |
| 2.2 集計条件の設定 | 集計条件(検索項目・集計項目)の設定 |
| 2.3 集計処理 | 集計処理実行、集計結果表示 |
| 2.4 集計処理応用編 | 複数ファイル比較集計、Sort、中間集計、総計集計 |
| 2.5 集計結果のファイル出力 | 集計結果のEXCELファイル(.xlsx形式)出力 |

3. MFSCalc専用機能

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 3.1 集計ファイル名 | 集計ファイル名の書式 |
| 3.2 月度・年度変換 | 数字列の月度・年度・年月・四半期・半期等への変換 |
| 3.3 CONVSTR1文字列変換式 | 集計ファイル、検索項目、計算項目の文字列変換式 |
| 3.4 DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式 | 日時データ(検索項目)、数値データの検索式 |

4. 各シート内容

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 4.1 集計処理シート | 集計条件の指定方法、指定内容の保存・設定他 |
| 4.2 集計条件シート | 集計条件リスト、月度・年度の基本値 |
| 4.3 設定処理シート | 集計ファイルの各項目、検索・集計対象項目の選択 |
| 4.4 LIST1シート | 集計ファイル名、検索・集計対象項目他リスト |
| 4.5 LIST2シート | 検索項目別検索値リスト |
| 4.6 FILE出力シート | 集計結果ファイル出力、集計条件設定値の入出力 |
| 4.7 WORKシート | 出力情報一時保存用 |

5. エラーメッセージ一覧

各処理の表示エラーメッセージ・原因・対処一覧表

※4. 各シート内容 以降は、正規版の説明書の記載内容です。

※本書に記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

本文中では、トレードマークの表示は明記していません。

更新履歴

- | | | |
|------------|--------|------------------------|
| 2014/12/6 | 第1.00版 | MFSCalcR11リリース |
| 2014/12/14 | | 項目シフト機能改良 |
| 2015/3/26 | 第1.01版 | 検索(※)機能改良 |
| 2015/12/11 | 第1.02版 | Windows 10動作確認済み、不具合修正 |
| 2017/2/8 | 第1.03版 | 画面切り替え関数変更、処理行列数拡張 |
| 2017/9/20 | 第1.04版 | 集計処理行数拡張、64bit対応 |
| 2018/6/20 | | パスワード無し保護シート読込対応 |
| 2019/1/12 | | 集計・計算混在exe不具合修正 |
| 2019/9/25 | 第1.05版 | 同行内計算機能追加 |
4. 各シート内容 4.1 集計処理シート (4) 集計項目の設定 参照

1. 概要

1.1 目的

MFSCalc (“エムエフエスカルク”)は、Windows EXCELマクロと連携して複数の表形式のEXCEL関連ファイル、EXCELシートのデータ集計、調査分析を目的としたアプリケーションソフトウェアです。

EXCELの基本知識を有した比較的大容量のデータに携わる方の業務に適合しています。

1.2 動作環境

以下の環境で動作確認済みですが、動作を保障をするものではありません。

- ・OS: Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10
- ・MicroSoft EXCEL: EXCEL 2010、2013、2016 (32bit, 64bit対応)
- ・使用メモリ: 4GByte以上を推奨

1.3 インストール・アンインストール

- ・アプリケーションソフトウェア、説明書は、ZIP形式の圧縮ファイルで提供されます。
- ・解凍後、展開されたアプリケーションが実行ファイル、取扱説明書、関連データです。
- ・アンインストールは、アプリケーションファイルを削除して下さい。

『プログラムの追加と削除』一覧からの削除操作は必要ありません。

【重要】正規アプリケーション利用には、ライセンス・キーの設定が必要です。

4.6 FILE出力シート、(3.4) ライセンス・キー設定 を参照して下さい。

1.4 入力・出力ファイル

(1) 入力ファイル

以下の、表形式のEXCEL関連ファイルの入力・集計処理が可能です。

- ・**CSVファイル**: MSFCalcR06、MFSCalcR11 で入力・集計処理が可能です。
MSFCalcR06では、カンマ区切り限定ですが、最終行(EOF:End Of File)まで読込むため、行数の制限はありません。
MFSCalcR11では、EXCELシートとして読込むため、EXCELの最大行数制限があります。
- ・**EXCEL関連ファイル**: MFSCalcR11 のみ入力・集計処理が可能です。
.xls、.xlsx、.xlsm フォーマットのEXCELデータが入力・集計処理可能です。
.csv、.xlsx、.xlsm フォーマットの混在リストの入力・集計処理が可能です。
- ・表形式の入力ファイルの項目の並びは同一が原則ですが、項目列の調整機能を使用する場合は、項目名が一致していることが条件です。
- ・入力ファイルは読込専用で読込むため、処理によって情報は変更されません。

(2) 出力ファイル

集計結果は、.xlsx フォーマットでファイル出力可能です。

1.5 利用制限

MFSCalcアプリケーションを使用する場合、以下の点を遵守してください。

- ・Windows PCのみで利用可能です。
- ・日本国内の日本語環境で使用して下さい。
- ・ライセンス・キー購入前に試用(トライアル)で動作確認を必ず行って下さい。
試用(トライアル)は10日間可能です。集計結果の最大行数: 500行に制限されます。
- ・ライセンス・キーの設定後、使用期間の制限はありませんが、半年以上未使用の場合、新規利用PCでは動作しない場合があります。
- ・導入したWindows PCは、EXCELとマクロが動作可能状態であることが必要です。
- ・利用PCは、利用者自身のみが使用する2台まで可能ですが、PCの環境設定を変更した場合は、新規利用PCと認識される場合がありますので、ご注意下さい。
利用PC内では、MFSCalcアプリケーションのコピーは自由です。
- ・複数利用者が共有される環境でのMFSCalcアプリケーションの保存、利用は禁止します。
- ・MFSCalcアプリケーションの利用者自身以外への送付、配布は禁止します。
MFSCalcアプリケーションから出力されたファイルは、利用者以外へも配布可能です。
- ・著作権表示は絶対に消去・変更・複写しないで下さい。背景と同じ色にしたり、塗潰しを行ったり、サイズを変更することも禁止します。

1.6 免責事項

このソフトウェアの使用、または使用不可によって生じた、いかなる問題も著作権者はその責任を負いません。このソフトウェアの変更や不具合修正の対応責任も負いません。
この文書の内容およびソフトウェアの意匠、仕様は予告なしに変更されることがあります。

1.7 機能概要

(1) アプリケーションの起動



・アプリケーションを直接または、ショートカットより起動します。
 ※アプリケーションファイル名に“MFSCalc”の文字列を含めて下さい。
 例：サンプルデータ集計(MFSCalc)、月次処理用_MFSCalc等
 ※PC内で、利用するフォルダに、MFSCalcアプリケーションをコピーし、
 各フォルダ毎の設定を行うと効率的です。

(2) 基本機能

基本機能/INDEX	処理内容	操作シート	更新シート	ファイル入出力
①集計項目設定 2.1(1)、4.3(1)	集計ファイル項目名の選択・設定	設定処理	設定処理 LIST1	集計ファイル入力 (基準ファイル・シート)
②集計ファイル設定 2.1(2)、4.1(2)	集計対象ファイルの選択・設定	集計処理	設定処理 LIST1	集計ファイル入力 (対象ファイル・シート)
③集計条件設定 2.2(1)～(2) 4.1(3)～(7)	集計処理条件の設定 設定値の保存・設定 検索値リスト設定	集計処理 集計条件	集計処理 集計条件 LIST2	無し
④集計処理 2.3、4.1(1)	集計処理の実行	集計処理	集計処理	集計対象ファイル入力 (対象ファイル・シート)
⑤集計結果出力 2.5、4.6(1)	集計結果のWORK・ ファイルへの出力	FILE出力	WORK	集計結果ファイル出力 (.xlsx形式)
⑥設定値の入出力 4.6(3)	集計条件設定値の ファイル入出力	FILE出力	全シート	設定値ファイル入出力 (.xlsx形式)

・MFSCalcシート構成



(3) 制約事項

	R11	R06
集計ファイル形式	.csv、.xls、.xlsx、.xlsm 異なるファイル形式の集計可能	.csv(カンマ区切りのみ)
入力可能最大行数	1048576行	制限無し
最大処理行数※1	最大 10000行(トライアル 500行)	最大 10000行(トライアル 500行)
最大項目数	最大 40項目	最大 40項目
集計結果出力形式	.xlsx	.xlsx
集計ファイルによる 処理速度低下要因	他データへのリンクが有る場合 ファイルが大容量の場合は、 処理時間がかかる傾向が有ります。 対策として、集計対象の シートデータを、別ファイルへ 値のみコピー作成が有効です。	一行の項目数が多い大容量の ファイル場合は全項目分データ を読み込む為、R11より時間が かかる場合があります。
データ最終行認識	集計範囲は、1行分データが 無い行で、処理が終了します。	EOF(End Of File)が認識不可の 場合は、EXCELで開き、CSV (カンマ区切り)で再保存すると 正常認識するようになります。
使用上の注意点	アプリケーションに含まれる、シートは削除しないで下さい。 また、シート名を変更しないで下さい。シートの削除、シート名の変更を行った場合、アプリケーションが正常動作しません。 「LIST2」シートと「WORK」シートは、行列単位で削除が可能です。	
使用可能期間	インストール後の試用期間は、10日間をお願いします。 半年以上未使用の場合、新規PCで動作しない場合があります。	

※1:「集計処理」シート12行目からの最大集計結果出力行数(中間集計、総計を除く)。

(4) 適合業務

- ① 定期的(日次、週次、月次、四半期、半期、年次等)にEXCELデータの集計処理が有る。
- ② 保存されているEXCELデータの集計業務、複数データの比較・調査業務が有る。
- ③ ピボットの設定・操作・データ更新に慣れない。集計業務で残業が多く、早く帰りたい。

2. 基本操作

MFSCalcR11 で新規にデータ集計・結果出力を行う場合の基本操作手順を説明します。
MFSCalcR06は、CSVファイル集計専用ですが、操作手順はMFSCalcR11と同等です。
詳しい設定については、**3. MFSCalc専用機能**以降を参照して下さい。

2.1 集計ファイルの設定

(1) 検索・集計項目設定、MENUリスト作成。

集計を行う同一種類のデータの場合は、最初に集計設定・設定保存を行い以降は、
設定保存済みの集計設定を継続利用しますので、再設定する必要はありません。
継続利用時に、新規集計ファイルがある場合は、(2) 集計ファイル設定を行います。

(1.1) 集計ファイルフォーマット選択

	A	B	C	D	E
1		EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan
2	RUN	ファイル設定:			
3	保存	処理ファイル:			
4	設定	START/FINISH			
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索
6	検索項目/集計項目				
7	(検索1/File1,				
8	検索項目,計算式)				
9	(検索2/File2,検索2)				
10	Sort				
11	Format				
12	No.				

① 集計ファイルフォーマット選択

- ・EXCEL情報集計: .xls、.xlsx、.xslm フォーマットが対象
- ・csv情報集計: .csv フォーマットが対象(MFSCalcR06の場合は固定)

(1.2) 基準集計ファイルの選択

	A	B	C	D	E
1	【検索・集計MENU				
2	※ 集計項目読み込み	MENU表示	0_number		
3	○ 検索項目/□ 集計項目	※ MENU表示			
4	項目1-10	項目 1(A)	項目 2(B)	項目 3(C)	項目 4(D)
5	項目名				
6	MENU選択				
7	MENU名				
8					
9	項目11-20	項目 11(K)	項目 12(L)	項目 13(M)	項目 14(N)
10	項目名				
11	MENU選択				
12	MENU名				

②「設定処理」シートの、[※集計項目読み込み]をクリックします。

③ファイルエクスプローラ画面が表示され、集計ファイルを1ファイル選択します。

名前	更新日時	種類
DATA201501	2014/11/15 20:09	Microsoft Excel
DATA201502	2014/11/15 20:11	Microsoft Excel

選択されたファイルのデータと、項目行選択画面が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	地域	支店	日時	売上	原価	その他		
2	東京	新宿	2015/1/10 10:30	6000	3500	600		
3	東京	渋谷	2015/1/12 13:40	9000	5500	800		
4	北海道	札幌	2015/1/15 16:10	3000	2000	250		
5	大阪	梅田	2015/1/20 9:10	10000	5000	1000		
6	福岡	博多	2015/1/25 14:50	4000	2500	300		
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

入力

項目(シート・行)を選択(セルのクリック)して下さい。

\$A\$1

OK キャンセル

④集計対象の表形式のデータシートへ移動し、データ項目行をクリックします。

例:セルA1を選択すると、項目行選択画面に選択位置が表示されます。

※データ項目行でしたら、どのセル(A1~F1)の選択でも構いません。

⑤[OK]をクリックします。

※複数行が結合された項目の場合、EXCEL形式ファイルでは自動認識します。

CSV形式ファイルでは複数行の項目データで表示されていますので、カーソル移動により複数行の選択を行って下さい。(3行まで項目行の場合、Sheet1!\$A\$1:\$A\$3となります。)

「設定処理」シートに、項目名が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	【検索・集計MENU設定】						
2	※ 集計項目読み込み		MENU表示	0_number		○□[●] LIST1 MENU設定	
3	○ 検索項目/□ 集計項目		※ MENU表示			※ LIST1リストへMENU設定	
4	項目1-10	項目_1(A)	項目_2(B)	項目_3(C)	項目_4(D)	項目_5(E)	項目_6(F)
5	項目名	地域	支店	日時	売上	原価	その他
6	MENU選択						
7	MENU名						
8							
9	項目11-20	項目_11(K)	項目_12(L)	項目_13(M)	項目_14(N)	項目_15(O)	項目_16(P)
10	項目名						
11	MENU選択						
12	MENU名						

(1.3) 検索項目・集計項目選択、「LIST1」シートへMENUリスト作成

検索項目で使用する項目と、集計項目で使用する項目を選択して、「LIST1」シートへMENUリストを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	【検索・集計MENU設定】						
2	※ 集計項目読み込み		MENU表示	0_number		○□[●] LIST1 MENU設定	
3	○ 検索項目/□ 集計項目		※ MENU表示			※ LIST1リストへMENU設定	
4	項目1-10	項目_1(A)	項目_2(B)	項目_3(C)	項目_4(D)	項目_5(E)	項目_6(F)
5	項目名	地域	支店	日時	売上	原価	その他
6	MENU選択	○	○	○	□	□	□
7	MENU名	地域_1	支店_2	日時_3	売上_4	原価_5	その他_6
8							
9	項目11-20	項目_11(K)	項目_12(L)	項目_13(M)	項目_14(N)	項目_15(O)	項目_16(P)
10	項目名						
11	MENU選択						
12	MENU名						

⑥「設定処理」シートのMENU選択から、2.2 集計条件の設定で使用する項目を、検索○、集計□、検索・集計○□で選択します。

⑦[MENU表示]をクリックして、MENU名を表示します。(確認用のため、省略可能です。)

・項目名_項目番号(0_number)の形式で表示されます。

⑧[○□[●]LIST1 MENU設定]をクリックして、「LIST1」シートへ項目リストを作成します。

⑨「LIST1」シートに検索項目・集計項目リストが作成されます。

	A	B	C
1	データファイル	検索項目リスト	集計項目リスト
2			
3		※	売上_4
4		地域_1	原価_5
5		支店_2	その他_6
6		日時_3	
7			
8			

・検索項目リストの(※)は、検索値を設定せず、集計のみ行う場合に設定します。

⑩「LIST1」シートの D22:D25セルに項目行基準位置情報が作成されます。

開始行_1	⑩
項目行_1	
判定列_0	
最終列_0	

開始行: 集計データが始まる1行前の行番号

項目行: 項目行の行数(項目行セルを複数行結合した場合は2以上)

判定行: 0は全て空白の行までを集計範囲とします。

最終列: 0は項目が空白項目までを集計範囲とします。

・(2)集計ファイル設定で、項目行が認識不能の場合は、基準位置情報が使用されます。

(2) 集計ファイル設定、集計ファイルリスト作成
集計ファイルリストを「LIST1」シートに作成します。

	A	B	C	D	E
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan
2		ファイル設定:			
3	保存 設定	処理ファイル:			
4		START/FINISH			
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索
6	検索項目/集計項目				
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)				
8	(検索2/File2, 検索2)				
9	Sort				
10	Format				
11	No.				

①「集計処理」シートの集計ファイルの形式を選択します。

※(1.1)集計ファイルフォーマット選択と異なるフォーマットでも選択可能です。

②[ファイル設定:]をクリックします。

③ファイルエクスプローラ画面が表示され、集計ファイルを選択します。

名前	更新日時	種類
DATA201501	2014/11/15 20:09	Microsoft Excel
DATA201502	2014/11/15 20:11	Microsoft Excel

・複数ファイル選択可能です。複数ファイルの選択の場合は、Shiftキー、Ctrlキーを押して選択します。

選択された1ファイル目のシート情報の選択画面が表示されます

A	B	C	D	E
1	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan
2	ファイル設定:	C:\DATA\SAMPLE		
3	処理ファイル:			
4	START/FINISH			
5	集計条件01	検索	検索	検索
6	検索項目/集計項目			
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)			
8	(検索2/File2, 検索2)			
9	Sort			
10	Format			
11	No.			

FILE: DATA201501 Sheet選択

SHEET

201501
Sheet2
Sheet3

LIST1シートのファイルリスト更新

☒ 新規リスト作成 ☐ 既存リストへ追加

☐ フォルダ情報のみ更新

ファイル名情報

☒ ファイル名のみ(フォルダ情報更新)

☐ FULL NAME(フォルダ情報更新無)

ファイルリストのシート表示

☒ シート名表示 ☐ シート番号表示

2ファイル目以降のシート情報

☒ 全ファイル入力 ☐ 全ファイル同一

項目行: 1 OK

④集計対象データシートと、「LIST1」シートの集計ファイルリストの作成方法を選択します。

・SHEETリストに表示された集計データシートを選択します。
複数の集計データシート選択の場合は、Shiftキー、Ctrlキーを押して選択します。

・LIST1のファイルリスト更新

- ・新規リスト作成: 集計ファイルリストを新規に作成します。
- ・既存リストへ追加: 既にファイルリストが有る場合、ファイルリストを追加します。
- ・フォルダ情報のみ更新: C2セルのフォルダ情報のみ更新します。
(⑥フォルダ情報のみ更新され、その他の設定は無効です。)

・ファイル名情報

- ・ファイル名のみ(⑥フォルダ情報更新): ファイル名のみのリストが作成されます。
(フォルダ情報に表示されたフォルダに有るファイルを意味します。)
- ・FULL NAME(⑥フォルダ情報更新無): フルパスのファイルリストが作成されます。
(フォルダ情報のフォルダに無い集計ファイルの場合、フルパスにしたい場合)

・ファイルリストのシート表示

- ・シート名表示: 集計ファイル名のシート情報がシート名となります。
(集計ファイルが、.xls、.xlsx、.xlsm の場合は、シート名表示が設定されます。)
- ・シート番号表示: 集計ファイル名のシート情報がシート番号となります。
(集計ファイルが、.csv の場合は、シート番号表示が設定されます。)

・2ファイル目以降のシート情報

- ・全ファイル入力: 2ファイル目以降も、シート情報の選択画面が表示され、各シート情報を選択します。
- ・全ファイル同一: 2ファイル目以降は、1ファイル目と同一のシート情報として、集計ファイルリストが作成されます。

・項目行: (通常は変更しません。)

(1) 検索・集計項目設定、MENUリスト作成、⑨「LIST1」シートの検索項目・集計項目MENUリストで作成された、「LIST1」シートのD22セルの項目行基準位置情報が表示されています。選択したファイルの項目行は自動検出されますが、自動検出失敗時に使用する項目行番号を入力します。

※(各シートの項目行は「設定処理」シートの項目名で自動検出されますが、検出に失敗した場合は、Warningが表示され処理は継続可能です。)

⑤[OK]をクリックします。

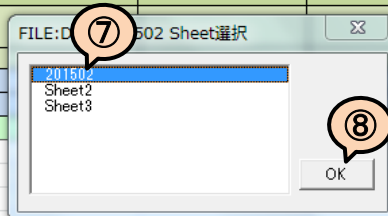
1ファイル目の情報が「LIST1」シートのファイルリストに作成されます。

「集計処理」リストのフォルダ情報(C2セル)にデータフォルダが表示されます。

「集計処理」リストの最初の集計項目に1ファイル目の集計ファイルが表示されます。

⑦2ファイル目以降のシート情報選択

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2	保存 設定	ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE			
3		処理ファイル:				
4		START/FINISH				項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目					
7	(検索1/File1)					DATA201501.xlsx[
8	(検索項目,計算式)					201501:1]
9	(検索2/File2,検索2)					
10	Sort					
11	Format					
12	No.					
13						
14						
15						



2ファイル目以降のシート選択画面が表示されますので、シートを選択します。

複数の集計データシート選択の場合は、Shiftキー、Ctrlキーを押して選択します。

⑧[OK]をクリックします。

⑨「LIST1」シートに集計ファイルリストが作成されます。

	A	B	C
1	データファイル	検索項目リスト	集計項目リスト
2			
3	DATA201501.xlsx[201501:1]	※	売上_4
4	DATA201502.xlsx[201502:1]	地域_1	原価_5
5		支店_2	その他_6
6		日時_3	
7			

集計ファイルリストは、最大98ファイル・シートまで作成可能です。

※書式: ファイル名[シート名:項目行番号] のフォーマットで作成されます。

詳しくは、3.1 集計ファイル名 を参照して下さい。

2.2 集計条件の設定

「集計処理」シートに設定する集計条件は次の設定条件が有ります。

- ・検索項目、集計項目、計算項目が有り、合計最大40項目まで設定可能です。
- ・「集計処理」シートの検索項目は、標準で4項目設定されていますが、合計20項目まで設定可能です。
- ・項目5(F)以降は、検索項目、集計項目、計算項目の混在設定が可能です。
- ・最初の集計項目に集計ファイルの設定が必要です。集計項目に集計ファイル設定が無い場合は、左側の集計項目に設定された集計ファイルが引き継がれます。
- ・集計項目、計算項目より右側の検索項目は検索値の設定が必要です。
- ・検索項目の検索値を省略する場合は(※)を設定します。
- ・集計項目の最終項目(6～10行が空白の項目)以降の集計処理はされません。

(1) 検索項目の設定

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE			
3	保存	処理ファイル:				
4	設定	START/FINISH				
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	項目5(F) 集計
6	検索項目/集計項目 (検索1/File1, 検索項目,計算式)	※ 地域 1				DATA201501.xlsx[201501:1]
7	(検索2/File2,検索2)	支店 2				
8	Sort	日時 3				
9	Format					
10	No.					
11						

① 検索項目の選択を行います。

- ・検索項目の検索項目/集計項目行(6行目)、プルダウンメニューから選択します。
- ・検索項目2～検索項目4の検索値の設定は省略可能です。

(2) 集計項目の設定

「集計処理」シートの集計項目は、項目5(F)以降に設定されています。

項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)	項目8(I)
集計	集計	集計	集計
売上 4	原価 5		
DATA201501.xlsx 201501:1]		売上 4 原価 5 その他 6	
¥#,##0¥-#,##0	<<==		

②～④集計項目をメニューから選択します。

⑤集計ファイルを設定します。設定が無い場合は、左側の集計ファイルの設定を引き継ぎます。

⑥Sort行(9行目)、プルダウンメニューから選択します。

Sortは最大6階層まで、昇順・降順の選択が出来ます。同一階層の場合は左から順に適用されます。

⑦Format行(10行目)、プルダウンメニューから集計結果の表示形式を選択します。

メニューに無い表示形式は、EXCELのフォーマット形式に従い直接入力可能です。

<<==は、左項目の設定を引き継ぎます。

2.3 集計処理

(1) 集計処理実行

①[RUN]をクリックして、処理を開始します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	RUN	EXCEL 情報集計	MFSCalcR11.0	10000行x40項目	Made in Japan			
2		ファイル設定:	C:\¥DATA\¥SAMPLE					
3	保存 設定	処理ファイル:						
4		START/FINISH				項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	原価_5	その他_6
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
8	(検索2/File2,検索2)							
9	Sort							
10	Format					¥###0¥-#.#0	<<==	<<==
11	No.							

検索項目・集計項目の設定内容を確認して、[RUN]をクリックします。
※処理を中断する場合は、[Esc]キーを押して下さい。

(2) 集計結果確認

(2.1) 集計結果

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	RUN	EXCEL 情報集計	MFSCalcR11.0	10000行x40項目	Made in Japan			
2		ファイル設定:	C:\¥DATA\¥SAMPLE					
3	保存 設定	処理ファイル:	DATA201501.xlsx[201501:1]					
4		START/FINISH	6:25:05 AM	6:25:06 AM	処理終了:4	6	*	*
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	原価_5	その他_6
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
8	(検索2/File2,検索2)							
9	Sort							
10	Format					¥###0¥-#.#0	<<==	<<==
11	No.	地域	検索2	検索3	検索4	売上	原価	その他
12		1 東京				¥15,000	¥9,000	¥1,400
13		2 北海道				¥3,000	¥2,000	¥250
14		3 大阪				¥10,000	¥5,000	¥1,000
15		4 福岡				¥4,000	¥2,500	¥300

②12行目以降に集計結果が表示されます。

(2.2) 集計処理結果の情報

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL 情報集計	MFSCalcR11.0	10000行x40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA\¥SAMPLE			
3	保存 設定	処理ファイル:	DATA201501.xlsx[201501:1]			
4		START/FINISH	6:25:05 AM	6:25:06 AM	処理終了:4	6
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)					
9	Sort					
10	Format					¥###0¥-#.#0
11	No.	地域	検索2	検索3	検索4	売上
12		1 東京				¥15,000
13		2 北海道				¥3,000
14		3 大阪				¥10,000
15		4 福岡				¥4,000

③処理ファイル(C3セル): 集計処理中の場合、集計中の集計ファイル名が表示されます。
集計処理終了後は、最後に読込んだ集計ファイル名が表示されます。

④集計ファイル最大行数(F3セル): 集計終了時に集計ファイル最大行数が表示されます。
G3セルより右側のセルに * が表示される場合は、集計処理中、集計処理済みの集計項目になります。

⑤START/FINISH(C4/D4セル): 処理の開始時刻および、終了時刻が表示されます。
(表示例では、開始時刻: 午前6時25分5秒、終了時刻: 午前6時25分6秒となります。)

⑥処理中/処理終了(E4セル): 集計処理中は処理中と表示されます。
処理終了後は、処理終了: 集計結果行数 が表示されます。

2.4 集計処理応用編

(1) 複数ファイル集計・総計表示・Sort設定

集計項目に複数集計ファイル設定、総計表示設定、Sort設定を行います。

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA\¥SAMPLE			
3	保存 設定	処理ファイル:	DATA201501.xlsx[201501:1]		6	
4		START/FINISH	6:25:05 AM	6:25:06 AM	処理終了:4	項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域 1				売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort					▼1
10	Format					¥##,##0¥-#,##0
11	[No.]	地域	検索2	検索3	検索4	売上

①連番項目(A11セル)に、[No.]を選択します。[]で囲むと総計表示を行います。

②集計項目に、集計開始ファイル名と集計終了ファイル名を選択します。
「LIST1」シートの集計ファイルリストの設定順に、開始ファイル名から終了ファイル名を選択します。

③Sort行(9行目)に昇順・降順Sort設定をします。(設定例:F9セルに降順Sort設定)

実行結果:

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan			
2		ファイル設定:	C:\¥DATA\¥SAMPLE					
3	保存 設定	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]		6			
4		START/FINISH	6:33:41 AM	6:33:41 AM	処理終了:4	項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計	集計
6	検索項目/集計項目	地域 1				売上 4	原価 5	その他 6
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
9	Sort					▼1		
10	Format					¥##,##0¥-#,##0	<<=	<<=
11	[No.]	地域	検索2	検索3	検索4	売上	原価	その他
12		1 東京				¥28,000	¥17,000	¥2,600
13		2 大阪				¥17,000	¥9,000	¥2,000
14		3 北海道				¥7,000	¥4,500	¥550
15		4 福岡				¥7,000	¥4,500	¥500
16	総計					¥59,000	¥35,000	¥5,650

DATA201501.xlsx と DATA201502.xlsx の集計結果(売上金額順)・総計が表示されます。

(2) 複数ファイル集計・月別集計・総計表示・Sort表示

集計項目に複数集計ファイル設定、月別集計設定、Sort設定を行います。

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA\¥SAMPLE			
3	保存 設定	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]		6	
4		START/FINISH	6:41:29 AM	6:41:29 AM	処理終了:4	項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域 1				売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort					▼1
10	Format					¥##,##0¥-#,##0
11	[[年月]]	地域	検索2	検索3	検索4	売上

①連番項目(A11セル)に、[[年月]]を選択します。[[]]で囲むと年月毎中間集計・総計表示を行います。

②集計項目に、処理開始ファイル名と集計終了ファイル名を選択します。
「LIST1」シートの集計ファイルリストの設定順に、開始ファイル名から終了ファイル名を選択します。

③Sort行(9行目)に降順Sort設定をします。(設定例:F9セルに降順Sort設定)

実行結果:

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	RUN	EXCEL 情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan			
2		ファイル設定:	C:\DATA\YSAMPLE					
3	保存 設定	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]					
4		START/FINISH	6:43:02 AM	6:43:03 AM	処理終了:8	項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	原価_5	その他_6
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
9	Sort					▼1		
10	Format					¥#,##0¥-#.#	<<==	<<==
11	[[年月]]	地域	検索2	検索3	検索4	売上	原価	その他
12	2015年01月	東京				¥15,000	¥9,000	¥1,400
13	2015年01月	大阪				¥10,000	¥5,000	¥1,000
14	2015年01月	福岡				¥4,000	¥2,500	¥300
15	2015年01月	北海道				¥3,000	¥2,000	¥250
16	2015年01月 集計					¥32,000	¥18,500	¥2,950
17	2015年02月	東京				¥13,000	¥8,000	¥1,200
18	2015年02月	大阪				¥7,000	¥4,000	¥1,000
19	2015年02月	北海道				¥4,000	¥2,500	¥300
20	2015年02月	福岡				¥3,000	¥2,000	¥200
21	2015年02月 集計					¥27,000	¥16,500	¥2,700
22	総計					¥59,000	¥35,000	¥5,650

DATA201501.xlsx と DATA201502.xlsx の集計結果(売上金額順)・年月毎集計・総計が表示されます。

・MFSCalcでは、標準でファイル名の数字列を yyyyymm の日付として処理可能です。
詳しい設定については、**3. MFSCalc専用機能**、**4. 各シート内容** を参照して下さい。

(3) 複数ファイル集計・総計表示・Sort表示・差分表示

集計項目に複数集計ファイル設定、月別差分計算、Sort設定を行います。

項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)	項目8(I)	項目9(J)	項目10(K)
集計	集計	集計	集計	計算	計算
売上_4	原価_5	売上_4	原価_5		
DATA201501.xlsx[201501:1]		DATA201502.xlsx[201502:1]		H#-F#	I#-G#
▼1					
¥#,##0¥-#.#	<<==	<<==	<<==	<<==	<<==
売上	原価				

①連番項目(A11セル)に、[No.]を選択します。[]で囲むと総計表示を行います。

②③集計項目をメニューから選択します。

④集計項目に、集計ファイル名を選択します。

⑤⑥計算項目を設定します。(メニューから選択します。)

⑦⑧計算項目に計算式を入力します。(例では、売上金額と原価金額の2ファイル間の差分を計算します。)

※計算式の先頭にイコール(=)を付けません。

項目列#で計算対象の集計項目列を表します。(同じ行の値での計算になります。)

詳しい設定については、**3. MFSCalc専用機能**、**4. 各シート内容** を参照して下さい。

実行結果:

	A	B	C	D	E
1	RUN	EXCEL 情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan
2		ファイル設定:	C:\DATA\YSAMPLE		
3	保存 設定	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]		
4		START/FINISH	6:46:54 AM	6:46:54 AM	処理終了:4
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索
6	検索項目/集計項目	地域_1			
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)				
8	(検索2/File2,検索2)				
9	Sort				
10	Format				
11	[No.]	地域	検索2	検索3	検索4
12		1 東京			
13		2 大阪			
14		3 福岡			
15		4 北海道			
16	総計				

項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)	項目8(I)	項目9(J)	項目10(K)
集計	集計	集計	集計	計算	計算
売上_4	原価_5	売上_4	原価_5		
DATA201501.xlsx[201501:1]		DATA201502.xlsx[201502:1]		H#-F#	I#-G#
▼1					
¥#,##0¥-#.#	<<==	<<==	<<==	<<==	<<==
売上	原価	売上	原価	計算[H#-F#]	計算[I#-G#]
¥15,000	¥9,000	¥13,000	¥8,000	¥-2,000	¥-1,000
¥10,000	¥5,000	¥7,000	¥4,000	¥-3,000	¥-1,000
¥4,000	¥2,500	¥3,000	¥2,000	¥-1,000	¥-500
¥3,000	¥2,000	¥4,000	¥2,500	¥1,000	¥500
¥32,000	¥18,500	¥27,000	¥16,500	¥-5,000	¥-2,000

DATA201501.xlsx と DATA201502.xlsx の地域毎の差分・総計が表示されます。

2.5 集計結果のファイル出力

「FILE出力」シートより、「集計処理」シートの集計結果を「WORK」シートへ出力し、EXCELファイル(.xlsx形式)出力をします。

(1) 「WORK」シートへの集計結果出力

(1.1) 「WORK」シートのデータ消去

	A	B	C	D	E
1	【集計結果→EXCELファイル出力】				
2	※ 集計結果をEXCELファイル(1)lsx形式(3)します。(4)				
3	WORKデータ消去1		概要出力	全結果・表出力	
4	出力範囲指定		開始列	検索列	終了列
5	開始行		1	0	100
6	出力選択	0:表作成のみ	タイトル名【集計結果】		
7	枠線	11	シート名	直接入力	
8	・開始行: 出力開始行(集計処理シートの出力開始行番号)				
9	・開始列: 出力を開始する列(開始列<終了列)				
10	・検索列: 検索情報無し検索列を出力無しは 0、出力は 1				
11	・終了列: 自動判別(90以下:値のみ, 99:数式込,100:Filter付)				
12	・出力選択: 0:表作成, 1:表作成新規出力, 2:表作成追加出力,				
13	3:新規出力, 4:追加出力				
14	・枠線: 細破線格子 1、外枠細線 +10、列幅無調整 +100				

①[WORKデータ消去1]をクリックします。

「WORK」シートにデータが存在する場合は、集計結果出力は出来ません。

②出力選択: 0:表作成のみ(初期値) を選択します。

③または、④で「集計処理」シートの集計結果を「WORK」シートへ出力します。

③[概要出力] をクリックで、中間集計・総計の集計結果を出力します。

④[全結果・表出力] をクリックで、全ての集計結果を出力します。

※詳しい設定については、[3. MFSCalc専用機能](#)、[4. 各シート内容](#) を参照して下さい。

(1.2) 集計結果の「WORK」シートへの概要出力

③[概要出力]をクリックします。

	A	B	C	D
1	【集計結果】			
2				
3	[[年月]]	売上	原価	その他
4	2015年01月	¥32,000	¥18,500	¥2,950
5	2015年02月	¥27,000	¥16,500	¥2,700
6	総計	¥59,000	¥35,000	¥5,650

集計結果の概要(中間集計・総計の値)を「WORK」シートへ出力します。

(1.3) 集計結果の「WORK」シートへの出力

④[全出力・表出力]をクリックします。

	A	B	C	D	E
1	【集計結果】				
2					
3	[[年月]]	地域	売上	原価	その他
4	2015年01月	東京	¥15,000	¥9,000	¥1,400
5	2015年01月	大阪	¥10,000	¥5,000	¥1,000
6	2015年01月	福岡	¥4,000	¥2,500	¥300
7	2015年01月	北海道	¥3,000	¥2,000	¥250
8	2015年01月 集計		¥32,000	¥18,500	¥2,950
9	2015年02月	東京	¥13,000	¥8,000	¥1,200
10	2015年02月	大阪	¥7,000	¥4,000	¥1,000
11	2015年02月	北海道	¥4,000	¥2,500	¥300
12	2015年02月	福岡	¥3,000	¥2,000	¥200
13	2015年02月 集計		¥27,000	¥16,500	¥2,700
14	総計		¥59,000	¥35,000	¥5,650

全ての集計結果を「WORK」シートへ出力します。

集計結果の計算式情報は、「FILE出力」シートの終了列の設定により出力選択可能です。

(2) 集計結果の新規ファイル出力

(2.1) 新規ファイルへの集計結果出力

	A	B	C	D	E
1	【集計結果→EXCELファイル出力】				
2	※ 集計結果をEXCELファイル(.xlsx形式)出力します。②				
3	WORKデータ消去1		概要出力	全結果・表出力	
4	出力範囲指定		開始列	検索列	終了列
5	開始行	①	1	0	100
6	出力選択	3:新規出力	タイトル名【集計結果】		
7	枠線	11	シート名	直接入力	
8	・開始行: 出力開始行(集計処理シートの出力開始行番号)				
9	・開始列: 出力を開始する列(開始列<終了列)				
10	・検索列: 検索情報無し検索列を出力無しは 0、出力は 1				
11	・終了列: 自動判別(90以下:値のみ, 99:数式込,100:Filter付)				
12	・出力選択: 0:表作成, 1:表作成新規出力, 2:表作成追加出力,				
13	3:新規出力, 4:追加出力				
14	・枠線: 細破線格子 1、外枠細線 +10、列幅無調整 +100				

①出力選択: 3:新規出力 を選択します。

②[全結果・表出力]をクリックします。

シート名: シート名を設定します。直接入力の場合は、(2.2) シート名入力を行います。

(2.2) シート名入力

シート名の入力画面が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	【集計結果】						
2							
3	[[年月]]	地域	売上	原価	その他		
4	2015年01月	東京	¥15,000	¥9,000	¥1,400		
5	2015年01月	大阪	¥10,000	¥5,000	¥1,000		
6	2015年01月	福岡	¥4,000	¥2,500	¥300		
7	2015年01月	北海道	¥3,000	¥2,000	¥250		
8	2015年01月 集計		¥32,000	¥18,500	¥2,950		
9	2015年02月	東京	¥13,000	¥8,000	¥1,200		
10	2015年02月	大阪	¥7,000	¥4,000	¥1,000		
11	2015年02月	北海道	¥4,000	¥2,500	¥300		
12	2015年02月	福岡	¥3,000	¥2,000	¥200		
13	2015年02月 集計		¥27,000	¥16,500	¥2,700		
14	総計		¥59,000	¥35,000	¥5,650		

Sheet名入力

カレントシート

WORK

シート名入力

集計11

OK

③シート名入力へ新規出力ファイルのシート名を入力します。

(2.3) 出力ファイル名入力

ファイル出力画面が表示されます。

名前を付けて保存

DATA

SAMPLE

SAMPLEの検索

整理

新しいフォルダー

ミュージック

ホームグループ

コンピューター

ローカル ディス

名前

更新日時

種類

サイズ

DATA201501

2014/11/15 20:09

Microsoft Exc...

10 KB

DATA201502

2014/11/15 20:44

Microsoft Exc...

10 KB

SAMPLEDATA

2013/11/10 22:10

Microsoft Exc...

10 KB

④

ファイル名(N): 集計結果出力

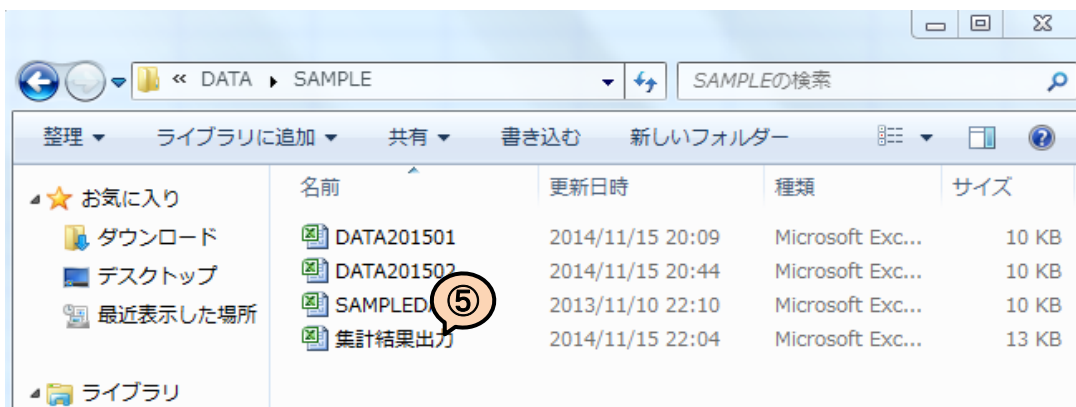
ファイルの種類(T): Excel ブック

ファイル出力先のフォルダへ移動します。

④ファイル名(N): へ出力ファイル名を入力します。

(2.4) 出力ファイル確認

⑤ファイルエクスプローラから、出力されたファイルを確認します。



(3) 集計結果のシート追加出力

(3.1) 既存ファイルへの集計結果のシート追加出力

	A	B	C	D	E
1	【集計結果→EXCELファイル出力】				
2	※ 集計結果をEXCELファイル(.xlsx形式)出力します。②				
3	WORKデータ消去1		概要出力	全結果・表出力	
4	出力範囲指定		開始列	検索列	終了列
5	開始行	①	1	0	100
6	出力選択	4:追加出力	タイトル名【集計結果】		
7	枠線	11	シート名	直接入力	
8	・開始行: 出力開始行(集計処理シートの出力開始行番号)				
9	・開始列: 出力を開始する列(開始列<終了列)				
10	・検索列: 検索情報無し検索列を出力無しは 0、出力は 1				
11	・終了列: 自動判別(90以下:値のみ, 99:数式込,100:Filter付)				
12	・出力選択: 0:表作成, 1:表作成新規出力, 2:表作成追加出力,				
13	3:新規出力, 4:追加出力				
14	・枠線: 細破線格子 1、外枠細線 +10、列幅無調整 +100				

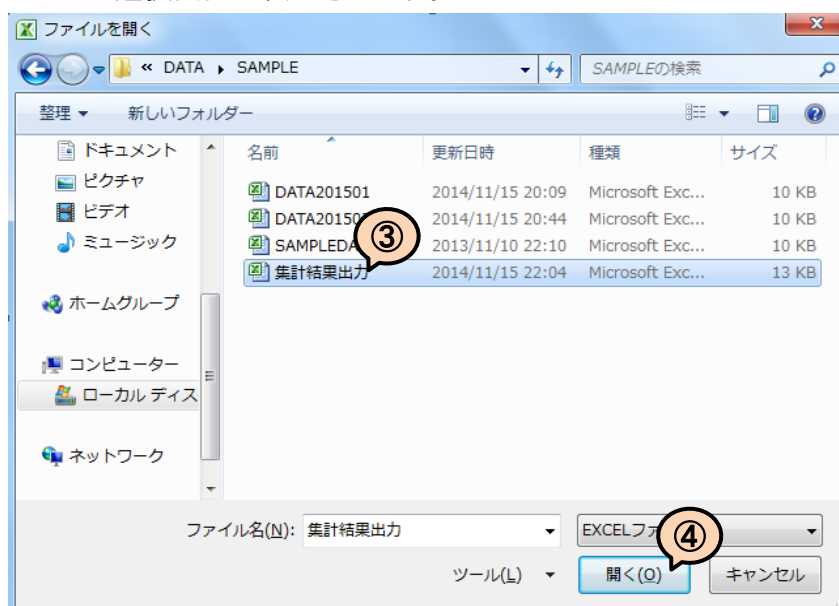
①出力選択: 4:追加出力 を選択します。

②[全結果・表出力]をクリックします。

シート名:シート名を設定します。直接入力の場合は、(3.3)追加シート名入力を行います。

(3.2) 既存ファイル選択

ファイル選択画面が表示されます。



既存ファイルの有るフォルダへ移動します。

③④シートを追加するファイルを選択します。

(3.3) 追加シート名入力

シート名の入力画面が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1	【集計結果→EXCELファイル出力】									
2	※ 集計結果をEXCELファイル(.xlsx形式)出力します。									
3	WORKデータ消去1		概要出力		全結果・表出力					
4	出力範囲指定		開始列	検索列	終了列					
5	開始行	11	1	0	100					
6	出力選択	4:追加出力	タイトル名【集計結果】							
7	枠線	11	シート名 直接入力							
8	・開始行: 出力開始行(集計処理シートの出力開始行番号)									
9	・開始列: 出力を開始する列(開始列<終了列)									
10	・検索列: 検索情報無し検索列を出力無しは 0、出力は 1									
11	・終了列: 自動判別(90以下:値のみ, 99:数式込,100:Filter付)									
12	・出力選択: 0:表作成, 1:表作成新規出力, 2:表作成追加出力,									
13	3:新規出力, 4:追加出力									
14	・枠線: 細破線格子 1、外枠細線 +10、列幅無調整 +100									

FILE:集計結果出力 追加Shee...

カレントシート
集計1

シート名入力 ⑤
集計2

⑥ OK

既存ファイルのシート名のリストが表示されます。

⑤追加するシート名を入力します。(既存のシート名と重複しないシート名を入力します。)

⑥[OK]をクリックします。

(3.4) ファイル保存

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1	【集計結果→EXCELファイル出力】									
2	※ 集計結果をEXCELファイル(.xlsx形式)出力します。									
3	WORKデータ消去1		概要出力		全結果・表出力					
4	出力範囲指定		開始列	検索列	終了列					
5	開始行	11	1	0	100					
6	出力選択	4:追加出力	タイトル名【集計結果】							
7	枠線	11	シート名 直接入力							
8	・開始行: 出力開始行(集計処理シートの出力開始行番号)									
9	・開始列: 出力を開始する列(開始列<終了列)									
10	・検索列: 検索情報無し検索列を出力無しは 0、出力は 1									
11	・終了列: 自動判別(90以下:値のみ, 99:数式込,100:Filter付)									
12	・出力選択: 0:表作成, 1:表作成新規出力, 2:表作成追加出力,									
13	3:新規出力, 4:追加出力									
14	・枠線: 細破線格子 1、外枠細線 +10、列幅無調整 +100									

Microsoft Excel

⑦ '集計結果.xlsx' への変更を保存しますか?

保存(S) 保存しない(N) キャンセル

⑦[保存(S)]をクリックし、ファイルを保存します。

(3.5) 追加シート確認

保存したファイルを確認します。

	A	B	C	D	E
1	【集計結果】				
2					
3	【年月】	地域	売上	原価	その他
4	2015年01月	東京	¥15,000	¥9,000	¥1,400
5	2015年01月	大阪	¥10,000	¥5,000	¥1,000
6	2015年01月	福岡	¥4,000	¥2,500	¥300
7	2015年01月	北海道	¥3,000	¥2,000	¥250
8	2015年01月 集計		¥32,000	¥18,500	¥2,950
9	2015年02月	東京	¥13,000	¥8,000	¥1,200
10	2015年02月	大阪	¥7,000	¥4,000	¥1,000
11	2015年02月	北海道	¥4,000	¥2,500	¥300
12	2015年02月	福岡	¥3,000	¥2,000	¥200
13	2015年02月 集計		¥27,000	¥16,500	¥2,700
14	総計		¥59,000	¥35,000	¥5,650
15					
16					
17					

⑧

集計1 集計2

⑧追加したシートを確認します。

3. MFSCalc専用機能

MFSCalcの検索項目、集計項目、計算項目で設定可能な、集計ファイル名、月度・年度変換、文字列変換式、日付・時刻検索式について説明します。

3.1 集計ファイル名

集計ファイル名は、通常「集計処理」シートの①[ファイル設定:]より「LIST1」シートへ集計ファイルを設定し、「集計処理」シートの②集計項目に集計ファイルを選択しますが、集計項目に、集計ファイル名を直接入力(1ファイルのみ)することも可能です。

「集計処理」シート

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集	MFSCalcR11.0	フォルダ情報	Japan	
2	保存 設定	ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE			
3		処理ファイル:				
4		START/FINISH				項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort					▼1
10	Format					¥#,##0¥-#,##0
11	[No.]	地域	検索2	検索3	検索4	売上

①[ファイル設定:]をクリックし、集計ファイルを設定し、②集計ファイルを選択します。
「LIST1」シート

	A
1	データファイル
2	
3	DATA201501.xlsx[201501:1]
4	DATA201502.xlsx[201502:1]
5	
6	

(1) フォルダ情報内の集計ファイル名の書式

フォルダ情報(「集計処理」シートC3セル)内の集計ファイルとします。

MFSCalc での集計ファイル名の記述は以下の通りです。シートの情報は、[]で表現します。

※書式: ファイル名「シート名 or シート番号: 項目行番号」追加情報

追加情報以外は、集計ファイル設定で「LIST1」シートにファイルリストが作成されます。

・例1: SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]

集計ファイル名: SAMPLEDATA.xls (フォルダ情報内のファイル)

シート名: Sheet1 (Sheet1が集計データシート)

項目行番号: 1 (2行目から集計データ)

・例2: TESTDATA.xls[#1:10]

集計ファイル名: TESTDATA.xls (フォルダ情報内のファイル)

シート番号: 1番目のシート(シート名が #n の場合は、シート番号になります。)

項目行番号: 10 (11行目から集計データ)

・例3: SAMPLE201501.xlsx[Sheet1:1]

集計ファイル名: SAMPLE201501.xlsx (フォルダ情報内のファイル)

シート名: Sheet1 (Sheet1が集計データシート)

項目行番号: 1 (2行目から集計データ)

年月: 2015年1月 (ファイル名の数字列を年月情報として利用可能)

初期値では、数字列を年月に認識しますが、設定を年月日に変更可能です。

・例4: SAMPLE20150115.xlsx[Sheet2:5]

集計ファイル名: SAMPLE20150115.xlsx (フォルダ情報内のファイル)

シート名: Sheet2 (Sheet2が集計データシート)

項目行番号: 5 (6行目から集計データ)

年月日: 2015年1月15日 (ファイル名の数字列を年月日情報として利用可能)

・例5:TESTDATA.xls[#1:10]20150210

集計ファイル名:TESTDATA.xls (フォルダ情報内のファイル)
シート番号:1番目のシート(シート名が #n の場合は、シート番号になります。)
項目行番号:10 (11行目から集計データ)
年月日:2015年2月10日 (年月日情報を追加可能)

・例6:TEST201501.xls[Sheet3:10]201502

集計ファイル名:TEST201501.xls (フォルダ情報内のファイル)
シート名:Sheet3 (Sheet3が集計データシート)
項目行番号:10 (11行目から集計データ)
年月:2015年2月 (年月情報を追加可能、追加情報が優先されます)

・例7:TEST201501.xls[Sheet3:10]山田花子

集計ファイル名:TEST201501.xls (フォルダ情報内のファイル)
シート名:Sheet3 (Sheet3が集計データシート)
項目行番号:10 (11行目から集計データ)
山田花子 (文字列を追加可能、追加情報が優先されます)

・例8:TESTDATA.csv[#1:1]

集計ファイル名:TESTDATA.csv (フォルダ情報内のcsv形式ファイル)
シート番号:1番目のシート(csv形式ファイルは、全て #1 になります)
項目行番号:1 (2行目から集計データ)

・例9:SAMPLE201503.xlsx

集計ファイル名:SAMPLE201503.xlsx (フォルダ情報内のファイル)
シート指定が無い場合は、1シート目をデータとします。
項目行番号の指定が無い場合は、「LIST1」シートの基準値(D23セル)になります。
年月:2015年3月 (ファイル名の数字列を年月日情報として利用可能)

・例10:山田花子

集計ファイル名:山田花子.csv (拡張子が無い場合、フォルダ情報内のcsv形式)
シート番号:1番目のシート (csv形式ファイルは、全て #1 になります)
項目行番号の指定が無い場合は、「LIST1」シートの基準値(D23セル)になります。

(2) フルパス指定集計ファイル名

フルパス集計ファイル名になります。フォルダ情報外に集計ファイルが有る場合に設定します。また、フォルダ情報内の集計ファイルでも設定可能です。
フルパス指定の場合、フォルダ名を集計条件として設定することが可能です。

※書式: フルパスファイル名[シート名:項目行番号]追加情報

追加情報を除いて、集計ファイルの選択で「LIST1」シートにファイルリストが作成されます。

ファイル名の記載方法は、(1) フォルダ情報内の集計ファイル名の書式と同等です。
フルパス指定の場合、フォルダ名毎の集計設定が可能になります。

・例1:C¥DATA¥201501¥SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]

集計ファイル名:SAMPLEDATA.xls (フォルダ情報外のファイル)
シート名:Sheet1 (Sheet1が集計データシート)
項目行番号:1 (2行目から集計データ)
年月:2015年01月(連番項目:S3`¥[年月]とした場合)

・例2:C¥DATA¥TESTDATA.xls[#1:10]20150210

集計ファイル名:TESTDATA.xls (フォルダ情報内のファイル)
シート番号:1番目のシート(シート名が #n の場合は、シート番号になります。)
項目行番号:10 (11行目から集計データ)
年月日:2015年2月10日 (年月日情報を追加可能)

3.2 月度・年度変換

MFSCalcの集計処理時に、数字列を年月・年度等に変換することが可能です。
変換された値を基に期間毎の集計、集計結果のソート等に利用可能です。
「集計条件」シートの設定値によって数字列の年月日情報への変換が行われます。

(1) 変換初期値設定(「集計条件」シート)

	A	B	C	D	E	F
1	【集計条件情報】					
2	初期化条件選択	初期化	識別形式/年度:	1:yyymm	4月～翌年3月	NL
3	※条件初期化を選択で、集計条件を全て初期化			※初期値(yyymm)	※初期値(4月～)	※初期値(NL)
4	初期値	検索	検索	検索	検索	集計
5	検索項目/集計項目					
6	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					
7	(検索2/File2,検索2)					
8	Sort					
9	Format					
10	No.					

- ① 0:yyymmdd、1:yyymm (初期値) 年月日変換フォーマット(メニューより選択)
0:yyymmdd 数字の右から、dd2文字を日、mm2文字を月、yy残りを年に変換します。
1:yyymm 数字の右から、mm2文字を月、yy残りを年に変換します。
例1:1:yyymm 数字を 201504 とすると、2015年4月と変換されます。
例2:0:yyymmdd 数字を 20150401 とすると、2015年4月1日と変換されます。

- ② 4月～翌年3月(初期値) 年度の指定(直接入力可能)
最初の数字(1～12)が年度の始まり月になります。
例1: 4月～翌年3月 年度の始まりを4月とします。
例2: 9月 年度の始まりを9月とします。

- ③ NL(初期値) 文字列中の数字位置指定(直接入力)
NL:最も長い数字、N1:最初の数字、NE:最後の数字
3.3 CONVSTR1文字列変換式 で詳細を参照して下さい。
例1:NL 文字列:TEST201510 の場合、201510 に変換されます。
例2:N1 文字列:201512DATA01 の場合、201512 に変換されます。

(2) 設定可能箇所 (「集計処理」シート)

例:集計ファイル名:SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]201510
「集計条件」シートの初期値(1:yyymm、4月～翌年3月、NL)とした場合。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan			
2		ファイル設定:	C:\YDATA\SAMPLE					
3	保存 設定	処理ファイル:	SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]201510		6	*	*	
4	集計条件01	START/FINISH	7:26:51 AM	7:26:52 AM	処理終了:4	項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)
5	検索	検索	検索	計算	集計(百万)	集計(百万)	集計(百万)	
6	検索項目/集計項目	地域 1	*	*	売上 4	原価 5	その他 6	
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)	年月	年Q	C#	SAMPLEDATA.xlsx [Sheet1:1]201510			
8	(検索2/File2,検索2)			[年月]				
9	Sort							
10	Format							
11	[年月]	地域	年月	年Q	計算[C#[年月]]	売上(百万)	原価(百万)	その他(百万)
12	2015年10月	東京	2015年10月	2015年3Q	2015年15月	¥15.00	¥9.00	¥1.40
13	2015年10月	北海道	2015年10月	2015年3Q	2015年15月	¥3.00	¥2.00	¥0.25
14	2015年10月	大阪	2015年10月	2015年3Q	2015年15月	¥10.00	¥5.00	¥1.00
15	2015年10月	福岡	2015年10月	2015年3Q	2015年15月	¥4.00	¥2.50	¥0.30
16	総計					¥32.00	¥18.50	¥2.95

①連番項目

集計条件01
検索項目/集計項目
(検索1/File1, 検索項目,計算式)
(検索2/File2,検索2)
Sort
Format
[年月]
2015年10月
2015年10月
2015年10月

- ①連番項目に [年月]を設定した場合、yyyy年mm月形式、総計を出力します。

※連番項目には、年月関連設定の他に、以下が設定可能です。

- ・No. : 連番を出力する
- ・[No.] : 連番および総計を出力する。
- ・[FILE] : 集計ファイル名および総計を出力する。
- ・[[FILE]] : 集計ファイル名および集計ファイル名毎の中間集計および総計を出力する。

※「WORK」シートへの結果出力時の連番項目名が変更可能です。

例1:No.`番号` :連番を出力し、アクサングラフ(逆クオート)(`)後の文字列(番号)が「WORK」シートの連番項目名になります。

例2:[年月]記録月 :「WORK」シートの連番項目名が記録月になります。

[年月]記録月	地域
2015年10月	東京
2015年10月	北海道
2015年10月	大阪

出力例2:
「WORK」
シート

記録月	地域	NAME
2015年10月	東京	201510
2015年10月	北海道	201510
2015年10月	大阪	201510

②検索項目

検索	※を設定	検索	検索
※	②	※	※
NAME		yy/mm	年Q
NAME		yy/mm	年Q
201510		2015/10	2015年3Q
201510		2015/10	2015年3Q
201510		2015/10	2015年3Q

②検索項目に、※(集計データの検索対象項目指定無し)設定、7行目に、

例1:NAMEを設定すると、集計ファイル名から 201510 が出力されます。

SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]201510 → (NL) → 201510 → (NAME) → 201510

例2:yy/mm を設定すると、追加情報が yy/mm 形式で出力されます。

SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]201510 → (NL) → 201510 → (yy/mm) → 2015/10

例3:年Q を設定すると、追加情報が 2015年3Q(四半期)が出力されます。

SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]201510 → (NL) → 201510 → (年Q) → 2015年3Q

※11行目の項目名は検索項目名が出力されますが、項目名の指定が可能です。

例: `四半期` アクサングラフ(逆クオート)(`)後の文字列(四半期)が項目名になります。

③検索_conv項目・検索_Xconv項目

検索_conv	③	③検索_conv項目に CONVSTR1文字列変換式[月度・年度変換]を指定し、集計データの検索項目の文字列変換を行います。
日時_3		例1:N1N2[年月]は、日時データを年月情報に変換します。
		2015/10/10 10:30:00 → N1N2 → 201510(数字列1&数字列2)
N1N2[年月]		201510 → [年月] → 2015年10月
		※日時データの月(N2)は、01,02,03,04....12と変換されます。
		※MFSCalcR06の場合は、N1N2は、N1N002と指定して下さい。
		MFSCalcR11の場合も、N1N002と指定可能です。
日時		※②検索項目と同様に、11行目の項目名は計算[計算式]と出力されますが、任意の項目名にすることも可能です。
2015年10月		
2015年10月		
2015年10月		
2015年10月		

④計算項目

計算	④	④計算項目への設定の場合は、計算式の設定が必要です。
C#		計算式を設定
[年月]		
		8行目に CONVSTR1文字列変換式[月度・年度変換]と、[] で囲んで設定します。CONVSTR1文字列変換式は省略可能です。
計算[C#[[年月]]]		例1:C列をコピーして、yyyy年mm月形式で出力します。
2015年10月		C列の 201510 → [年月] → 2015年10月
2015年10月		※②検索項目と同様に、11行目の項目名は計算[計算式]と出力されますが、任意の項目名にすることも可能です。
2015年10月		

(3) 設定値

「集計条件」シートの初期値(1:yyymm、4月～翌年3月、NL)とした場合。

① NAME :入力値のまま出力

例1:入力値 TEST201510 →(NAME)→ TEST201510

② yy/mm :年月指定1(数字の右から2桁を mm 左側残りを yy とします。)

例1:入力値 TEST201510 →(NL)→ 201510 →(yy/mm)→ 2015/10

③ 年月 :年月指定2(数字の右から2桁を 月 左側残りを 年 とします。)

例1:入力値 TEST201510 →(NL)→ 201510 →(年月)→ 2015年10月

④ 月度 :年月指定3(数字の右から2桁を 月度 とします。)

例1:入力値 TEST201510 →(NL)→ 201510 →(月度)→ 10月度

※集計結果の出力時は、04月度・・12月度、01月度・・03月度の順になります。

⑤ 年Q :年度四半期指定(数字の右から2桁を 月 として、年度と出力します。)

例1:入力値 TEST201510 →(年Q)→ 2015年3Q

例2:入力値 SAMPLE201503 →(年Q)→ 2014年4Q

※年度の始まり月により年度は調整されます。

⑥ Q :四半期指定(数字の右から2桁を 月 として出力します。)

例1:入力値 TEST201510 →(Q)→ 3Q

例2:入力値 SAMPLE201503 →(Q)→ 4Q

⑦ 年H :年度半期指定(数字の右から2桁を 月 として、年度と出力します。)

例1:入力値 TEST201510 →(年H)→ 2015年2H

例2:入力値 SAMPLE201503 →(年H)→ 2014年2H

例3:入力値 SAMPLE201505 →(年H)→ 2015年1H

※年度の始まり月により年度は調整されます。

⑧ H :半期指定(数字の右から2桁を 月 として出力します。)

例1:入力値 TEST201510 →(H)→ 2H

例2:入力値 SAMPLE201503 →(H)→ 2H

例3:入力値 SAMPLE201505 →(H)→ 1H

※年度の始まり月により年度は調整されます。

⑨ 年度 :年度指定(数字の右から2桁を 月 として、年度のみ出力します。)

例1:入力値 TEST201510 →(年度)→ 2015年後

例2:入力値 SAMPLE201503 →(年度)→ 2014年度

例3:入力値 SAMPLE201505 →(年度)→ 2015年度

※年度の始まり月により年度は調整されます。

3.3 CONVSTR1文字列変換式

MFSCalcの集計処理時に設定可能な、文字列変換式です。変換対象となる文字列は、集計ファイル名、検索項目文字列、計算項目の計算結果の文字列変換として設定します。

(1) 指定可能箇所（「集計処理」シート）

例：集計ファイル名：SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]201510

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:¥DATA¥SAMPLE			
3	保存 設定	処理ファイル:	SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]201510			6
4		START/FINISH	7:18:48 AM	7:18:48 AM	処理終了:5	項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索 conv	検索	計算	集計(百万)
6	検索項目/集計項目	地域 1	支店 2	※		売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)			年Q	B#&C#	SAMPLEDATA.xlsx
8	(検索2/File2, 検索2)		LA`支店`	S1:1`.xlsx`	C`支`	[Sheet1:1]201510
9	Sort					
10	Format					¥#,##0.00¥-#,##0.00
11	L10[NAME]	地域	支店	年Q	計算[B#&C#[C`支`]]	売上(百万)
12	SAMPLEDATA	東京	新宿支店	SAMPLEDATA.xlsx	東京新宿店	¥6.00
13	SAMPLEDATA	東京	渋谷支店	SAMPLEDATA.xlsx	東京渋谷店	¥9.00
14	SAMPLEDATA	北海道	札幌支店	SAMPLEDATA.xlsx	北海道札幌店	¥3.00
15	SAMPLEDATA	大阪	梅田支店	SAMPLEDATA.xlsx	大阪梅田店	¥10.00
16	SAMPLEDATA	福岡	博多支店	SAMPLEDATA.xlsx	福岡博多店	¥4.00
17	総計					¥32.00

①連番項目

集計条件01
検索項目/集計項目
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)
(検索2/File2, 検索2)
Sort
Format
L10[NAME]
SAMPLEDATA
SAMPLEDATA
SAMPLEDATA

①連番項目に [月度・年度設定]の入力値として、集計ファイル名を入力として文字列変換します。

例1：L10は、ファイル名(SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]201510)の左から10文字を出力します。

SAMPLEDATA → [NAME] → SAMPLEDATA を出力します。

②検索項目・検索 X項目

検索
※
N3
N3
201510
201510
201510
201510

※を指定

②

検索
※
S1:1`.xlsx`
S1:1`.xlsx`
SAMPLEDATA.xlsx
SAMPLEDATA.xlsx
SAMPLEDATA.xlsx
SAMPLEDATA.xlsx

検索
※
年月
R4
R4 年月
15年10月
15年10月
15年10月
15年10月

②検索項目に、※(集計データの検索対象項目指定無し)指定、8行目に、CONVSTR1文字変換式を設定すると、集計ファイル名が変換されます。

例1：N3は、数字の3番目を出力します。(1番目:1、2番目:1、3番目:201510)

例2：S1:1`.xlsx` は、.xlsx で入力文字列分割し、1番目の文字列に .xlsxを付加します。(分割 1番目: SAMPLEDATA、2番目:[Sheet1:1]201510 となります。)

S1`.xlsx`とした場合は、SAMPLEDATA のみを出力します。

例3：R4は右側から4文字を出力します。更に7行目の年月により、年月出力します。

③検索_conv項目・検索_Xconv項目

検索_conv
支店_2
LA`支店`
支店
新宿支店
渋谷支店
札幌支店
梅田支店
博多支店

③検索_conv項目に CONVSTR1文字列変換式[月度・年度変換]を指定し、集計データの検索項目の文字列変換を行います。
例1:LA`支店` は、支店項目のデータ(新宿、渋谷、札幌、..)に支店を付加します。

④計算項目

B列	C列	
検索	検索_conv	計算
地域_1	支店_2	
		B#&C#
	LA`支店`	C`支`
地域	支店	計算[B#&C#[C`支`]]
東京	新宿支店	東京新宿店
東京	渋谷支店	東京渋谷店
北海道	札幌支店	北海道札幌店
大阪	梅田支店	大阪梅田店
福岡	博多支店	福岡博多店

④計算項目の設定は、計算式の記載が必要です。

計算式を設定

④

7行目:計算式 B#&C#
B列とC列の結合
8行目:C`支`
計算結果の文字列から
支の文字を削除。

(2) CONVSTR1変換式書式

※書式: 変換式1 | 変換式2 & 変換式3 || 変換式4 | 変換式5

① |

| は、左側の変換結果が 1文字以上の場合、変換結果文字列を変換処理します。
例: 変換式1 | 変換式2 で、変換式1の結果が0文字の場合、変換式2は処理しません。

② &

& は、左側の変換結果文字列に、以降の変換結果文字列を連結します。
例: 変換式1 | 変換式2 & 変換式3 で、変換式1の結果が0文字の場合、変換式2は処理せず、変換式3は処理します。

③ ||

|| は、左側の変換結果が 1文字以上の場合、変換結果文字列を出力します。
※左側の変換結果が0文字の場合は、変換対象文字列を変換処理します。

④ `.....`

アクセングラフ(逆クォート)で囲まれた文字列は、文字列として使用します。

⑤ Lm:n or LA

入力文字列の左n文字目から、右方向へm文字分取り出します。
:nを省略した場合は左から1文字目から、右方向へm文字分取り出します。
※入力文字列の範囲を超えた指定では、存在する範囲の文字列を取り出します。
※L000m:n と指定の場合、取出した文字列の文字数が0の個数に達しない場合、文字数が0の個数になるように先頭に0を付加します。

LAは入力文字列全ての文字列になります。

- 例1: 入力文字列(ABCDEFGH) → 変換式(L4) → 出力文字列(ABCD)
 例2: 入力文字列(ABCDEFGH) → 変換式(L3:4) → 出力文字列(DEF)
 例3: 入力文字列(ABCDEFGH) → 変換式(L4:6) → 出力文字列(FG)
 例4: 入力文字列(ABCDEFGH) → 変換式(L3:8) → 出力文字列()
 例5: 入力文字列(ABCDEFGH) → 変換式(LA) → 出力文字列(ABCDEFGH)
 例6: 入力文字列(2) → 変換式(L002) → 出力文字列(02)

⑥ Rm:n

入力文字列の右n文字目から、左方向へm文字分取り出します。

:nを省略した場合は右1文字目から、左方向へm文字分取り出します。

※R000m:nと指定の場合、取出した文字列の文字数が0の個数に達しない場合、文字数が0の個数になるように先頭に0を付加します。

- 例1: 入力文字列(ABCDEFGH) → 変換式(R3:4) → 出力文字列(BCD)
 例2: 入力文字列(AB) → 変換式(R0003) → 出力文字列(0AB)

⑦ Nm or NE or NS or NL

入力文字列中の数字を取り出します。

Nm : m番目の数字を取り出します。

NE : 最後の数字を取り出します。

NS : 最も文字数の少ない数字を取り出します。(同じ文字数の場合、左側を優先します。)

NL : 最も文字数の多い数字を取り出します。(同じ文字数の場合、左側を優先します。)

※Nm形式で、数字文字列数を越えた場合は、出力は有りません。

※N00m,N00E,N00S,N00Lと指定した場合、取出した文字列の文字数が0の個数に達しない場合、文字数が0の個数になるように先頭に0を付加します。

- 例1: 入力文字列(123ABC4567) → 変換式(N1) → 出力文字列(123)
 例2: 入力文字列(123ABC4567) → 変換式(N3) → 出力文字列()
 例3: 入力文字列(123ABC4567) → 変換式(NE) → 出力文字列(4567)
 例4: 入力文字列(123ABC4567) → 変換式(NS) → 出力文字列(123)
 例5: 入力文字列(123ABC4567) → 変換式(NL) → 出力文字列(4567)

⑧ Sm:n`...` or SS:n`...` or SL:n`...` or SE:n`...`

入力文字列を分割用文字列`...`で分割して文字列を取り出す。

Sm : m番目の文字列を取り出します。

SS : 分割された最も文字数の少ない文字列を取り出す。(同文字数の場合、左側優先)

SL : 分割された最も文字数の多い文字列を取り出す。(同文字数の場合、左側優先)

SE : 分割された文字列の内、最後の文字列を取り出す。

:nを省略した場合は、取り出された文字列に 分割用文字列`...`の付加はしません。

n=1 : 取り出された文字列の右側に`...`の分割用文字列を付加します。

n=2 : 取り出された文字列の左側に`...`の分割用文字列を付加します。

n=3 : 取り出された文字列の両側に`...`の分割用文字列を付加します。

※分割用文字列`...`に制御文字を設定出来ます。

`vbLf` : ラインフィード、`vbTab` : タブ、`vbCr` : キャリッジリターン

※S00m`...`と指定の場合、取出した文字列の文字数が0の個数に達しない場合、文字数が0の個数になるように先頭に0を付加します。

- 例1: 入力文字列(123ABC4567) → 変換式(S1`ABC`) → 出力文字列(123)
 例2: 入力文字列(123ABC4567) → 変換式(S2`ABC`) → 出力文字列(4567)
 例3: 入力文字列(123ABC4567) → 変換式(S1:1`ABC`) → 出力文字列(123ABC)

⑨ C`...`aaa` or Cn`...`aaa` or CE`...`aaa` or CW,CN,CU,CL,CK,CH,CS,CT,CD

入力文字列中の文字列`...`を、文字列`aaa`に置き換えます。

C`...`aaa` : 入力文字列中の文字列`...`全てを、文字列`aaa`に置き換えます。

Cn`...`aaa` : 入力文字列中のn番目の文字列`...`を、文字列`aaa`に置き換えます。

CE`...`aaa` : 入力文字列中の最後の文字列`...`を、文字列`aaa`に置き換えます。

※ 2つの文字列`...` `aaa`の間には、スペースは入れずに記述します。

※`aaa`を省略した場合は、入力文字列中の文字列`...`を削除します。

※文字列`...` `aaa`に制御文字を設定出来ます。

`vbLf` : ラインフィード、`vbTab` : タブ、`vbCr` : キャリッジリターン

CW: 入力文字列中の半角文字を全角文字に置き換えます。
 CN: 入力文字列中の全角文字を半角文字に置き換えます。
 CU: 入力文字列中のアルファベットを大文字に置き換えます。
 CL: 入力文字列中のアルファベットを小文字に置き換えます。
 CK: 入力文字列中のひらがなをカタカナに置き換えます。
 CH: 入力文字列中のカタカナをひらがなに置き換えます。
 CS: 入力文字列中のスペースを削除します。
 CT: 入力文字列の先頭と末尾のスペースを削除します。(文字列中のスペースは無削除)
 CD: 実数型を含む日時データを "yyyy/m/d h:m" 型の日時データに変換します。

例1: 入力文字列(123AB456AB78) → 変換式(C`AB``) → 出力文字列(12345678)
 例2: 入力文字列(123AB456AB78) → 変換式(C`AB`) → 出力文字列(12345678)
 例3: 入力文字列(123AB456AB78) → 変換式(C1`AB`XY`) → (123XY456AB78)
 例4: 入力文字列(123AB456AB78) → 変換式(CE`AB`CD`) → (123AB456CD78)
 例5: 入力文字列(123AB456AB78) → 変換式(C3`AB`CD`) → (123AB456AB78)
 例6: 入力文字列(123AB456) → 変換式(CW) → (123AB456)
 例7: 入力文字列(123AB456) → 変換式(CN) → (123AB456)
 例8: 入力文字列(123ab456cd) → 変換式(CU) → (123ABC456CD)
 例9: 入力文字列(123ABC456CD) → 変換式(CL) → (123ab456cd)
 例10: 入力文字列(あいうえお) → 変換式(CK) → (アイウエオ)
 例11: 入力文字列(アイウエオ) → 変換式(CH) → (あいうえお)
 例12: 入力文字列(123ABC 456CD) → 変換式(CS) → (123ABC456CD)
 例13: 入力文字列(123ABC 456CD) → 変換式(CT) → (123ABC 456CD)
 例14: 入力文字列(42246.55208) → 変換式(CD) → (2015/8/30 13:15)
 例15: 入力文字列(2015/8/30 13:15) → 変換式(CD) → (2015/8/30 13:15)

(3) 文字列の変換例

集計ファイル名(SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]201510)を入力文字列とした場合

例1: 変換式(NL) → 201510
 例2: 変換式(NE) → 201510
 例3: 変換式(S1`.xls`) → SAMPLEDATA
 例4: 変換式(S1:1`.xlsx`) → SAMPLEDATA.xlsx
 例5: 変換式(S2`[`|S1`]`) → Sheet1:1
 例6: 変換式(S2`[`|S1`:`) → Sheet1

集計ファイル名(C:\¥DATA¥SAMPLE¥TESTDATA.xlsx[Sheet1:1]201510)の場合

例7: 変換式(NL) → 201510
 例8: 変換式(NE) → 201510
 例9: 変換式(S3`¥) → SAMPLE
 例10: 変換式(SE`¥) → TESTDATA.xlsx[Sheet1:1]201510
 例11: 変換式(SE`¥|S1:1`.xlsx`) → TESTDATA.xlsx
 例12: 変換式(S3:1`¥SE`¥|S1:1`.xlsx`|CL) → sample¥testdata.xlsx
 例13: 変換式(S3:1`¥&SE`¥|S1:1`.xlsx`|CL) → SAMPLE¥testdata.xlsx
 例14: 変換式(S3:1`¥&|SE`¥|S1:1`.xlsx`|CL) → SAMPLE¥
 ※変換式に間違い(&)が有る場合は、間違い箇所以降の変換処理を行いません。

住所を入力文字列とした場合

例15: 変換式(S1:1`郡`||S1:1`区`||S1:1`市川市`||S1:1`市原市`||S1:1`市`||LA)の場合
 東京都渋谷区神南... → 東京都渋谷区
 東京都調布市小島町... → 東京都調布市
 神奈川県横浜市青葉区... → 神奈川県横浜市青葉区
 福岡県八女郡黒木町... → 福岡県八女郡
 千葉県市原市... → 千葉県市原市

日時(2015/7/28 10:14:25)の場合

例16: 変換式(N1N2) → 201507 (MFSCalcR11では、N2の7 が07と変換されます。)
 例17: 変換式(N1N002) → 201507 (MFSCalcR06ではN2の7は7と変換されます。)
 例18: 変換式(N1`年`N2`月`) → 2015年07月
 例19: 変換式(N4`時`N5`分`) → 10時14分

3.4 DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式

※時刻の比較は、分単位で行います。

MFSCalcの集計処理時に設定可能な日時データ・数値データの検索式です。

集計ファイル内の日時データ・数値データの検索時、集計値の出力制限に設定します。

入力ファイル例1: DATA201501.xlsx

	A	B	C	D	E	F
1	地域	支店	日時	売上	原価	その他
2	東京	新宿	2015/1/10 10:30	6000	3500	600
3	東京	渋谷	2015/1/12 13:40	9000	5500	800
4	北海道	札幌	2015/1/15 16:10	3000	2000	250
5	大阪	梅田	2015/1/20 9:10	10000	5000	1000
6	福岡	博多	2015/1/25 14:50	4000	2500	300

入力ファイル例2: DATA201502.xlsx

	A	B	C	D	E	F
1	地域	支店	日時	売上	原価	その他
2	東京	新宿	2015/2/5 12:30	5000	3000	500
3	東京	渋谷	2015/2/14 10:40	8000	5000	700
4	北海道	札幌	2015/2/18 15:10	4000	2500	300
5	大阪	梅田	2015/2/22 11:10	7000	4000	1000
6	福岡	博多	2015/2/28 16:50	3000	2000	200

集計結果例

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行x40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA\¥SAMPLE			
3	保存 設定	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]			6
4		START/FINISH	7:31:32 AM	7:31:32 AM	処理終了:4	項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1	日時_3			売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)		9:00 <= TIME <= 12:00			DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort	[▼1]	▲1			
10	Format					¥#,##0,¥-#,##0
11	[No.]	地域	日時	検索3	検索4	売上
12		1 東京	2015/1/10 10:30			¥6,000
13		2 東京	2015/2/14 10:40			¥8,000
14		東京 集計				¥14,000
15		3 大阪	2015/1/20 9:10			¥10,000
16		4 大阪	2015/2/22 11:10			¥7,000
17		大阪 集計				¥17,000
18	総計					¥31,000

(1) 指定可能箇所 (「集計処理」シート)

① 検索項目・検索 X 項目

検索	検索
地域_1	日時_3
	9:00 <= TIME <= 12:00
[▼1]	▲1
地域	日時
東京	2015/1/10 10:30
東京	2015/2/14 10:40
東京 集計	
大阪	2015/1/20 9:10
大阪	2015/2/22 11:10
大阪 集計	

- ① 検索項目8行目に DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE・検索式を設定可能です。
 ※7行目の検索値、8行目にDATE・TIME・WEEKDAY・VALUE・検索式以外の検索値は混在設定出来ません。
 ※検索式[出力値]設定が可能です。

例1: 9:00 <= TIME <= 12:00

日時データの、9:00から12:00の間に有るデータを検索します。

例2: 9:00 <= TIME <= 12:00[午前中]

検索式が成立する場合、午前中 を出力します。

②検索_conv項目・検索_Xconv項目

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2	保存 設定	ファイル設定:	C:\YDATA\YSAMPLE			
3		処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]		6	
4		START/FINISH	7:33:35 AM	7:33:36 AM	処理終了:4	項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索_conv	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1	日時_3			売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)		CD,9:00 <= TIME <= 12:00			DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort	[▼1]	▲1			
10	Format					¥##,###0¥-#,#,###0
11	[No.]	地域	日時	検索3	検索4	売上
12		1 東京	2015/1/10 10:30			¥6,000
13		2 東京	2015/2/14 10:40			¥8,000
14		東京 集計				¥14,000
15		3 大阪	2015/1/20 9:10			¥10,000
16		4 大阪	2015/2/22 11:10			¥7,000
17		大阪 集計				¥17,000
18	総計					¥31,000

検索	検索_conv
地域_1	日時_3
	CD,9:00 <= TIME <= 12:00
[▼1]	▲1
地域	日時
東京	2015/1/10 10:30
東京	2015/2/14 10:40
東京 集計	
大阪	2015/1/20 9:10
大阪	2015/2/22 11:10
大阪 集計	

②検索_conv項目の8行目に、CONVSTR1変換式に続き、DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式を設定可能です。
 ※7行目の検索値、8行目にDATE・TIME・WEEKDAY・VALUE・検索式以外の検索値は混在設定出来ません。
 ※検索式[出力値]設定が可能です。

例1: CD,9:00 <= TIME <= 12:00
 CONVSTR1変換式(CD): 実数型を含む日時データを、yyyy/m/d h:m 形式に変換した値の 9:00から12:00の間に有る値を検索します。

③集計_検索項目

	A	B	C	D	E	F	G
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan		
2	保存 設定	ファイル設定:	C:\YDATA\YSAMPLE				
3		処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]		6	*	
4		START/FINISH	7:38:13 AM	7:38:14 AM	処理終了:4	項目5(F)	項目6(G)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]	日時_3
8	(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]	9:00 <= TIME <= 12:00
9	Sort	▼1					
10	Format					¥##,###0¥-#,#,###0	<<==
11	[No.]	地域	検索2	検索3	検索4	売上	売上[9:00 <= TL.]
12		1 北海道				¥7,000	¥0
13		2 福岡				¥7,000	¥0
14		3 東京				¥28,000	¥14,000
15		4 大阪				¥17,000	¥17,000
16	総計					¥59,000	¥31,000

集計	集計_検索
売上_4	売上_4
DATA201501.xlsx[201501:1]	日時_3
DATA201502.xlsx[201502:1]	9:00 <= TIME <= 12:00
¥##,###0¥-#,#,###0	<<==
売上	売上[9:00 <= TL.]
¥7,000	¥0
¥7,000	¥0
¥28,000	¥14,000
¥17,000	¥17,000
¥59,000	¥31,000

③集計_検索項目の8行目に、DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式を設定可能です。
 ※DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE・検索式以外の検索値は混在設定出来ません。

例1: 9:00 <= TIME <= 12:00
 日時データの 9:00から12:00の間に有る、データを検索し、売上を集計します。

④Sort設定行(集計結果の出力制限を行います。)

集計結果に対し、検索条件を満たさない場合は出力しません。

	A	B	C	D	E	F	G
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan		
2	保存	ファイル設定:	C:\DATA\Y\SAMPLE				
3	設定	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]		6	*	
4		START/FINISH	7:42:42 AM	7:42:43 AM	処理終了:2	項目5(F)	項目6(G)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	原価_5
7	(検索1/File1, 検索項目/計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]	
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[20 1502:1]	
9	Sort	▼1					5000 < VALUE
10	Format					¥#,##0¥-#,##0	<<==
11	[No.]	地域	検索2	検索3	検索4	売上	原価
12		1 東京				¥28,000	¥17,000
13		2 大阪				¥17,000	¥9,000
14	総計					¥45,000	¥26,000

集計	集計
売上_4	原価_5
DATA201501.xlsx[201501:1]	
DATA201502.xlsx[20 1502:1]	
	5000 < VALUE
¥#,##0¥-#,##0	<<==
売上	原価
¥28,000	¥17,000
¥17,000	¥9,000
¥45,000	¥26,000

④検索・集計項目の9行目(Sort設定行)に
DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式を
設定可能です。
※DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE・検索式
以外の検索値は混在設定出来ません。

例1: 5000 < VALUE

集計結果について、出力制限を行います。
集計結果が、5000より大きい値の場合、
出力します。

※Sort 設定と合わせて設定する場合の設定方法

- ・▲1 5000 < VALUE ▲1後に、半角スペース1文字以上空ける。
- ・▲1,5000 < VALUE ▲1後に、半角カンマ(.)を付ける。
- ・[▲1]5000 < VALUE 中間集計設定[]に続けて設定可能です。

(2) DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式書式

日時データ、および、数値データの検索範囲を設定します。

①DATE検索式

日時により、日時データを検索します。

※書式7・書式8以外で時刻省略は、yyyy/m/d → yyyy/mm/d 0:00 とします。

※書式1: 日時1 < or <= DATE < or <= 日時2

日時1ー日時2 間の日時データを検索します。

例1: 2015/1/1 <= DATE <= 2015/1/4 23:59 → 2015/1/1 0:00 ~ 2015/1/4 23:59
の日時データを検索します。2015/1/1 は、2015/1/1 0:00 と同値になります。

例2: 2015/1/1 <= DATE < 2015/1/5 → 2015/1/1 0:00 ~ 2015/1/4 23:59

※書式2: NOT 日時1 < or <= DATE < or <= 日時2

日時1ー日時2 間以外の日時データを検索します。

※書式3: 日時1 < or <= DATE

日時1後、または、日時1以後の日時データを検索します。

※書式4: NOT 日時1 < or <= DATE

※書式5: DATE < or <= 日時1

日時1前、または、日時1以前の日時データを検索します。

※書式6: NOT DATE < or <= 日時1

※書式7: DATE = 日付1 or 日付1 = TIME

日付のみ設定の場合、設定日のデータを検索します。

例3: DATE = 2015/1/15 2015/1/15 0:00 ~ 2015/1/15 23:59 の範囲を検索します。

※書式8: NOT DATE = 日付1 or NOT 日付1 = DATE

日付1以外の日時データを検索します。

②TIME検索式

時刻により、日時データを検索します。

※書式1: 時刻1 < or <= TIME < or <= 時刻2

時刻1ー時刻2 間の日時データを検索します。

例1: 9:00 <= TIME <= 12:00 → 9:00 ~ 12:00 の日時データを検索します。

※書式2: NOT 時刻1 < or <= TIME < or <= 時刻2

時刻1ー時刻2 間以外の日時データを検索します。

※書式3: 時刻1 < or <= TIME

時刻1後、または、時刻1以後の日時データを検索します。

※書式4: NOT 時刻1 < or <= TIME

※書式5: TIME < or <= 時刻1

時刻1前、または、時刻1以前の日時データを検索します。

※書式6: NOT TIME < or <= 時刻1

※書式7: TIME = 時刻1 or 時刻1 = TIME

※書式8: NOT TIME = 時刻1 or NOT 時刻1 = TIME

③WEEKDAY検索式 (WEEKDAY は、WEEKでも設定可能)

曜日の値(1:日曜日,2:月曜日,3:火曜日,4:水曜日,5:木曜日,6:金曜日,7:土曜日)
により日時データを検索します。

※書式1: 数値1 < or <= WEEKDAY < or <= 数値2

数値1ー数値2 間の数値データを検索します。

例1: 1 < WEEKDAY < 7 → 月曜日から金曜日の日時データを検索します。

※書式2: NOT 数値1 < or <= WEEKDAY < or <= 数値2

数値1ー数値2 間以外の数値データを検索します。

※書式3: 数値1 < or <= WEEKDAY

数値1より大、または、数値1以上の曜日の日時データを検索します。

※書式4: NOT 数値1 < or <= WEEKDAY

※書式5: WEEKDAY < or <= 数値1

数値1より小、または、数値1以下の曜日の日時データを検索します。

※書式6: NOT WEEKDAY < or <= 数値1

※書式7: WEEKDAY = 数値1 or 数値1 = WEEKDAY

※書式8: NOT WEEKDAY = 数値1 or NOT 数値1 = WEEKDAY

④VALUE検索式

数値データを検索します。

※書式1: 数値1 < or <= VALUE < or <= 数値2

数値1ー数値2 間の数値データを検索します。

例1: 1000 <= TIME <= 2000 → 1000以上2000以下 の数値データを検索します。

※書式2: NOT 数値1 < or <= VALUE < or <= 数値2

数値1ー数値2 間以外の数値データを検索します。

※書式3: 数値1 < or <= VALUE

数値1より大、または、数値1以上の数値データを検索します。

※書式4: NOT 数値1 < or <= VALUE

※書式5: VALUE < or <= 数値1

数値1より小、または、数値1以下の数値データを検索します。

※書式6: NOT VALUE < or <= 数値1

※書式7: VALUE = 数値1 or 数値1 = VALUE

※書式8: NOT VALUE = 数値1 or NOT 数値1 = VALUE

⑤複合検索式[出力値]

OR または、AND の条件で複数の検索式[出力値]設定を行います。

※書式1[出力値1] OR or AND 書式2[出力値2] OR or AND 書式3[出力値3] ……

左側の検索式から検索を行い、OR と AND により検索条件の成立を判断します。

OR と AND が混在する場合は、検索式の順番に注意が必要です。

[出力値n]は、検索項目のみで設定可能で省略可能です。

検索_X、検索_Xconv項目の場合、検索成立時は最後の 出力値 が出力されます。

※書式4 OR 書式5

検索が成立する条件は、書式4 または 書式5 が成立する場合になります。

書式4が成立すれば、検索は成立となり書式5の検索は行いません。

※書式6[出力値1] OR 書式7[出力値2]

書式6が成立した場合は出力値1が出力、書式7が成立した場合は出力値2が出力されます。

※書式8 AND 書式9

検索が成立する条件は、書式8 かつ 書式9 が成立する場合になります。

※書式10 AND 書式11[出力値3]

書式10かつ書式11が成立した場合、出力値3が出力されます。

※書式12 AND 書式13 OR 書式14 AND 書式15

検索が成立する条件は、書式12 かつ 書式13 が成立するか、または、書式14 かつ

書式15 が成立する場合になります。

※書式16 AND 書式17[出力値4] OR 書式18 AND 書式19[出力値5]

書式16かつ書式17が成立した場合は出力値4が出力され、書式18かつ書式19が成立した場合は出力値5が出力されます。ORの直前か最後の[出力値]が出力されます。

例1: 2015/8/1 <= DATE < 2015/9/1 AND 1 < WEEK < 7 AND 9:00 <= TIME <= 17:30
2015年8月中の、月曜日から金曜日の、9:00～17:30の日時データを検索します。

例2: 2015/8/1 <= DATE < 2015/9/1 AND NOT 1 < WEEKDAY < 7
2015年8月中の、月曜日から金曜日以外(土日曜)の日時データを検索します。

例3: WEEK = 6 AND 21:00 < TIME OR WEEK = 7 OR WEEK = 1 OR WEEK = 2 AND TIME < 9:00
金曜日の21:00後から月曜日の9:00前の日時データを検索します。

例4: 1 <= VALUE <= 10[SMALL] OR 20 <= VALUE <= 30[LARGE]
1～10 または 20～30 の数値データを検索し、SMALL か LARGE を出力します。

※DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE検索式は検索値に置換えて検索します。

検索値の最大数:30の制限がありますので、最大数以下で設定して下さい。

例: 2015/8/1 0:00 <= DATE < 2015/9/1 AND NOT 1 < WEEKDAY < 7

検索値1: 2015/8/1 0:00、検索値2: <=、検索値3: DATE、検索値4: <、…

検索値10: WEEKDAY、検索値11: <、検索値12: 7、検索値の数は 12になります。

(3) 日時の検索例

設定例1: 検索式を設定しない場合

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域 1	日時 3			売上 4
(検索1/File1、 検索項目、計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[20 1502:1]
Sort					
Format					¥#,##0¥-#,##0
No.	地域	日時	検索3	検索4	売上
1	東京	2015/1/10 10:30			¥6,000
2	東京	2015/1/12 13:40			¥9,000
3	北海道	2015/1/15 16:10			¥3,000
4	大阪	2015/1/20 9:10			¥10,000
5	福岡	2015/1/25 14:50			¥4,000
6	東京	2015/2/5 12:30			¥5,000
7	東京	2015/2/14 10:40			¥8,000
8	北海道	2015/2/18 15:10			¥4,000
9	大阪	2015/2/22 11:10			¥7,000
10	福岡	2015/2/28 16:50			¥3,000

・検索式を指定しない場合は、全ての値が出力されます。

設定例2: 期間と時間帯の設定

2015/1/10 ~ 2015/2/20 間の、12:00 ~ 17:30の時間帯を検索する場合は、
期間(DATE検索式)と時間帯(TIME検索式)を AND で設定します。

集計条件01	検索	検索	検索	検索
検索項目/集計項目	地域_1	日時_3	日時_3	日時_3
(検索1/File1, 検索項目,計算式)				
(検索2/File2,検索2)		2015/1/10 <= DATE < 2015/2/21 AND 12:00 <= TIME <= 17:30	⇒[出力値] [特別期間] とした場合	2015/1/10 <= DATE < 2015/2/21 AND 12:00 <= TIME <= 17:30 [特別期間]
Sort				
Format				
No.	地域	日時	日時	日時
1	東京	2015/1/12 13:40	特別期間	2015/1/12 13:40
2	北海道	2015/1/15 16:10	特別期間	2015/1/15 16:10
3	福岡	2015/1/25 14:50	特別期間	2015/1/25 14:50
4	東京	2015/2/5 12:30	特別期間	2015/2/5 12:30
5	北海道	2015/2/18 15:10	特別期間	2015/2/18 15:10

設定例3: Sort設定への時間帯の設定例

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域_1	日時_3			売上_4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort		▲1 2015/1/10 <= DATE < 2015/2/21 AND 12:00 <= TIME <= 17:30			
Format					¥#,##0,¥-#,##0
No.	地域	日時	検索3	検索4	売上
1	東京	2015/1/12 13:40			¥9,000
2	北海道	2015/1/15 16:10			¥3,000
3	福岡	2015/1/25 14:50			¥4,000
4	東京	2015/2/5 12:30			¥5,000
5	北海道	2015/2/18 15:10			¥4,000

・出力制限(2015/1/10 <= DATE < 2015/2/21 AND 12:00 <= TIME <= 17:30)に
設定した場合も、設定例2と同じ範囲の出力結果となります。

設定例4: 検索および出力制限を設定した場合

集計条件01	検索	検索	検索
検索項目/集計項目	地域_1	日時_3	
(検索1/File1, 検索項目,計算式)			
(検索2/File2,検索2)		2015/1/10 <= DATE < 2015/2/21	
Sort		▲1 12:00 <= TIME <= 17:30	
Format			
No.	地域	日時	検索3
1	東京	2015/1/12 13:40	
2	北海道	2015/1/15 16:10	
3	福岡	2015/1/25 14:50	
4	東京	2015/2/5 12:30	
5	北海道	2015/2/18 15:10	

設定例5: 集計_検索項目への時間帯の設定例

集計条件01	検索	検索	集計	集計_検索	集計_検索(リスト1)
検索項目/集計項目	地域_1		売上_4	売上_4	日時_3
(検索1/File1, 検索項目,計算式)			DATA201501.xlsx[201501:1]	日時_3	日時_3
(検索2/File2,検索2)			DATA201502.xlsx[201502:1]	2015/1/10 <= DATE < 2015/2/21 AND 12:00 <= TIME <= 17:30	2015/1/10 <= DATE < 2015/2/21 AND 12:00 <= TIME <= 17:30
Sort			▼1		
Format			¥#,##0,¥-#,##0	<<==	yyyy/m/d h:mm
No.	地域	検索2	売上	売上[2015/1/10_..](リスト1)	
1	東京		¥28,000	¥14,000	2015/1/12 13:40 2015/2/5 12:30
2	大阪		¥17,000	¥0	
3	北海道		¥7,000	¥7,000	2015/1/15 16:10 2015/2/18 15:10
4	福岡		¥7,000	¥4,000	2015/1/25 14:50

・集計_検索項目には、設定時間帯の売上の合計値が出力されます。
・集計_検索(リスト1)項目には、設定時間帯の日時データ値が出力されます。

4. 各シート内容

4.1 集計処理シート

	A	B	C	D	E	F
1		EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2	RUN	ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE			
3	保存 設定	処理ファイル:				
4		START/FINISH				項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目					
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					
8	(検索2/File2,検索2)					
9	Sort					
10	Format					
11	No.					

集計処理シートでは、以下の操作を行います。

- (1) 集計実行(RUN)
- (2) 集計ファイルの選択
- (3) 検索項目の設定
- (4) 集計項目の設定
- (5) 計算項目の設定
- (6) 設定値の消去、保存、設定
- (7) 集計条件項目(検索・集計・計算)の移動

(1) 集計実行(RUN)

	A	B	C	D	E
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan
2		ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE		
3	保存 設定	処理ファイル:			
4		START/FINISH			
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索
6	検索項目/集計項目				
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)				
8	(検索2/File2,検索2)				
9	Sort				
10	Format				
11	No.				

①[RUN]をクリックします。

※処理を中断する場合は、[Esc]キーを押して下さい。

設定例1:

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan			
2		ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE					
3	保存 設定	処理ファイル:						
4		START/FINISH				項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	原価_5	その他_6
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
9	Sort							
10	Format					¥##0¥-##0	<<==	<<==
11	No.							

・検索項目、集計項目を設定します。

①[RUN]をクリックします。

実行結果1: 集計結果が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	40項目	Made in Japan			
2		ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE					
3	保存 設定	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]					
4		START/FINISH	8:40:01 AM	8:40:02 AM	処理終了:4	項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	原価_5	その他_6
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
9	Sort					▼1		
10	Format					¥##0¥-##0	<<==	<<==
11	No.							
12		1 東京	検索2	検索3	検索4	売上	¥28,000	¥17,000
13		2 大阪					¥17,000	¥9,000
14		3 北海道					¥7,000	¥4,500
15		4 福岡					¥7,000	¥4,500
16	総計						¥59,000	¥35,000
								¥2,600
								¥2,000
								¥550
								¥500
								¥5,650

- ②処理ファイル(C3セル): 集計処理中の場合は、集計中の集計ファイル名が表示されます。集計処理終了後は、最後に読込んだ集計ファイル名が表示されます。
- ③集計ファイル最大行数(F3セル): 集計終了時に集計ファイルの最大行数が表示されます。
G3セルより右側のセルに * が表示される場合は、集計処理中、集計処理済みの集計項目になります。
- ④START/FINISH(G4/D4セル): 処理の開始時刻および、終了時刻が表示されます。
(表示例では、開始時刻: 午前8時40分1秒、終了時刻: 午前8時40分2秒となります。)
- ⑤処理中/処理終了(E4セル): 集計処理中は処理中と表示されます。
処理終了後は、処理終了: 集計結果行数 が表示されます。
12行以下に、集計結果が出力されます。
- ⑥検索項目の検索結果が出力されます。
- ⑦集計項目の集計結果が出力されます。

(1.1) 集計実行(不正値回避:)

	A	B	C	D	E
1		EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan
2	 	ファイル設定:	#DATA¥SAMPLE		
3		不正値回避:			
4		START/FINISH			
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索
6	検索項目/集計項目				
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)				
8	(検索2/File2, 検索2)				
9	Sort				
10	Format				
11	[No.]				

①不正値回避: を選択します。

②[RUN]をクリックします。

集計処理時、集計ファイルのデータの不正値(#NAME?, #VALUE!, #N/A, #REF!, #NUM!, #NULL!等)を回避して処理を継続します。

不正値回避出来ない場合は、次のエラーメッセージが表示されます。

・エラー表示: [ERROR:099] Escキーが押されたか、処理エラーが発生しました。

(ファイル:filename シート:[sheetname] 行番号:mmmm)

対処: 表示された集計ファイルのデータの確認、データの修正が必要です。

(1.2) 集計実行(列ズレ回避:)

	A	B	C	D	E
1		EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan
2	 	ファイル設定:	#DATA¥SAMPLE		
3		列ズレ回避:			
4		START/FINISH			
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索
6	検索項目/集計項目				
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)				
8	(検索2/File2, 検索2)				
9	Sort				
10	Format				
11	[No.]				

①列ズレ回避: を選択します。

②[RUN]をクリックします。

集計処理時、集計ファイルの集計項目のズレを補正し処理を継続します。

・「設定処理」シートに設定された項目名と、処理を行う集計ファイルの項目名が一致している必要が有ります。

項目ズレの補正が出来ない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

・エラー1: [ERROR:070] 項目列ズレ補正不能 File=file[sheet] 検索項目: 項目名

・エラー2: [ERROR:071] 項目列ズレ補正不能 File=file[sheet] 集計項目: 項目名

・エラー3: [ERROR:072] 項目列ズレ補正不能 File=file[sheet] 集計検索項目: 項目名

対処: 表示された集計ファイルのデータの確認、データの修正が必要です。

(1.3) 集計実行(行比較無効:)

	A	B	C	D	E
1	RUN	EXCEL情報集計	FSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan
2		ファイル設定:	C:\DATA\¥SAMPLE		
3	保存 設定	行比較無効:			
4		START/FINISH			
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索
6	検索項目/集計項目				
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)				
8	(検索2/File2,検索2)				
9	Sort				
10	Format				
11	[No.]				

①行比較無効: を選択します。

②[RUN]をクリックします。

検索項目の値一致による集計は行いません。ソート、計算項目の処理は行います。
検索項目の値が一致しないデータを処理する場合、または、集計ファイルの各行の値を元の値のまま出力したい場合に設定します。

設定例1: DATA201501.xlsx、DATA201502.xlsxのデータの出力

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	RUN	EXCEL情報集計	MFCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan			
2		ファイル設定:	C:\DATA\¥SAMPLE					
3	保存 設定	行比較無効:						
4		START/FINISH				項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1	支店_2			売上_4	原価_5	その他_6
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
9	Sort							
10	Format					¥##,##0¥-#,##0	<<==	<<==
11	No.					売上	原価	その他

実行結果1:




集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計	集計
検索項目/集計項目	地域_1	支店_2			売上_4	原価_5	その他_6
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
Sort							
Format					¥##,##0¥-#,##0	<<==	<<==
No.	地域	支店	検索3	検索4	売上	原価	その他
1	東京	新宿			¥6,000	¥3,500	¥600
2	東京	渋谷			¥9,000	¥5,500	¥800
3	北海道	札幌			¥3,000	¥2,000	¥250
4	大阪	梅田			¥10,000	¥5,000	¥1,000
5	福岡	博多			¥4,000	¥2,500	¥300
6	東京	新宿			¥5,000	¥3,000	¥500
7	東京	渋谷			¥8,000	¥5,000	¥700
8	北海道	札幌			¥4,000	¥2,500	¥300
9	大阪	梅田			¥7,000	¥4,000	¥1,000
10	福岡	博多			¥3,000	¥2,000	¥200

・データの処理順に出力されます。

※地域と支店にソート設定、中間集計設定、総計出力設定をした場合

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計	集計
検索項目/集計項目	地域_1	支店_2			売上_4	原価_5	その他_6
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
Sort	▼1	▲1					
Format					¥##,##0¥-#,##0	<<==	<<==
[No.]	地域	支店	検索3	検索4	売上	原価	その他
1	北海道	札幌			¥3,000	¥2,000	¥250
2	北海道	札幌			¥4,000	¥2,500	¥300
3	北海道 集計				¥7,000	¥4,500	¥550
4	福岡	博多			¥4,000	¥2,500	¥300
5	福岡 集計				¥7,000	¥4,500	¥500
6	東京	渋谷			¥9,000	¥5,500	¥800
7	東京	渋谷			¥8,000	¥5,000	¥700
8	東京	新宿			¥6,000	¥3,500	¥600
9	東京 集計				¥28,000	¥17,000	¥2,600
10	大阪	梅田			¥10,000	¥5,000	¥1,000
11	大阪 集計				¥17,000	¥9,000	¥2,000
総計					¥59,000	¥35,000	¥5,650

(2) 集計ファイルの選択

	A	C	D	E	F
1		EXCEL情報集計	CalcR11.0	10000行x40項目	Made in Japan
2		ファイル設定:	C:\DATA\SAMPLE		
3		処理ファイル:			
4		START/FINISH			項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目				
7	(検索1/File1,				DATA201501.xlsx
8	検索項目,計算式)				201501:1]
9	(検索2/File2,検索2)				
10	Sort				
11	Format				
12	No.				

①集計ファイルのファイル形式の選択

- ・csv情報集計: csv形式の集計ファイル
- ・EXCEL情報集計: .xls形式、.xlsx形式、.xlsm形式の集計ファイル
- ・xls情報集計: .xls形式の集計ファイル
- ・xlsx情報集計: .xlsx形式の集計ファイル
- ・xlsm情報集計: .xlsm形式の集計ファイル

②ファイル設定: ファイルエクスプローラでの集計ファイル選択

①で選択したファイル形式のみのファイルが表示され、集計ファイルを選択します。
操作については、

2.1 集計ファイルの選択、(2) 集計ファイル設定、ファイルリスト作成を参照して下さい。

※集計ファイルの選択が終了すると、

③フォルダ情報が表示されます。(フルパス指定の場合は更新されません。)

④最初の集計項目に最初に選択した集計ファイルが表示されます。

⑤「LIST1」シートに集計ファイルリストが作成されます。




	A	B	C	D
1	データファイル	検索項目リスト	集計項目リスト	集計条件
2				
3	DATA201501.xlsx[201501:1]	※	売上 4	条件初期化
4	DATA201502.xlsx[201502:1]	地域 1	原価 5	集計条件01
5		支店 2	その他 6	集計条件02
6		日時 3		集計条件03

集計ファイルリストは、最大98ファイル・シートまで作成可能です。

※書式: **ファイル名[シート名:項目行番号]** のフォーマットで作成されます。

詳しくは、**3.1 集計ファイル名** を参照して下さい。

(2.1) 集計ファイルリストのチェック

	A	C	D	E
1		EXCEL集計	IFSCalcR11.0	10000行x40項目
2		ファイル設定:	DATA\SAMPLE	Made in Japan
3		リストチェック:		
4		START/FINISH		
5	集計条件01	検索	検索	検索
6	検索項目/集計項目			
7	(検索1/File1,			
8	検索項目,計算式)			
9	(検索2/File2,検索2)			
10	Sort			
11	Format			
12	No.			

①リストチェック: を選択します。

②[ファイル設定:]をクリックします。

「LIST1」シートの集計ファイルリストの集計ファイルが存在するかチェックします。

- ・エラー表示: [ERROR:110] ファイル: filenameが存在しません。

表示されたファイルの確認、「LIST1」シートの集計ファイルリストを修正して下さい。

注) 集計ファイルのシート情報のチェックは行いません。シートが存在しない場合は集計処理時に、処理エラーになります。

(3) 検索項目の設定

検索項目の種類

項目名	機能	[出力値]	DATE-VALUE
(3.1) 検索	集計ファイルの検索項目の検索	○	○
(3.2) 検索_X	集計ファイルの検索項目の検索、 検索結果出力を省略	△	○
(3.3) 検索_conv	集計ファイルの検索項目の文字列変換、 月度・年度変換、検索	○	○
(3.4) 検索_Xconv	集計ファイルの検索項目の文字列変換、 月度・年度変換、検索、検索結果出力を省略	△	○
(3.5) 検索_match	集計ファイルの複数の検索_match項目の 連携による検索	○	×
(3.6) 検索_match*	集計ファイルの複数の検索_match項目連携 による検索、検索値*の検索結果出力を省略	○	×

○: 設定可 ×: 設定不可

△: 最終検索値[出力値]有効

(3.1) 検索項目

集計条件01	検索	①	① 検索を選択
検索項目/集計項目		②	② 集計データの検索対象項目を選択
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		③	③ 検索値1を選択 (省略可能)
(検索2/File2, 検索2)		④	④ 検索値2を設定 (直接入力、省略可能)
Sort		⑤	⑤ Sort設定 (省略可能)
Format		⑥	⑥ Format設定 (省略可能)
No.		⑦	⑦ 項目名設定 (省略可能)

①項目に 検索 を選択します。

初期設定で、1-4項目を検索項目としています。

5項目目以降を検索項目に設定することが可能です。合計20項目まで設定可能です。

②検索項目(6行目)に集計ファイルの検索項目を設定します。(省略可能)

・集計ファイルの検索項目

プルダウンメニューから「LIST1」シートの検索項目リストから、検索項目を選択します。

書式1 or 書式2で、直接入力も可能です。

※書式1: 検索項目名 項目番号 (例: 項目名_10 集計ファイル10列目を検索対象)

※書式2: 検索項目名 項目値 (例: 項目名_J 集計ファイルのJ列を検索対象)

・(※)を選択した場合は、集計データの検索対象項目の省略となります。

検索項目のみで設定可能です。検索_X、検索_conv・・検索_match*は設定不可です。

③集計ファイル名を入力とした 月度・年度変換(3.2 月度・年度変換)が設定可能です。

月度・年度変換: yy/mm, 年月, 月度, 年Q, Q, 年H, H, 年度

④集計ファイル名を入力とした CONVSTR1変換式[月度・年度変換], 検索値[出力値]が設定可能です。[月度・年度変換]設定は、③の設定が優先されます。

③検索値1:「LIST2」シートの検索値リストから検索値を選択します。(省略可能)

・検索値 を選択した場合は、検索値と一致する文字列が検索対象となります。

検索値[出力値] を選択した場合は、検索が成立した場合、出力値が出力されます。

・[LIST2] を選択した場合は、「LIST2」シートの検索値リストが検索対象となります。

「LIST2」シートの検索値リストに 検索値[出力値] を設定した場合、検索が成立した場合、出力値を出力します。

・省略した場合は④の値が検索対象となり、③④の省略時は全ての値を出力します。

③④の検索値は、合計最大97個の検索値が設定可能です。

④検索値2: 検索値を直接設定します。(省略可能)

③④を省略した場合は、集計ファイルの検索対象項目の全ての値を出力します。

※書式1: 検索値1, 検索値2, ... or 検索値1[出力値1], 検索値2[出力値2], ...

複数の検索値を設定する場合は、カンマ(,)で区切って設定します。

検索値1[出力値1], 検索値2[出力値2] を設定した場合、検索値1の検索が成立した場合、出力値1を出力します。[出力値]は省略可能です。

※書式2: 検索値1*, 検索値2, 検索値3*, ... or 検索値1*[出力値1], 検索値2,

検索値の最後にアスタリスク(*)を付けると、検索値を含む文字列を検索します。

数字の最後に(*)を付けると、数値の検索も可能です。

※書式3: * or *[出力値]

検索値がアスタリスク(*)のみの場合、1文字以上の文字列(スペース可)を検索します。

※書式4: `検索値1`,`検索値2`,...

先頭がアクセングラフ(逆クォート)の文字列を対象外します。最後の(`)は任意です。全ての検索値が整合しない場合に、検索が成立します。

※書式5: `検索値1*`,`検索値2*`,...

検索値の最後にアスタリスク(*)を付けると、検索値を含む文字列を対象外とします。

※書式6: `*`

アスタリスク(*)のみの場合、1文字以上の文字列(スペース可)を対象外とします。

※書式7: ``

検索値が無い場合、文字数0を対象外とします。

書式1:～書式3:の検索対象と、書式4:～書式7:の検索対象外の混在は可能ですが、左側に設定された検索条件から処理され、検索対象が優先されます。

※書式8: DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式(書式1:～書式7:混在不可)

or DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式[出力値](書式1:～書式7:混在不可)

③検索値1は設定不可。3.4 DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式 を参照して下さい。

⑤Sortの設定を選択します。(省略可能)

・Sort設定値1: ▲1, ▼1, ▲2, ▼2, ▲3, ▼3, ▲4, ▼4(昇順・降順、ソート順位)

▲:昇順ソート、▼:降順ソート、▲m,▼m m:ソートの優先順位(同順位は左側優先)

・Sort設定値2: [▲1],[▼1],[▲2],[▼2](中間集計出力)

ソート後の検索結果の値が同じ範囲で中間集計を出力します。最大2項目設定可能です。

・Sort設定値3: 列#[▲1], 列#[▼1], 列#[▲2], 列#[▼2](中間集計出力)

列#と設定列を合せた値が同じ範囲で中間集計を出力します。列#は出力しません。

・Sort設定値4: 列:[▲1], 列:[▼1], 列:[▲2], 列:[▼2](中間集計出力)

列:と設定列を合せた値が同じ範囲で中間集計を出力します。列:を出力します。

・●LIST2:「LIST2」シートへの検索値リスト作成

集計処理後の出力結果で「LIST2」シートの検索値リストを作成します。

・[設定]をクリックして実行します。

・DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式(出力制限・直接入力)

3.4 DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式 を参照して下さい。

⑥Formatの設定を選択・入力します。(省略可能)

・設定値: プルダウンリストから出力表示形式を選択または、直接入力可能

・<<=:左側の設定と同じ場合、設定します。

⑦結果出力項目名(省略可能)

・省略時は、②の検索項目名を出力

※書式1: 先頭にアクセングラフ(逆クォート)(`)の場合、項目名が固定されます。

`の後の項目名(直接入力可能)に固定されます。

※書式2: 先頭に2個アクセングラフ(逆クォート)(``)の場合、項目名が固定され、

集計結果を「WORK」シート、結果ファイル出力時、項目列を出力しません。

出力しない項目が計算対象の場合、出力結果に#REF!が表示される場合があります。

設定例1：地域を降順ソート設定

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE			
3	保存 設定	処理ファイル:				
4		START/FINISH				項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort	▼1				
10	Format					¥#,##0;¥-#,##0
11	No.					売上

①Sort行に、▼1(降順)を設定します。

②[RUN]をクリック

実行結果1：地域の降順に集計結果が出力されます。

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域_1				売上_4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort	▼1				
Format					¥#,##0;¥-#,##0
No.	地域	検索2	検索3	検索4	売上
1	北海道				¥7,000
2	福岡				¥7,000
3	東京				¥28,000
4	大阪				¥17,000

設定例2：検索値の「LIST2」リストへのメニュー作成

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE			
3	保存 設定	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]			
4		START/FINISH	8:08:13 AM	8:08:13 AM	処理終了:4	項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort	●LIST2				
10	Format					¥#,##0;¥-#,##0
11	No.	地域	検索2	検索3	検索4	売上
12	1	北海道				¥7,000
13	2	福岡				¥7,000
14	3	東京				¥28,000
15	4	大阪				¥17,000

①Sort行に、●LIST2を設定します。

Sort行でプルダウンメニューから選択か、右クリックしてメニューリストからも選択可能です。

※右クリック、メニューリストから選択の場合は、Sort設定の後に●LIST2が追加されます。

②[設定]をクリック

実行結果2：「LIST2」シートに検索値のリストが作成されます。

※4行以降のリストの編集が可能です。




	A	B	C	D
1	地域_1			
2				
3	[LIST2]			
4	北海道			
5	福岡			
6	東京			
7	大阪			
8				
9				

編集例：検索値に[出力値]を設定する場合は、「LIST2」シートの検索値リストを編集します。

北海道→東日本、福岡→西日本、東京→東日本、大阪→西日本と出力する場合は、以下の様に編集します。

	A	B	C
1	地域_1		
2			
3	[LIST2]		
4	北海道[東日本]		
5	福岡[西日本]		
6	東京[東日本]		
7	大阪[西日本]		

設定例3: 地域の設定




	A	B	C	D	E	F
1		EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行x40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA\¥SAMPLE			
3	 	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]			6
4		START/FINISH	8:08:13 AM	8:08:13 AM	処理終了:4	項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域 1				売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)	東京				DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)	大阪				DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort					
10	Format					¥##,###0;¥-#,###0
11	No.	地域	検索2	検索3	検索4	売上

- ①プルダウンメニューより設定
- ②検索2の行に、検索値を直接入力
- ③[RUN]をクリック

実行結果3: 検索設定された地域の集計結果が出力されます。

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域 1				売上 4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)	東京				DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2, 検索2)	大阪				DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort	▼1				
Format					¥##,###0;¥-#,###0
No.	地域	検索2	検索3	検索4	売上
	1 東京				¥28,000
	2 大阪				¥17,000

設定例4: 検索項目の移動

	A	B	C	D	E	F
1		EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行x40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA\¥SAMPLE			
3	 	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]			6
4		START/FINISH	8:08:13 AM	8:08:13 AM	処理終了:4	項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域 1				売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)	東京				DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)	大阪				DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort	▼1				
10	Format					¥##,###0;¥-#,###0
11	No.	地域		検索3	検索4	売上



- ①左クリックで移動対象項目を選択し、右クリックで選択メニューを表示します。
- ②選択メニューの □> (右方向移動)を選択します。

実行結果4: 検索項目が移動されます。

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
検索項目/集計項目		地域 1			売上 4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		東京			DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2, 検索2)		大阪			DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort		▼1			
Format					¥##,###0;¥-#,###0
No.		地域	検索3	検索4	売上

※検索項目1～検索項目4の中で未使用項目が有り、移動に余裕が有る場合は、範囲内で移動を行います。移動に余裕が無い場合は、集計項目を含め移動を行います。

設定例5: 検索項目1に時刻検索、検索項目3に集計ファイル名から年月出力設定

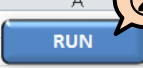

	A	B	C	D	E	F
1		EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\DATA\Y\SAMPLE			
3		処理ファイル:				
4		START/FINISH				項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	日時 3	地域 1	※		売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)	東京	年月			DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)	9:00 <= TIME <= 12:00	大阪			DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort	▲2	▼1			
10	Format	yyyy/mm/dd hh:mm				¥#,##0¥-#,##0
11	[No.]	地域	検索3	検索4	売上	

- ①～④集計ファイルの日時項目データの検索設定、9:00～12:00のデータを検索
- ⑤～⑥集計ファイル名から、年月情報出力設定
- ⑦地域での中間集計出力設定
- ⑧総計出力設定
- ⑨[RUN]をクリック

実行結果5: 時刻検索結果を出力します。

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	日時 3	地域 1	※		売上 4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)	東京	年月			DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2, 検索2)	9:00 <= TIME <= 12:00	大阪			DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort	▲2	▼1			
Format	yyyy/mm/dd hh:mm				¥#,##0¥-#,##0
[No.]	日時	地域	年月	検索4	売上
	1 2015/01/10 10:30	東京	2015年01月		¥6,000
	2 2015/02/14 10:40	東京	2015年02月		¥8,000
		東京 集計			¥14,000
	3 2015/01/20 09:10	大阪	2015年01月		¥10,000
	4 2015/02/22 11:10	大阪	2015年02月		¥7,000
		大阪 集計			¥17,000
総計					¥31,000

設定例6: 検索値に[出力値]を設定

	A	B	C	D	E	F
1		EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\DATA\Y\SAMPLE			
3		処理ファイル:				
4		START/FINISH				項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域 1				売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)	北海道[東日本], 東京[東日本], 大阪[西日本], 福岡[西日本]				DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort					
10	Format					¥#,##0¥-#,##0
11	No.					

- ①地域の検索値→出力値として、北海道→東日本、東京→東日本、大阪→西日本、福岡→西日本を設定
- ②[RUN]をクリック

実行結果6: 東日本と西日本の集計結果を出力します。

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域 1				売上 4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2, 検索2)	北海道[東日本], 東京[東日本], 大阪[西日本], 福岡[西日本]				DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort					
Format					¥#,##0¥-#,##0
No.	地域	検索2	検索3	検索4	売上
	1 東日本				¥35,000
	2 西日本				¥24,000

設定例7: 中間集計設定

	A	B	C	D	E	F
1	EXCEL情報集計	ExcelR11.0	10000行×40項目	Made in Japan		
2	RUN	ファイル設定:	DATA XSAMPLE			
3	保存	設定	行比較無効			
4		START/FI				項目5(F)
5	集計条件01	検索	conv	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域 1	日時 3			売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)	東京, 大阪	N1N2[年月]			DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort		▲1			
10	Format					¥#,##0¥-#,##0
11	[No.]					

- ①行比較無効を選択(テストデータ用の設定です。)
- ②③地域の検索値を、東京と大阪に設定
- ④⑤⑥日時データを、yyyy年mm月の形式に変換
- ⑦昇順ソート後、同一値の範囲の中間集計出力設定
- ⑧[RUN]をクリック

実行結果7: yyyy年mm月が同一値の範囲で中間集計を出力します。

集計条件01	検索	検索 conv	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域 1	日時 3			売上 4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2, 検索2)	東京, 大阪	N1N2[年月]			DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort		▲1			
Format					¥#,##0¥-#,##0
[No.]	地域	日時	検索3	検索4	売上
1	東京	2015年01月			¥6,000
2	東京	2015年01月			¥9,000
3	大阪	2015年01月			¥10,000
		2015年01月 集計			¥25,000
4	東京	2015年02月			¥5,000
5	東京	2015年02月			¥8,000
6	大阪	2015年02月			¥7,000
		2015年02月 集計			¥20,000
総計					¥45,000

※B列の値と合わせた値の範囲で中間集計を出力(⑦B#▲1) B列の値は無出力)

集計条件01	検索	検索 conv	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域 1	日時 3			売上 4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2, 検索2)	東京, 大阪	N1N2[年月]			DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort		B#▲1			
Format					¥#,##0¥-#,##0
[No.]	地域	日時	検索3	検索4	売上
1	東京	2015年01月			¥6,000
2	東京	2015年01月			¥9,000
		2015年01月 集計			¥15,000
3	大阪	2015年01月			¥10,000
		2015年01月 集計			¥10,000
4	東京	2015年02月			¥5,000
5	東京	2015年02月			¥8,000
		2015年02月 集計			¥13,000
6	大阪	2015年02月			¥7,000
		2015年02月 集計			¥7,000

※B列の値と合わせた値の範囲で中間集計を出力(⑦B:▲1) B列の値を出力)

集計条件01	検索	検索 conv	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域 1	日時 3			売上 4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2, 検索2)	東京, 大阪	N1N2[年月]			DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort		B:▲1			
Format					¥#,##0¥-#,##0
[No.]	地域	日時	検索3	検索4	売上
1	東京	2015年01月			¥6,000
2	東京	2015年01月			¥9,000
		東京:2015年01月 集計			¥15,000
3	大阪	2015年01月			¥10,000
		大阪:2015年01月 集計			¥10,000
4	東京	2015年02月			¥5,000
5	東京	2015年02月			¥8,000
		東京:2015年02月 集計			¥13,000
6	大阪	2015年02月			¥7,000
		大阪:2015年02月 集計			¥7,000

(3.2) 検索_X 項目

集計条件01	検索_X	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③
(検索2/File2,検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

- ① 検索_X を選択
- ② 集計データの検索対象項目を選択
- ③ 検索値1を選択 (省略可能)
- ④ 検索値2を設定 (直接入力、省略可能)
- ⑤ Sort設定 (省略可能)
- ⑥ Format設定 (省略可能)
- ⑦ 項目名設定 (省略可能)

①項目に 検索_X を選択します。

②～⑦の設定は、(3.1) 検索項目と同様です。

検索は有効ですが、集計ファイルの値は出力されません。③検索値1,④検索値2 が出力され、最終の検索値[出力値]設定が有る場合は、出力値が出力されます。

設定例1：地域毎の午後の売上集計

1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行x40項目	Made in Japan	
2	保存	設定	ファイル設定:	C:\YDATA\SAMPLE		
3		処理	①			
4		START	②			項目5(F)
5	集計条件01	検索	③	④	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域 1	日時 3			売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)		12:00 <= TIME <= 17:30	⑤		DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort	▲1				
10	Format					¥#,##0;¥-#;##0
11	No.					

- ① 検索を選択
- ② 検索_X を選択
- ③ 1項目目に地域を選択
- ④ 2項目目に日時を選択
- ⑤ 2項目目に、検索値 (TIME検索式 12:00 <= TIME <= 17:30)を入力
- ⑥ [RUN]をクリック

実行結果1: 検索_X 項目に検索値が出力されます。

集計条件01	検索	検索_X	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域 1	日時 3			売上 4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2,検索2)		12:00 <= TIME <= 17:30			DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort	▲1				
Format					¥#,##0;¥-#;##0
No.	地域	日時	検索3	検索4	売上
1	東京	12:00 <= TIME <= 17:30			¥14,000
2	福岡	12:00 <= TIME <= 17:30			¥7,000
3	北海道	12:00 <= TIME <= 17:30			¥7,000

※地域毎の午後の売上の合計金額が出力されます。

※検索_X → 検索 とした場合、日時の値が出力されます。

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域 1	日時 3			売上 4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2,検索2)		12:00 <= TIME <= 17:30			DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort	▲1				
Format					¥#,##0;¥-#;##0
No.	地域	日時	検索3	検索4	売上
1	東京	2015/1/12 13:40			¥9,000
2	東京	2015/2/5 12:30			¥5,000
	東京 集計				¥14,000
3	福岡	2015/1/25 14:50			¥4,000
4	福岡	2015/2/28 16:50			¥3,000
	福岡 集計				¥7,000
5	北海道	2015/1/15 16:10			¥3,000
6	北海道	2015/2/18 15:10			¥4,000
	北海道 集計				¥7,000

(3.3) 検索_conv 項目

集計条件01	検索_conv	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③
(検索2/File2,検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

- ① 検索_convを選択
- ② 集計データの検索対象項目を選択
- ③ 検索値1を選択(省略可能)
- ④ CONVSTR1変換式,検索値2を設定(直接入力、省略可能)
- ⑤ Sort設定(省略可能)
- ⑥ Format設定(省略可能)
- ⑦ 項目名設定(省略可能)

①項目に 検索_conv を選択します。

②～⑦の設定は、(3.1) 検索項目と同様ですが、④の設定は、文字列変換式後に、検索値 (DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE検索式設定可能)[出力値]を設定します。

④ CONVSTR1変換式[月度・年度変換],検索値1[出力値1],検索値2[出力値2],... (3.1) 検索項目との違いは、CONVSTR1変換後に検索を行います。

※文字列変換式は、3.3 CONVSTR1文字列変換式 を参照して下さい。

※CONVSTR1文字列変換後、3.2 月度・年度変換の設定(省略可)が可能です。

※検索項目のデータが数値の場合、一旦文字列に変換後に検索を行います。

例1: LA,12345 検索値が数値の12345を検索します。

例2: LA,123* 検索値が数値の123を含むデータを検索します。

設定例1: 支店名を追加して集計

1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2	保存	ファイル名設定:	C:\DATA\XAMPLE			
3	設定	処理:				
4		START				項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索_conv	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1	支店_2			売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)		LA`支店`			
9	Sort					
10	Format					¥#,##0¥-#,##0
11	No.					

① 検索を選択

② 検索_convを選択

③ 1項目目に地域を選択

④ 2項目目に支店を選択

⑤ 2項目目の文字列変換式を入力(LA`支店`)

⑥ [RUN]をクリック

実行結果1: 検索_conv 項目に支店を追加して出力されます。

集計条件01	検索	検索_conv	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域_1	支店_2			売上_4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2,検索2)		LA`支店`			
Sort					
Format					¥#,##0¥-#,##0
No.	地域	支店	検索3	検索4	売上
1	東京	新宿支店			¥6,000
2	東京	渋谷支店			¥9,000
3	北海道	札幌支店			¥3,000
4	大阪	梅田支店			¥10,000
5	福岡	博多支店			¥4,000

実行結果2: ⑤文字列変換式(LA`支店`)、検索値(梅田*,博多*)を設定した場合

集計条件01	検索	検索_conv	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域_1	支店_2			売上_4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2,検索2)		LA`支店`,梅田*,博多*			
Sort					
Format					¥#,##0¥-#,##0
No.	地域	支店	検索3	検索4	売上
1	大阪	梅田支店			¥10,000
2	福岡	博多支店			¥4,000

※支店を追加後、梅田と博多の文字列が存在するものを出力します。

(3.4) 検索_Xconv 項目

集計条件01	検索_Xconv	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③
(検索2/File2,検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

- ① 検索_Xconv を選択
- ② 集計データの検索対象項目を選択
- ③ 検索値1を選択 (省略可能)
- ④ CONVSTR1変換式,検索値2を設定 (直接入力、省略可能)
- ⑤ Sort設定 (省略可能)
- ⑥ Format設定 (省略可能)
- ⑦ 項目名設定 (省略可能)

①項目に 検索_Xconv を選択します。

②～⑦の設定は、(3.3) 検索_conv項目と同様です。

検索は有効ですが、集計ファイルの値は出力されません。

④CONVSTR1変換式,③検索値1,④検索値1 が出力され、最終の検索値[出力値]設定が有る場合は、出力値が出力されます。

設定例1：地域毎の午後の売上集計

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\DATA\XAMPLE			
3	保存	処理				
4	設定	STAR				項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索_Xconv	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域 1	日時 3			売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)		CD,12:00 <= TIME <= 17:30			DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort					
10	Format					¥#,##0;¥-#,##0
11	No.					

① 検索を選択

② 検索_Xconv を選択

③ 1項目目に地域を選択

④ 2項目目に日時を選択

⑤ 2項目目に、変換式(CD:日時変換)、検索値 (TIME検索式 12:00 <= TIME <= 17:30)を入力

⑥ [RUN]をクリック

実行結果1: 検索_Xconv 項目に検索値が出力されます。

集計条件01	検索	検索_Xconv	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域 1	日時 3			売上 4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2,検索2)		CD,12:00 <= TIME <= 17:30			DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort					
Format					¥#,##0;¥-#,##0
No.	地域	日時	検索3	検索4	売上
1	東京	CD,12:00 <= TIME <= 17:30			¥14,000
2	北海道	CD,12:00 <= TIME <= 17:30			¥7,000
3	福岡	CD,12:00 <= TIME <= 17:30			¥7,000

※地域毎の午後の売上の合計金額が出力されます。

※検索_Xconv → 検索_conv とした場合、日時の値が出力されます。

集計条件01	検索	検索_conv	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域 1	日時 3			売上 4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2,検索2)		CD,12:00 <= TIME <= 17:30			DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort	▲1				
Format					¥#,##0;¥-#,##0
No.	地域	日時	検索3	検索4	売上
1	東京	2015/1/12 13:40			¥9,000
2	東京	2015/2/5 12:30			¥5,000
	東京 集計				¥14,000
3	福岡	2015/1/25 14:50			¥4,000
4	福岡	2015/2/28 16:50			¥3,000
	福岡 集計				¥7,000
5	北海道	2015/1/15 16:10			¥3,000
6	北海道	2015/2/18 15:10			¥4,000
	北海道 集計				¥7,000

(3.5) 検索_match 項目

集計条件01	検索_match	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③
(検索2/File2,検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

①項目に 検索_match を選択します。

②～⑦の設定は、(3.1) 検索項目と同様ですが、④への DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE検索式は設定不可です。検索値[出力値]は設定可能です。

(3.1) 検索項目との違いは、複数の検索_match,検索_match*で連携して検索します。複数の検索_match項目,検索_match*項目の検索値の数を同一に設定し、同一順番の検索値の検索が全て成立する場合に出力します。

設定例1：地域、支店を限定して集計

1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2	保存	ファイル設定:	C:\DATA\XAMPLE			
3	設定	処理ファイル:				項目5(F)
4	START/FINISH					
5	集計条件01	検索_match	検索_match	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1	支店_2			売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)	東京,東京	新宿,渋谷			DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort					
10	Format					¥#,##0,¥-#,##0
11	No.					

①②検索_matchを選択

③1項目目に地域を選択

④2項目目に支店を選択

⑤1項目目の検索値に、東京,東京(2個の検索値)

⑥2項目目の検索値に、新宿,渋谷(2個の検索値)

⑦[RUN]をクリック

実行結果1:東京-新宿、東京-渋谷 のみの集計結果を出力

集計条件01	検索_match	検索_match	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域_1	支店_2			売上_4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2,検索2)	東京,東京	新宿,渋谷			DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort					
Format					¥#,##0,¥-#,##0
No.	地域	支店	検索3	検索4	売上
1	東京	新宿			¥11,000
2	東京	渋谷			¥17,000

※集計ファイルの、東京-新宿、東京-渋谷以外の組み合わせは出力されません。

設定例2:「LIST2」シートへの検索リスト作成

1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2	保存	ファイル設定:	C:\DATA\XAMPLE			
3	設定	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]			6
4	START/FINISH		8:44:27 AM	8:44:27 AM	処理終了:2	項目5(F)
5	集計条件01	検索_match	検索_match	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1	支店_2			売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)	東京,東京	新宿,渋谷			DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort	●LIST2	●LIST2			
10	Format					¥#,##0,¥-#,##0
11	No.	地域	支店	検索3	検索4	売上
12	1	東京	新宿			¥11,000
13	2	東京	渋谷			¥17,000

①②集計結果に対し、「LIST2」シートへ検索値リストの作成設定

③[設定]をクリック

実行結果2:

	A	B
1	地域_1	支店_2
2		
3	[LIST2]	[LIST2]
4	東京	新宿
5	東京	渋谷
6		

※「LIST2」シートの検索値は、直接入力、編集可能です。
 検索値の組合せが多数有る場合は、全てを入力する必要があります。
 検索値*: 検索値の最後にアスタリスク(*)を付けると、検索値を含む文字列を検索します。

④「LIST2」シートに検索値リストが作成されます。

設定例3: 「LIST2」シートの検索値リストを利用した集計

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行x40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\DATA\SAMPLE			
3	保存	設定	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]		6
4			START/FINISH	8:44:27 AM	8:44:27 AM	処理終了:2
5	集計条件01	検索_match	検索_match	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1	支店_2			売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)	[LIST2]	[LIST2]			DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort					
10	Format					¥#,##0¥-#,##0
11	No.	地域	支店	検索3	検索4	売上

- ⑤1項目目の検索値に、[LIST2]を選択
- ⑥2項目目の検索値に、[LIST2]を選択
- ⑦[RUN]をクリック

実行結果3: 「LIST2」の検索値リストによる集計結果出力

集計条件01	検索_match	検索_match	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域_1	支店_2			売上_4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)	[LIST2]	[LIST2]			DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort					
Format					¥#,##0¥-#,##0
No.	地域	支店	検索3	検索4	売上
1	東京	新宿			¥11,000
2	東京	渋谷			¥17,000

※「LIST2」シートに登録された同一行の、東京-新宿、東京-渋谷の組み合わせのみ出力されます。

設定例4: 「LIST2」シートの検索値リストを直接編集した場合

	A	B
1	地域_1	支店_2
2		
3	[LIST2]	[LIST2]
4	東京	*
5	大阪	梅田

※「LIST2」シートは、直接編集可能です。

※[LIST2] は、削除不可です。
 ①東京 - * の組合せを設定
 ②大阪 - 梅田 の組合せを設定

実行結果4: 「LIST2」の検索値リストによる集計結果出力

集計条件01	検索_match	検索_match	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域_1	支店_2			売上_4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)	[LIST2]	[LIST2]			DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort					
Format					¥#,##0¥-#,##0
No.	地域	支店	検索3	検索4	売上
1	東京	新宿			¥11,000
2	東京	渋谷			¥17,000
3	大阪	梅田			¥17,000

(3.6) 検索_match* 項目

集計条件01	検索_match*	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③
(検索2/File2,検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

- ① 検索_match*を選択
- ② 集計データの検索対象項目を選択
- ③ 検索値1を選択 (省略可能)
- ④ 検索値2を設定 (直接入力、省略可能)
- ⑤ Sort設定 (省略可能)
- ⑥ Format設定 (省略可能)
- ⑦ 項目名設定 (省略可能)

①項目に 検索_match* を選択します。

②～⑦の設定は、(3.1) 検索項目と同様ですが、④への DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE検索式は設定不可です。検索値[出力値]は設定可能です。

(3.1) 検索項目との違いは、複数の検索_match,検索_match*で連携して検索します。複数の検索_match項目,検索_match*項目の検索値の数を同一に設定し、同一順番の検索値の検索が全て成立する場合に出力します。

検索値にアスタリスク(*)が付く場合、検索値* が出力され、集計データの値の出力が省略されます。検索値*[出力値]の場合は、出力値が出力されます。

設定例1：地域、支店を限定して集計

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル名	C:\¥DATA\¥SAMPLE			
3	保存	処理フ				
4	設定	START/				項目5(F)
5	集計条件01	検索_match	検索_match*	検索	集計	
6	検索項目/集計項目	地域 1	支店 2		売上 4	
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)				DATA201501.xlsx[201501:1]	
8	(検索2/File2,検索2)	東京,大阪	*,梅田		DATA201502.xlsx[201502:1]	
9	Sort					
10	Format				¥#,##0;¥-#,##0	
11	No.					

- ① 検索_matchを選択
- ② 検索_match*を選択
- ③ 1項目目に地域を選択
- ④ 2項目目に支店を選択
- ⑤ 1項目目の検索値に、東京,大阪 (2個の検索値)
- ⑥ 2項目目の検索値に、*,梅田 (2個の検索値) (東京の支店を全て(*)検索)
- ⑦ [RUN]をクリック

実行結果1：東京-*, 大阪-梅田 の集計結果を出力

集計条件01	検索_match	検索_match*	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域 1	支店 2			売上 4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2,検索2)	東京,大阪	*,梅田			DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort					
Format					¥#,##0;¥-#,##0
No.	地域	支店	検索3	検索4	売上
1	東京	*			¥28,000
2	大阪	梅田			¥17,000

※集計ファイルの、東京-全支店、大阪-梅田以外の組み合わせは出力されません。

※検索_match* → 検索_matchとした場合、東京の支店が全て出力されます。

集計条件01	検索_match	検索_match	検索	検索	集計
検索項目/集計項目	地域 1	支店 2			売上 4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
(検索2/File2,検索2)	東京,大阪	*,梅田			DATA201502.xlsx[201502:1]
Sort	▼1				
Format					¥#,##0;¥-#,##0
No.	地域	支店	検索3	検索4	売上
1	東京	新宿			¥11,000
2	東京	渋谷			¥17,000
	東京 集計				¥28,000
3	大阪	梅田			¥17,000
	大阪 集計				¥17,000

(4) 集計項目の設定

集計項目の種類

項目名	機能	FILE設定	同行内計算
(4.1) 集計	集計	○	○
(4.2) 集計(個数)	カウント	○	数値限定
(4.3) 集計(百万)	百万単位の集計	○	○
(4.4) 集計(リスト1)	文字列の全数のラインフィード結合	○	行数制限
(4.5) 集計(リスト2)	異なる文字列の選択、ラインフィード結合	○	行数制限
(4.6) 集計_検索	検索条件付きでの集計	×	○
(4.7) 集計_検索(個数)	検索条件付きでのカウント	×	数値限定
(4.8) 集計_検索(百万)	検索条件付きでの百万単位の集計	×	○
(4.9) 集計_検索(リスト1)	検索条件付きでの文字列全数のラインフィード結合	×	行数制限
(4.10) 集計_検索(リスト2)	検索条件付きでの異なる文字列の選択、ラインフィード結合	×	行数制限

○: 設定可

(4.1) 集計項目

設定項目の集計結果を出力します。

集計条件01	集計	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		③
(検索2/File2, 検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

①項目に集計を選択します。

初期設定で、5項目目以降を集計項目としています。
最左側の集計項目には③集計ファイル1設定が必要です。

②集計項目(6行目)に集計ファイルの集計項目を設定します。(省略可能)

・集計ファイルの集計対象項目

プルダウンメニューから「LIST1」シートの集計項目リストから、集計項目を選択します。
書式1 or 書式2で、直接入力も可能です。

※書式1: 集計項目名 項目番号 (例: 項目名_10 集計ファイル10列目を集計対象)

※書式2: 集計項目名 項目値 (例: 項目名_J 集計ファイルのJ列を集計対象)

・同行内計算式指定

入力データの同行内指定項目の数値との計算結果を反映させることが可能です。

ただし、(1.2) 集計実行(列ズレ回避:)機能指定時は、エラーとなります。

※書式3: 集計項目名 項目番号[計算式] (例: 項目名_10[*2] 10列目の2倍の値を集計対象)

※書式4: 集計項目名 項目値[計算式] (例: 項目名_J[+ #B] J列+B列の値を集計対象)

※計算式の書式

計算式には、+ - * / % // () #列 数値が指定可能です。

+ - * / : 四則演算子(* / が優先的に計算されます。)

% : 剰余(割り算の余り値)

// : 整数の除算(割り算の整数値)

() : カッコ

#列 : 同行の指定列の数値(#B: B列の数値、#10: 10列の数値)

[*1.10] の場合は、集計項目の値に1.10を掛けた値を集計対象値とします。

[(#B+#C)]: 集計項目の値に関係無く、B列とC列の合計値を集計対象値とします。

③集計ファイル名1設定(省略可能)

・集計ファイル名1の設定

(省略時は左側の集計項目の集計ファイル名が引き継がれます。)

プルダウンメニューから「LIST1」シートの集計ファイルリストから選択します。

次の書式で、直接入力も可能です。

※書式: ファイル名 [シート名 or シート番号 : 項目行番号] 追加情報

詳しくは、3.1 集計ファイル名 を参照して下さい。

④集計ファイル名2設定(省略可能)

・集計ファイル名2の設定

(省略時は②集計項目の集計ファイル名1のみが集計対象となります。)

プルダウンメニューから「LIST1」シートの集計ファイルリストから選択します。

※集計ファイル名2を設定した場合、「LIST1」シートの集計ファイルリストの③集計ファイル名1の位置より、④集計ファイル名2までを、集計処理します。

集計ファイル名2は、集計ファイルの直接入力出来ません。

⑤Sortの設定を選択します。(省略可能)

・Sort設定値1: ▲1, ▼1, ▲2, ▼2, ▲3, ▼3, ▲4, ▼4 (昇順・降順、ソート順位)

▲:昇順ソート、▼:降順ソート、▲m,▼m m:ソートの優先順位(同順位は左側優先)

・●LIST2:「LIST2」シートへの検索値リスト作成

検索項目のみで設定可能のため無効です。

・DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式(出力制限・直接入力)

3.4 DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式を参照して下さい。

⑥Formatの設定を選択・入力します。(省略可能)

・設定値: プルダウンリストから出力表示形式を選択または、直接入力可能

・<<=: 左側の設定と同じ場合、設定します。

⑦結果出力項目名(省略可能)

・省略時は、②の集計項目名を出力

・書式1: 先頭にアクセングラフ(逆クォート)(`)の場合、項目名が固定されます。
`の後の項目名(直接入力可能)に固定されます。

・書式2: 先頭に2個アクセングラフ(逆クォート)(``)の場合、項目名が固定され、
集計結果を「WORK」シート、結果ファイル出力時、項目列を出力しません。
計算対象項目を出力しない場合、出力結果に#REF!が表示される場合があります。

設定例1:

集計	集計	集計
売上 4	原価 5	その他 6
DATA201501.xlsx[201501:1]		
DATA201502.xlsx[201502:1]		
▼1		
¥#,##0;¥-#,##0	<<==	<<==

①～③集計項目を設定

④集計ファイル名1設定

⑤集計ファイル名2設定

⑥売上集計値を降順ソート

⑦出力フォーマットを選択

⑧⑨ ⑦の出力フォーマットを継続

実行結果1:集計項目に、集計結果が出力されます。

集計条件01	検索	集計	集計	集計
検索項目/集計項目	地域 1	売上 4	原価 5	その他 6
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]		
(検索2/File2,検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]		
Sort		▼1		
Format		¥#,##0;¥-#,##0	<<==	<<==
No.	地域	売上	原価	その他
1	東京	¥28,000	¥17,000	¥2,600
2	大阪	¥17,000	¥9,000	¥2,000
3	北海道	¥7,000	¥4,500	¥550
4	福岡	¥7,000	¥4,500	¥500

※月毎集計、総計出力指定の場合

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計	集計
検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	原価_5	その他_6
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
Sort					▼1		
Format					¥#,##0;¥-#,#0	<<==	<<==
[[年月]]	地域	検索2	検索3	検索4	売上	原価	その他
2015年01月	東京				¥15,000	¥9,000	¥1,400
2015年01月	大阪				¥10,000	¥5,000	¥1,000
2015年01月	福岡				¥4,000	¥2,500	¥300
2015年01月	北海道				¥3,000	¥2,000	¥250
2015年01月 集計					¥32,000	¥18,500	¥2,950
2015年02月	東京				¥13,000	¥8,000	¥1,200
2015年02月	大阪				¥7,000	¥4,000	¥1,000
2015年02月	北海道				¥4,000	¥2,500	¥300
2015年02月	福岡				¥3,000	¥2,000	¥200
2015年02月 集計					¥27,000	¥16,500	¥2,700
総計					¥59,000	¥35,000	¥5,650

設定例2:

集計	集計	集計	集計
売上_4	原価_5	その他_6	売上_4[-#5-#6]
DATA201501.xlsx[201501:1]			
DATA201502.xlsx[201502:1]			
▼1			
¥#,##0;¥-#,#0	<<==	<<==	<<==
			項目計算例

① 計算式(項目4-項目5-項目6)

実行結果2: 集計項目に、計算式による集計結果が出力されます。

集計条件01	検索	集計	集計	集計	集計
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	原価_5	その他_6	売上_4[-#5-#6]
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]			
(検索2/File2, 検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]			
Sort		▼1			
Format		¥#,##0;¥-#,#0	<<==	<<==	<<==
No.	地域	売上	原価	その他	項目計算例
1	東京	¥28,000	¥17,000	¥2,600	¥8,400
2	大阪	¥17,000	¥9,000	¥2,000	¥6,000
3	北海道	¥7,000	¥4,500	¥550	¥1,950
4	福岡	¥7,000	¥4,500	¥500	¥2,000

設定例3:

集計条件01	検索	集計	集計	集計	集計
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	原価_5	その他_6	売上_4[*0.9-#5-#6]
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]			
(検索2/File2, 検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]			
Sort		▼1			
Format		¥#,##0;¥-#,#0	<<==	<<==	<<==
No.	地域	売上	原価	その他	項目計算例
1	東京	¥28,000	¥17,000	¥2,600	¥5,600
2	大阪	¥17,000	¥9,000	¥2,000	¥4,300
3	北海道	¥7,000	¥4,500	¥550	¥1,250
4	福岡	¥7,000	¥4,500	¥500	¥1,300

設定例4:

集計条件01	検索	集計	集計	集計	集計
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	原価_5	その他_6	売上_4[#5+#6]
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]			
(検索2/File2, 検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]			
Sort		▼1			
Format		¥#,##0;¥-#,#0	<<==	<<==	<<==
No.	地域	売上	原価	その他	項目計算例
1	東京	¥28,000	¥17,000	¥2,600	¥19,600
2	大阪	¥17,000	¥9,000	¥2,000	¥11,000
3	北海道	¥7,000	¥4,500	¥550	¥5,050
4	福岡	¥7,000	¥4,500	¥500	¥5,000

(4.2) 集計(個数)項目

設定項目データの個数を出力します。

集計条件01	集計(個数)	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③
(検索2/File2,検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

- ① 集計(個数)を選択
- ② 集計ファイルの集計対象項目を選択
- ③ 集計ファイル名1設定(省略可能)
- ④ 集計ファイル名2設定(省略可能)
- ⑤ Sort設定(省略可能)
- ⑥ Format設定(省略可能)
- ⑦ 項目名設定(省略可能)

①項目に集計(個数)を選択します。

②～⑦の設定は、(4.1) 集計項目と同様です。

※②に[計算式]を指定した場合、個数では無く数値として計算されます。

設定例1:

集計	集計(個数)	集計	集計
売上_4	売上_4	原価_5	その他_6
DATA201501.xlsx[201501:1]			
DATA201502.xlsx[201502:1]			
▼1			
¥#,##0;¥-#,##0	#	¥#,##0;¥-#,##0	<<==

① 集計(個数)を設定

② 集計項目(売上_3)を設定

③ 出力フォーマットを設定

実行結果1: 集計(個数)項目に、データ数が出力されます。

集計条件01	検索	集計	集計(個数)	集計
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	売上_4	原価_5
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]		
(検索2/File2,検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]		
Sort		▼1		
Format		¥#,##0;¥-#,##0	#	¥#,##0;¥-#,##0
No.	地域	売上	売上(個数)	原価
	1 東京	¥28,000	4	¥17,000
	2 大阪	¥17,000	2	¥9,000
	3 北海道	¥7,000	2	¥4,500
	4 福岡	¥7,000	2	¥4,500

※月毎集計、総計出力指定の場合

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計(個数)	集計
検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	売上_4	原価_5
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
Sort					▼1		
Format					¥#,##0;¥-#,##0	#	¥#,##0;¥-#,##0
[[年月]]	地域	検索2	検索3	検索4	売上	売上(個数)	原価
2015年01月	東京				¥15,000	2	¥9,000
2015年01月	大阪				¥10,000	1	¥5,000
2015年01月	福岡				¥4,000	1	¥2,500
2015年01月	北海道				¥3,000	1	¥2,000
2015年01月 集計					¥32,000	5	¥18,500
2015年02月	東京				¥13,000	2	¥8,000
2015年02月	大阪				¥7,000	1	¥4,000
2015年02月	北海道				¥4,000	1	¥2,500
2015年02月	福岡				¥3,000	1	¥2,000
2015年02月 集計					¥27,000	5	¥16,500
総計					¥59,000	10	¥35,000

(4.3) 集計(百万)項目

設定項目を百万単位で集計した結果を出力します。

集計条件01	集計(百万)	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③
(検索2/File2,検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

- ① 集計(百万)を選択
- ② 集計ファイルの集計対象項目を選択
- ③ 集計ファイル名1設定(省略可能)
- ④ 集計ファイル名2設定(省略可能)
- ⑤ Sort設定(省略可能)
- ⑥ Format設定(省略可能)
- ⑦ 項目名設定(省略可能)

①項目に集計(百万)を選択します。

②～⑦の設定は、(4.1) 集計項目と同様です。

設定例1:

集計(百万)	集計(百万)	集計(百万)
売上_4	原価_5	その他_6
SAMPLEDATA.xlsx [Sheet1:1]		
▼1		
¥#,##0.00;¥-#,##0.00;<<==		<<==

- ①～③ 集計(百万)を設定
- ④ 集計ファイル名1設定
- ⑤ 売上集計値を降順ソート
- ⑥ 出力フォーマットを選択
- ⑦⑧ ⑥の出力フォーマットを継続

実行結果1: 集計項目に、百万単位の集計結果が出力されます。

集計条件01	検索	集計(百万)	集計(百万)	集計(百万)
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	原価_5	その他_6
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		SAMPLEDATA.xlsx [Sheet1:1]		
(検索2/File2,検索2)				
Sort		▼1		
Format		¥#,##0.00;¥-#,##0.00;<<==	<<==	<<==
No.	地域	売上(百万)	原価(百万)	その他(百万)
1	東京	¥15.00	¥9.00	¥1.40
2	大阪	¥10.00	¥5.00	¥1.00
3	福岡	¥4.00	¥2.50	¥0.30
4	北海道	¥3.00	¥2.00	¥0.25

※百万単位を設定しない場合

集計条件01	検索	集計	集計	集計
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	原価_5	その他_6
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		SAMPLEDATA.xlsx [Sheet1:1]		
(検索2/File2,検索2)				
Sort		▼1		
Format		¥#,##0;¥-#,##0.00;<<==	<<==	<<==
No.	地域	売上	原価	その他
1	東京	¥15,000,000	¥9,000,000	¥1,400,000
2	大阪	¥10,000,000	¥5,000,000	¥1,000,000
3	福岡	¥4,000,000	¥2,500,000	¥300,000
4	北海道	¥3,000,000	¥2,000,000	¥250,000

(4.4) 集計(リスト1)項目

設定項目の全データのリストを読み順にラインフィードで結合して出力します。

集計条件01	集計(リスト1)	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③
(検索2/File2,検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

- ① 集計(リスト1)を選択
- ② 集計ファイルのリスト出力対象項目を選択
- ③ 集計ファイル名1設定(省略可能)
- ④ 集計ファイル名2設定(省略可能)
- ⑤ Sort設定(省略可能)
- ⑥ Format設定(省略可能)
- ⑦ 項目名設定(省略可能)

①項目に集計(リスト1)を選択します。

②～⑦の設定は、(4.1) 集計項目と同様です。

※②に[最大行数]を指定した場合、最大出力行数を超えて出力されません。

出力は文字列のため、⑥Format設定は行いません。

設定例1:

集計	集計(個数)	集計(リスト1)
売上_4	売上_4	支店_2
DATA201501.xlsx[201501:1]		
DATA201502.xlsx[201502:1]		
▼1		
¥#,##0,¥-#,##0	#	

①集計(リスト1)を設定

②リスト出力対象の項目を設定

実行結果1: データ個数と設定項目のリストを出力します。

集計条件01	検索	集計	集計(個数)	集計(リスト1)
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	売上_4	支店_2
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]		
(検索2/File2,検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]		
Sort		▼1		
Format		¥#,##0,¥-#,##0	#	
No.	地域	売上	売上(個数)	支店(リスト1)
1	東京	¥28,000	4	新宿 渋谷 新宿 渋谷
2	大阪	¥17,000	2	梅田 梅田
3	北海道	¥7,000	2	札幌 札幌
4	福岡	¥7,000	2	博多 博多

※月毎集計、総計出力指定の場合

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計(個数)	集計(リスト1)
検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	売上_4	支店_2
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
Sort					▼1		
Format					¥#,##0,¥-#,##0	#	
[[年月]]	地域	検索2	検索3	検索4	売上	売上(個数)	支店(リスト1)
2015年01月	東京				¥15,000	2	新宿 渋谷
2015年01月	大阪				¥10,000	1	梅田
2015年01月	福岡				¥4,000	1	博多
2015年01月	北海道				¥3,000	1	札幌
2015年01月 集計					¥32,000	5	
2015年02月	東京				¥13,000	2	新宿 渋谷
2015年02月	大阪				¥7,000	1	梅田
2015年02月	北海道				¥4,000	1	札幌
2015年02月	福岡				¥3,000	1	博多
2015年02月 集計					¥27,000	5	
総計					¥59,000	10	

(4.5) 集計(リスト2)項目

設定項目のデータの重複を排除して、読込順にラインフィードで結合して出力します。

集計条件01	集計(リスト2)	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③
(検索2/File2,検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

- ① 集計(リスト2)を選択
- ② 集計ファイルのリスト出力対象項目を選択
- ③ 集計ファイル名1設定(省略可能)
- ④ 集計ファイル名2設定(省略可能)
- ⑤ Sort設定(省略可能)
- ⑥ Format設定(省略可能)
- ⑦ 項目名設定(省略可能)

①項目に集計(リスト2)を選択します。

②～⑦の設定は、(4.1) 集計項目と同様です。

※②に[最大行数]を指定した場合、最大出力行数を超えて出力されません。

出力は文字列のため、⑥Format設定は行いません。

設定例1:

集計	集計(個数)	集計(リスト2)
売上_4	売上_4	支店_2
DATA201501.xlsx[201501:1]		
DATA201502.xlsx[201502:1]		
▼1		
¥#,##0;¥-#,##0	#	

①集計(リスト2)を設定

②リスト出力対象の項目を設定

実行結果1: データ個数と設定項目データの重複を排除したリストを出力します。

集計条件01	検索	集計	集計(個数)	集計(リスト2)
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	売上_4	支店_2
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]		
(検索2/File2,検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]		
Sort		▼1		
Format		¥#,##0;¥-#,##0	#	
No.	地域	売上	売上(個数)	支店(リスト2)
	1 東京	¥28,000	4	新宿 渋谷
	2 大阪	¥17,000	2	梅田
	3 北海道	¥7,000	2	札幌
	4 福岡	¥7,000	2	博多

※月毎集計、総計出力指定の場合

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計(個数)	集計(リスト2)
検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	売上_4	支店_2
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
Sort					▼1		
Format					¥#,##0;¥-#,##0	#	
[[年月]]	地域	検索2	検索3	検索4	売上	売上(個数)	支店(リスト2)
2015年01月	東京				¥15,000	2	新宿 渋谷
2015年01月	大阪				¥10,000	1	梅田
2015年01月	福岡				¥4,000	1	博多
2015年01月	北海道				¥3,000	1	札幌
2015年01月 集計					¥32,000	5	
2015年02月	東京				¥13,000	2	新宿 渋谷
2015年02月	大阪				¥7,000	1	梅田
2015年02月	北海道				¥4,000	1	札幌
2015年02月	福岡				¥3,000	1	博多
2015年02月 集計					¥27,000	5	
総計					¥59,000	10	

(4.6) 集計_検索項目

設定項目の検索条件付集計結果を出力します。

集計条件01	集計_検索	①	①集計_検索を選択
検索項目/集計項目		②	②集計ファイルの集計対象項目を選択
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③	③検索項目を選択(省略可能)
(検索2/File2,検索2)		④	④検索値を設定(直接入力)
Sort		⑤	⑤Sort設定(省略可能)
Format		⑥	⑥Format設定(省略可能)
No.		⑦	⑦項目名設定(省略可能)

①項目に集計_検索を選択します。

②集計項目(6行目)に集計ファイルの集計項目を設定します。

・集計ファイルの集計対象項目

プルダウンメニューから「LIST1」シートの集計項目リストから、集計項目を選択します。

書式1 or 書式2で、直接入力も可能です。

※書式1: 集計項目名 項目番号 (例: 項目名_10 集計ファイルの10列目を集計対象)

※書式2: 集計項目名 項目値 (例: 項目名_J 集計ファイルのJ列を集計対象)

※書式3: 集計項目名 項目番号[計算式] (例: 項目名_10[*2] 10列目の2倍の値を集計対象)

※書式4: 集計項目名 項目値[計算式] (例: 項目名_J[+ #B] J列+B列の値を集計対象)

③集計条件の検索項目を設定します。(省略可能)

④ ③の集計項目の検索値を設定します。検索値は30個まで設定可能です。

※書式1: 検索値1, 検索値2, ...

複数の検索値を設定する場合は、カンマ(,)で区切って設定します。

※書式2: 検索値1*, 検索値2, 検索値3*, ...

検索値の最後にアスタリスク(*)を付けると、検索値を含む文字列を検索します。

※書式3: *

検索値がアスタリスク(*)のみの場合、1文字以上の文字列(空白可)を検索します。

※書式4: `検索値1`, `検索値2`, ...

先頭がアクセントマーク(逆クォート)の文字列を対象外します。最後の(`)は任意です。

※書式5: `検索値1*`, `検索値2*`, ...

検索値の最後にアスタリスク(*)を付けると、検索値を含む文字列を対象外とします。

※書式6: `*`

アスタリスク(*)のみの場合、1文字以上の文字列(スペース可)を対象外とします。

※書式7: ``

検索値が無い場合、文字数0を対象外とします。

書式1: ~書式3: の検索対象と、書式4: ~書式7: の検索対象外の混在は可能ですが、左側に設定された検索条件から処理され、検索対象が優先されます。

※書式8: DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式(書式1: ~書式7: 混在不可)

※書式9: 列#, 検索値1, 検索値2, ... or 列#, DATE・TIME・VALUE検索式

同一の集計ファイル処理範囲で左側の検索_集計項目(列#)の検索条件が成立する場合に、検索を行います。

⑤Sortの設定を選択します。(省略可能)

・Sort設定値1: ▲1, ▼1, ▲2, ▼2, ▲3, ▼3, ▲4, ▼4 (昇順・降順、ソート順位)

▲: 昇順ソート、▼: 降順ソート、▲m, ▼m m: ソートの優先順位(同順位は左側優先)

・●LIST2「LIST2」シートへの検索値リスト作成設定は無効

・DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE 検索式(出力制限・直接入力)

⑥Formatの設定を選択・入力します。(省略可能)

・設定値: プルダウンリストから出力表示形式を選択または、直接入力可能

・<<== : 左側の設定と同じ場合、設定します。

⑦結果出力項目名(省略可能)

・省略時は、②の検索項目名を出力

※書式1: 先頭にアクセントマーク(逆クォート)(`)の場合、項目名が固定されます。

`の後の項目名(直接入力可能)に固定されます。

※書式2: 先頭に2個アクセントマーク(逆クォート)(``)の場合、項目名が固定され、

集計結果を「WORK」シート、結果ファイル出力時、項目列を出力しません。

出力しない項目が計算対象の場合、出力結果に#REF!が表示される場合があります。

設定例1:

集計	集計_検索	集計_検索	集計_検索
売上_4	売上_4	売上_4	売上_4
DATA201501.xlsx[201501:1]	地域_1	地域_1	地域_1
DATA201502.xlsx[201502:1]	東京	大阪	福岡
▼1			
¥#,##0;¥-#,##0	<<==	<<==	<<==

- ①集計_検索を設定
- ②集計項目を設定
- ③集計条件の検索項目を設定
- ④検索項目の検索値を設定(直接入力)
地域の値が東京の場合の売上を集計します。

実行結果1: 地域別の集計結果を出力します。

集計条件01	検索	集計	集計_検索	集計_検索	集計_検索
検索項目/集計項目	※	売上_4	売上_4	売上_4	売上_4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]	地域_1	地域_1	地域_1
(検索2/File2, 検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]	東京	大阪	福岡
Sort		▼1			
Format		¥#,##0;¥-#,##0	<<==	<<==	<<==
No.	※	売上	売上[東京]	売上[大阪]	売上[福岡]
1 ※		¥59,000	¥28,000	¥17,000	¥7,000

設定例2: 地域毎、午前・午後の売上集計の場合

集計条件01	検索	集計	集計_検索	集計_検索
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	売上_4	売上_4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]	日時_3	日時_3
(検索2/File2, 検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]	9:00 <= TIME <= 12:00	12:00 < TIME <= 17:30
Sort		▼1		
Format		¥#,##0;¥-#,##0	<<==	<<==
[No.]				

- ①検索項目に地域を設定
- ②総計出力を設定
- ③集計_検索を設定
- ④集計項目を設定
- ⑤集計条件の検索項目(日時)を設定
- ⑥検索項目の検索値を設定(直接入力)
午前中(9:00 < TIME <= 12:00)を設定

実行結果2: 地域毎・時間帯別の集計結果を出力します。

集計条件01	検索	集計	集計_検索	集計_検索
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	売上_4	売上_4
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]	日時_3	日時_3
(検索2/File2, 検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]	9:00 <= TIME <= 12:00	12:00 < TIME <= 17:30
Sort		▼1		
Format		¥#,##0;¥-#,##0	<<==	<<==
[No.]	地域	売上	売上[9:00 <= TL.]	売上[12:00 < TL.]
1 東京		¥28,000	¥14,000	¥14,000
2 大阪		¥17,000	¥17,000	¥0
3 北海道		¥7,000	¥0	¥7,000
4 福岡		¥7,000	¥0	¥7,000
総計		¥59,000	¥31,000	¥28,000

設定例3: 集計_検索項目間の連携による集計

集計条件01	検索	検索	集計	集計_検索	集計_検索	集計_検索
検索項目/集計項目	地域_1	日時_3	売上_4	売上_4	売上_4	売上_4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)			DATA201501.xlsx[201501:1]	日時_3	地域_1	日時_3
(検索2/File2,検索2)			DATA201502.xlsx[201502:1]	2015/1/15 < DATE < 2015/2/15	G#,東京	H#,9:00 <= TIME <= 12:00
Sort		▲1	▼1			
Format			¥#,##0¥-#.#	<<==	<<==	<<==
[No.]						

- ① 検索項目に地域を設定
- ② 検索項目に日時を設定
- ③ 総計出力を設定
- ④ 集計項目に売上を設定
 - ・集計ファイル1: TEST201501.xlsx[Sheet1:1]
 - ・集計ファイル2: TEST201502.xlsx[Sheet1:1]
- ⑤ 集計_検索項目に売上を設定
 - ・集計条件の検索項目に日時を設定
 - ・検索条件に、2015/1/15 < DATE < 2015/2/15 を設定
- ⑥ 集計_検索項目に売上を設定
 - ・集計条件の検索項目に地域を設定
 - ・検索条件に、G#,東京 を設定 (⑤が成立する場合に地域で検索を行う)
- ⑦ 集計_検索項目に売上を設定
 - ・集計条件の検索項目に日時を設定
 - ・検索条件に、H#,9:00 <= TIME <= 12:00 を設定 (⑥が成立する場合に日時で検索を行う)

実行結果3: 集計結果を出力します。

集計条件01	検索	検索	集計	集計_検索	集計_検索	集計_検索
検索項目/集計項目	地域_1	日時_3	売上_4	売上_4	売上_4	売上_4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)			DATA201501.xlsx[201501:1]	日時_3	地域_1	日時_3
(検索2/File2,検索2)			DATA201502.xlsx[201502:1]	2015/1/15 < DATE < 2015/2/15	G#,東京	H#,9:00 <= TIME <= 12:00
Sort		▲1	▼1			
Format			¥#,##0¥-#.#	<<==	<<==	<<==
[No.]	地域	日時	売上	売上[2015/1/15_]	売上[G#,東京]	売上[H#,9:00 <=.]
	1 東京	2015/1/10 10:30	¥6,000	¥0	¥0	¥0
	2 東京	2015/1/12 13:40	¥9,000	¥0	¥0	¥0
	3 北海道	2015/1/15 16:10	¥3,000	¥3,000	¥0	¥0
	4 大阪	2015/1/20 9:10	¥10,000	¥10,000	¥0	¥0
	5 福岡	2015/1/25 14:50	¥4,000	¥4,000	¥0	¥0
	6 東京	2015/2/5 12:30	¥5,000	¥5,000	¥5,000	¥0
	7 東京	2015/2/14 10:40	¥8,000	¥8,000	¥8,000	¥8,000
	8 北海道	2015/2/18 15:10	¥4,000	¥0	¥0	¥0
	9 大阪	2015/2/22 11:10	¥7,000	¥0	¥0	¥0
	10 福岡	2015/2/28 16:50	¥3,000	¥0	¥0	¥0
総計			¥59,000	¥30,000	¥13,000	¥8,000

⑤⑥⑦の集計_検索項目の連携で集計結果を出力します。

設定例4: 設定例3の集計_検索項目間の連携を行わない場合

- ⑥ 集計_検索項目に売上を設定
 - ・検索条件に、東京 を設定
- ⑦ 集計_検索項目に売上を設定
 - ・検索条件に、9:00 <= TIME <= 12:00 を設定

実行結果4: 集計結果を出力します。

集計条件01	検索	検索	集計	集計_検索	集計_検索	集計_検索
検索項目/集計項目	地域_1	日時_2	売上_4	売上_4	売上_4	売上_4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)			DATA201501.xlsx[201501:1]	日時_3	地域_1	日時_3
(検索2/File2,検索2)			DATA201502.xlsx[201502:1]	2015/1/15 < DATE < 2015/2/15	東京	9:00 <= TIME <= 12:00
Sort		▲1	▼1			
Format			¥#,##0¥-#.#	<<==	<<==	<<==
[No.]	地域	日時	売上	売上[2015/1/15_]	売上[東京]	売上[9:00 <= TL.]
	1 東京	2014/1/10 10:30	¥6,000	¥0	¥6,000	¥6,000
	2 東京	2014/1/12 13:40	¥9,000	¥0	¥9,000	¥0
	3 北海道	2014/1/15 16:10	¥3,000	¥3,000	¥0	¥0
	4 大阪	2014/1/20 9:10	¥10,000	¥10,000	¥0	¥10,000
	5 福岡	2014/1/25 14:50	¥4,000	¥4,000	¥0	¥0
	6 東京	2014/2/5 12:30	¥5,000	¥5,000	¥5,000	¥0
	7 東京	2014/2/14 10:40	¥8,000	¥8,000	¥8,000	¥8,000
	8 北海道	2014/2/18 15:10	¥4,000	¥0	¥0	¥0
	9 大阪	2014/2/22 11:10	¥7,000	¥0	¥0	¥7,000
	10 福岡	2014/2/28 16:50	¥3,000	¥0	¥0	¥0
総計			¥59,000	¥30,000	¥28,000	¥31,000

(4.7) 集計_検索(個数)項目

設定項目の検索条件付データ個数を出力します。

集計条件01	集計_検索(個数)	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③
(検索2/File2,検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

- ①集計_検索(個数)を選択
- ②集計ファイルの集計対象項目を選択
- ③検索項目を選択(省略可能)
- ④検索値を設定(直接入力)
- ⑤Sort設定(省略可能)
- ⑥Format設定(省略可能)
- ⑦項目名設定(省略可能)

①項目に集計_検索(個数)を選択します。

②～⑦の設定は、(4.6) 集計項目_検索と同様です。

設定例1:

集計(個数)	集計_検索(個数)	集計_検索(個数)	集計_検索(個数)
売上_4	売上_4	売上_4	売上_4
DATA201501.xlsx[201501:1]	地域_1	地域_1	地域_1
DATA201502.xlsx[201502:1]	東京	大阪	福岡
▼1			
#	<<==	<<==	<<==

- ①集計_検索(個数)を設定
- ②集計項目を設定
- ③集計条件の検索項目を設定
- ④検索項目の検索値を設定(直接入力)
地域の値が東京の場合の売上データ数を集計します。

実行結果1: 地域別の集計結果を出力します。

集計条件01	検索	集計(個数)	集計_検索(個数)	集計_検索(個数)	集計_検索(個数)
検索項目/集計項目	※	売上_4	売上_4	売上_4	売上_4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]	地域_1	地域_1	地域_1
(検索2/File2,検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]	東京	大阪	福岡
Sort		▼1			
Format		#	<<==	<<==	<<==
No.	※	売上(個数)	売上[東京](個数)	売上[大阪](個数)	売上[福岡](個数)
1	※	10	4	2	2

※地域毎、午前・午後の売上データ個数集計の場合

集計条件01	検索	集計(個数)	集計_検索(個数)	集計_検索(個数)
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	売上_4	売上_4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]	日時_3	日時_3
(検索2/File2,検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]	9:00 <= TIME <= 12:00	12:00 < TIME <= 17:30
Sort		▼1		
Format		#	<<==	<<==
[No.]	地域	売上(個数)	売上[9:00 <= TI.](個数)	売上[12:00 < TI.](個数)
1	東京	4	2	2
2	北海道	2	0	2
3	大阪	2	2	0
4	福岡	2	0	2
総計		10	4	6

(4.8) 集計_検索(百万)項目

設定項目の検索条件付、百万単位で集計結果を出力します。

集計条件01	集計_検索(百万)	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③
(検索2/File2,検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

- ① 集計_検索(百万)を選択
- ② 集計ファイルの集計対象項目を選択
- ③ 検索項目を選択(省略可能)
- ④ 検索値を設定(直接入力)
- ⑤ Sort設定(省略可能)
- ⑥ Format設定(省略可能)
- ⑦ 項目名設定(省略可能)

①項目に集計_検索(百万)を選択します。

②～⑦の設定は、(4.6) 集計項目_検索と同様です。

設定例1:

集計(百万)	集計_検索(百万)	集計_検索(百万)	集計_検索(百万)
売上_4	売上_4	売上_4	売上_4
SAMPLEDATA.xlsx [Sheet1:1]	地域_1	地域_1	地域_1
	東京	大阪	福岡
▼1			
¥#,##0.00;¥-#,##0.00	<<==	<<==	<<==

① 集計_検索(百万)を設定

② 集計項目を設定

③ 集計条件の検索項目を設定

④ 検索項目の検索値を設定(直接入力)

地域の値が東京の場合の売上データを百万単位で集計します。

実行結果1: 地域別の集計結果を出力します。

集計条件01	検索	集計(百万)	集計_検索(百万)	集計_検索(百万)	集計_検索(百万)
検索項目/集計項目	※	売上_4	売上_4	売上_4	売上_4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		SAMPLEDATA.xlsx [Sheet1:1]	地域_1	地域_1	地域_1
(検索2/File2,検索2)			東京	大阪	福岡
Sort		▼1			
Format		¥#,##0.00;¥-#,##0.00	<<==	<<==	<<==
No.	※	売上(百万)	売上[東京](百万)	売上[大阪](百万)	売上[福岡](百万)
1	※	¥32.00	¥15.00	¥10.00	¥4.00

※地域毎、500万未満・500万以上の売上集計の場合

集計条件01	検索	検索	集計(百万)	集計_検索(百万)	集計_検索(百万)
検索項目/集計項目	地域_1	支店_2	売上_4	売上_4	売上_4
(検索1/File1, 検索項目,計算式)			SAMPLEDATA.xlsx [Sheet1:1]	売上_4	売上_4
(検索2/File2,検索2)				VALUE < 5000000	5000000 <= VALUE
Sort			▼1		
Format			¥#,##0.00;¥-#,##0.00	<<==	<<==
No.	地域	支店	売上(百万)	売上[VALUE < 5000000](百万)	売上[5000000 <= VALUE](百万)
1	大阪	梅田	¥10.00	¥0.00	¥10.00
2	東京	渋谷	¥9.00	¥0.00	¥9.00
3	東京	新宿	¥6.00	¥0.00	¥6.00
4	福岡	博多	¥4.00	¥4.00	¥0.00
5	北海道	札幌	¥3.00	¥3.00	¥0.00
総計			¥32.00	¥7.00	¥25.00

(4.9) 集計_検索(リスト1)項目

設定項目の検索条件付、全データのリストを読み順にラインフィードで結合出力します。

集計条件01	集計_検索(リスト1)	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③
(検索2/File2,検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

- ① 集計_検索(リスト1)を選択
- ② 集計ファイルの集計対象項目を選択
- ③ 検索項目を選択(省略可能)
- ④ 検索値を設定(直接入力)
- ⑤ Sort設定(省略可能)
- ⑥ Format設定(省略可能)
- ⑦ 項目名設定(省略可能)

①項目に集計_検索(リスト1)を選択します。

②～⑦の設定は、(4.6) 集計項目_検索と同様です。

設定例1:

集計(リスト1)	集計_検索(リスト1)	集計_検索(リスト1)	集計_検索(リスト1)
支店_2	支店_2	支店_2	支店_2
DATA201501.xlsx[201501:1]	地域_1	地域_1	地域_1
DATA201502.xlsx[201502:1]	東京	大阪	福岡

① 集計_検索(リスト1)を設定

② 集計項目を設定

③ 集計条件の検索項目を設定

④ 検索項目の検索値を設定(直接入力)

地域の値が東京の場合の支店データを出力します。

実行結果1: 地域別の支店データをリスト出力します。

集計条件01	検索	集計(リスト1)	集計_検索(リスト1)	集計_検索(リスト1)	集計_検索(リスト1)
検索項目/集計項目	※	支店_2	支店_2	支店_2	支店_2
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]	地域_1	地域_1	地域_1
(検索2/File2,検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]	東京	大阪	福岡
Sort					
Format					
No.	※	支店(リスト1)	支店[東京](リスト1)	支店[大阪](リスト1)	支店[福岡](リスト1)
	1 ※	新宿 渋谷 札幌 梅田 博多 新宿 渋谷 札幌 梅田 博多	新宿 渋谷 新宿 渋谷	梅田 梅田	博多 博多

※午前・午後の地域データのリスト出力の場合

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計(リスト1)	集計_検索(リスト1)	集計_検索(リスト1)
検索項目/集計項目	※				支店_2	支店_2	支店_2
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]	日時_3	日時_3
(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]	9:00 <= TIME <= 12:00	12:00 < TIME <= 17:30
Sort							
Format							
No.	※	検索2	検索3	検索4	支店(リスト1)	支店[9:00 <= TIME <= 12:00](リスト1)	支店[12:00 < TIME <= 17:30](リスト1)
	1 ※				新宿 渋谷 札幌 梅田 博多 新宿 渋谷 札幌 梅田 博多	新宿 梅田 渋谷 梅田	渋谷 札幌 博多 新宿 札幌 博多

(4.10) 集計_検索(リスト2)項目

設定項目の検索条件付、データの重複を排除したリストを読込順にラインフィード結合出力します。

集計条件01	集計_検索(リスト2)	①
検索項目/集計項目		②
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		③
(検索2/File2, 検索2)		④
Sort		⑤
Format		⑥
No.		⑦

①項目に集計_検索(リスト2)を選択します。

②～⑦の設定は、(4.6) 集計項目_検索と同様です。

設定例1:

集計(リスト2)	集計_検索(リスト2)	集計_検索(リスト2)	集計_検索(リスト2)
支店_2	支店_2	支店_2	支店_2
DATA201501.xlsx[201501:1]	地域_1	地域_1	地域_1
DATA201502.xlsx[201502:1]	東京	大阪	福岡

①集計_検索(リスト2)を設定

②集計項目を設定

③集計条件の検索項目を設定

④検索項目の検索値を設定(直接入力)

地域の値が東京の場合の支店データを出力します。

実行結果1: 地域別の重複の無い支店データをリスト出力します。

集計条件01	検索	集計(リスト2)	集計_検索(リスト2)	集計_検索(リスト2)	集計_検索(リスト2)
検索項目/集計項目	※	支店_2	支店_2	支店_2	支店_2
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]	地域_1	地域_1	地域_1
(検索2/File2, 検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]	東京	大阪	福岡
Sort					
Format					
No.	※	支店(リスト2)	支店[東京](リスト2)	支店[大阪](リスト2)	支店[福岡](リスト2)
	1 ※	新宿 渋谷 札幌 梅田 博多	新宿 渋谷	梅田	博多

※午前・午後の支店データのリスト出力の場合

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計(リスト2)	集計_検索(リスト2)	集計_検索(リスト2)
検索項目/集計項目	※				支店_2	支店_2	支店_2
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]	日時_3	日時_3
(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]	9:00 <= TIME <= 12:00	12:00 < TIME <= 17:30
Sort							
Format							
No.	※	検索2	検索3	検索4	支店(リスト2)	支店[9:00 <= TIME <= 12:00](リスト2)	支店[12:00 < TIME <= 17:30](リスト2)
	1 ※				新宿 渋谷 札幌 梅田 博多	新宿 梅田 渋谷	渋谷 札幌 博多 新宿

(5) 計算項目の設定
計算式の設定が可能です。

集計条件01	計算	①	①計算を選択
検索項目/集計項目		②	②中間集計・総計の計算方法選択(省略可)
(検索1/File1, 検索項目,計算式)		③	③計算式を直接入力
(検索2/File2,検索2)		④	④CONVSTR1式[月度・年度変換]を直接入力
Sort		⑤	⑤Sort設定(省略可能)
Format		⑥	⑥Format設定(省略可能)
No.		⑦	⑦項目名設定(省略可能)

①項目に計算を選択します。

②項目(6行目)に中間集計・総計の計算方法を選択します。(省略可能)

・省略時:⑥Format設定により、変化します。

⑥未設定の場合:中間集計・総計の出力を行いません。

⑥0.0%, 0.00% の場合:③計算式の計算結果を出力します。

⑥%以外の場合:同列の値の合計値(SUM)を出力します。

・0:集計無し:中間集計、総計の出力を行いません。

・1:集計(SUM):同列の値の合計値を出力します。

・2:集計(計算式):③計算式の計算結果を出力します。

③計算式を直接入力します。(基本的な計算式例が選択可能です。)

※書式:計算式の先頭にイコール(=)を付けずに入力します。行番号は(#)とします。

#:同じ行で計算を行います。

例1: B# → = Bn 計算式へ変換します。

例2: F#-G# → = Fn - Gn

例3: IF(F#=0.0,G#/F#) → = IF(Fn=0, 0, Gn/Fn)

※書式:計算式の全体を[]で囲むと、計算結果を値(文字列)で出力します。

例4: [F#-G#] → = Fn - Gn の計算結果を値(文字列)で出力します。

[#-1]:1行上、[#+1]:1行下、[#MIN]:全集計結果の最初の行、[#MAX]:最終行

[[#MIN]]:連番項目(A列)での中間集計範囲の最初の行、[[#MAX]]:最終行

例5: SUM(F\$[#MIN]:F#) → =SUM(F\$12:Fn) F列のn行までの累計を出力します。

※②中間集計・総計の計算方法の設定に注意して下さい。

・同じ行での計算以外の場合、[ERROR:099]エラーが表示される場合があります。

対処法として、②計算方法を 0:集計無し に変更して下さい。

[n列:順位]:全集計範囲の n列の順位を出力します。

[[n列:順位]]:連番項目(A列)での中間集計範囲の n列の順位を出力します。

※計算結果を値(文字列)で出力します。

[n列:累計]:全集計範囲の n列の累計を出力します。

[[n列:累計]]:連番項目(A列)での中間集計範囲の n列の累計を出力します。

※計算結果を値(文字列)で出力します。

[n列:百分率]:全集計範囲の合計値に対する n列の割合を出力します。

[[n列:百分率]]:連番項目(A列)での中間集計範囲の合計値に対する n列の割合を出力します。

※計算結果を値(文字列)で出力します。

[n列:偏差値]:全集計範囲の n列の偏差値を出力します。

[[n列:偏差値]]:連番項目(A列)での中間集計範囲の n列の偏差値を出力します。

※偏差値を求めるn列の値は 0~100の範囲です。平均:50、標準偏差:10とします。

※計算結果を値(文字列)で出力します。

④CONVSTR1式[月度・年度変換]を直接入力します。(省略可能)

③の値を入力として、CONVSTR1文字列変換を行います。

[月度・年度変換]の指定が有る場合は、月度・年度変換を行います。

3.2 月度・年度変換、3.3 CONVSTR1文字列変換式 を参照して下さい。

⑤~⑦の設定は、(4.1) 集計項目と同様です。

設定例1:

集計	集計	計算	計算
売上_4	原価_5		0:集計無し
DATA201501.xlsx[201501:1]		F#-G#	[RANK(F#,F\$[#MIN]:F\$[#MAX],0)]
DATA201502.xlsx[201502:1]			
▼1			
¥#,##0;¥-#,##0	<<==	<<==	#位
		`粗利	`RANK

- ①計算を設定
- ②計算式(F#-G#)を設定
- ③項目名(粗利)を設定
- ④計算を設定
- ⑤中間集計・総計出力無しを設定
- ⑥売上の順位の計算式([RANK(F#,F\$[#MIN]:F\$[#MAX],0)])を設定
- ⑦出力フォーマット(#位)を設定
- ⑧項目名(RANK)を設定

実行結果1: 地域別の粗利と売上順位を出力します。

集計条件01	検索	集計	集計	計算	計算
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	原価_5		0:集計無し
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]		F#-G#	[RANK(F#,F\$[#MIN]:F\$[#MAX],0)]
(検索2/File2, 検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]			
Sort		▼1			
Format		¥#,##0;¥-#,##0	<<==	<<==	#位
[No.]	地域	売上	原価	`粗利	`RANK
	1 東京	¥28,000	¥17,000	¥11,000	1 位
	2 大阪	¥17,000	¥9,000	¥8,000	2 位
	3 北海道	¥7,000	¥4,500	¥2,500	3 位
	4 福岡	¥7,000	¥4,500	¥2,500	3 位
総計		¥59,000	¥35,000	¥24,000	

※⑥売上の順位の計算式([F列:順位])とした場合

集計条件01	検索	集計	集計	計算	計算
検索項目/集計項目	地域_1	売上_4	原価_5		0:集計無し
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)		DATA201501.xlsx[201501:1]		F#-G#	[F列:順位]
(検索2/File2, 検索2)		DATA201502.xlsx[201502:1]			
Sort		▼1			
Format		¥#,##0;¥-#,##0	<<==	<<==	#位
[No.]	地域	売上	原価	`粗利	`RANK
	1 東京	¥28,000	¥17,000	¥11,000	1 位
	2 大阪	¥17,000	¥9,000	¥8,000	2 位
	3 北海道	¥7,000	¥4,500	¥2,500	3 位
	4 福岡	¥7,000	¥4,500	¥2,500	3 位
総計		¥59,000	¥35,000	¥24,000	

(5.1) 計算で使用する定数(パラメータ)の設定

計算で使用する定数(パラメータ)は、D2:AO2の範囲に設定可能です。

定数は、計算式にD\$2~AO\$2として指定します。

- ・集計結果をファイル出力する場合、MFSCalcの値はEXCELから参照出来ないため、計算結果を値で出力して下さい。

※結果を値とする方法は次の2つの方法があります。

- ①計算式を[]で囲むと計算結果が値で出力されます。
- ②4.6 FILE出力シート、(1.2) 出力パラメータ設定、終了列:90以下として下さい。

(5.2) 参照用テーブルの作成

VLOOKUP, MATCH, INDEX関数等用に、新しいシートを作成して、データー一覧を作成することも可能ですが、MFSCalc用のシートを変更・削除しないように注意して下さい。

- ・集計結果をファイル出力する場合、MFSCalcの参照テーブルはEXCELから参照出来ないため、参照結果を値で出力するようにして下さい。

(6) 設定値の消去、保存、設定

設定値の消去、集計用の設定値の保存、保存値の集計条件設定が可能です。

(6.1) 設定値の消去

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA\¥SAMPLE			
3	設定	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]			6
4		START/FINISH	12:22:37 PM	12:22:38 PM	処理終了:4	項目5(F)
5	条件初期化	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域 1				売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort					
10	Format					¥#,##0¥-#,##0
11	[No.]	地域	検索2	検索3	検索4	売上

①条件初期化を選択します。

②[設定]をクリックします。

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA\¥SAMPLE			
3	保存	処理ファイル:				項目5(F)
4	設定	START/FINISH				集計
5	条件初期化	検索	検索	検索	検索	
6	検索項目/集計項目					
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					
8	(検索2/File2, 検索2)					
9	Sort					
10	Format					
11	No.					
12						
13						

③設定値および、集計結果出力が消去されます。

(6.2) 設定値の保存

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA\¥SAMPLE			
3	保存	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]			6
4	設定	START/FINISH	12:27:04 PM	12:27:04 PM	処理終了:4	項目5(F)
5	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域 1				売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort					
10	Format					¥#,##0¥-#,##0
11	[No.]	地域	検索2	検索3	検索4	売上

①保存先を選択します。(集計条件01 ~ 集計条件10 10個の保存先を選択)

②[保存]をクリックします。

「集計条件」シートの保存先に設定値が保存されます。

	A	B	C	D	E	F
1	【集計条件情報】					
2	初期化条件選択	初期化	識別形式/年度:	1:yyymm	4月～翌年3月	NL
3	※条件初期化を選択で、集計条件を全て初期化			※初期値(yyymm)	※初期値(4月～)	※初期値(NL)
4	初期値	検索	検索	検索	検索	集計
5	検索項目/集計項目					
6	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					
7	(検索2/File2, 検索2)					
8	Sort					
9	Format					
10	No.					
11						
12	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
13	検索項目/集計項目	地域 1				売上 4
14	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
15	(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
16	Sort					
17	Format					¥#,##0¥-#,##0
18	[No.]	地域	検索2	検索3	検索4	売上

- ③「集計条件」シートへ、集計条件が保存されます。
保存先に集計条件が存在する場合、既存の設定値は、一時保存用11に退避されます。

(6.3) 集計条件名の変更

集計条件02					
A	B	C	D	E	F
1	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2	ファイル設定:	C:\DATA\Y\SAMPLE			
3	処理ファイル:	DATA201502.xlsx[201502:1]			
4	START/FINISH	12:27:04 PM	12:27:04 PM	処理終了:4	6
5	集計条件02	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1			売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)				DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)				DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort				
10	Format				¥#,##0,¥-#,##0
11	[No.]	地域	検索2	検索3	売上

- ①保存する集計条件を選択します。
②集計条件名を変更します。最後の2桁:01~10は変更不可です。
(集計条件02 → 地域別集計02へ変更)
③[保存]をクリックします。

実行結果1:「集計条件」シートに集計条件名で保存されます。

A	B	C	D	E	F
1	【集計条件情報】				
2	初期化条件選択	初期化	識別形式/年度:	1:yyymm	4月~翌年3月
3	※条件初期化を選択で、集計条件を全て初期化				
4	初期値	検索	検索	検索	集計
5	検索項目/集計項目				
6	(検索1/File1, 検索項目,計算式)				
7	(検索2/File2,検索2)				
8	Sort				
9	Format				
10	No.				
11					
12	集計条件01	検索	検索	検索	集計
13	検索項目/集計項目	地域_1			売上_4
14	(検索1/File1, 検索項目,計算式)				DATA201501.xlsx[201501:1]
15	(検索2/File2,検索2)				DATA201502.xlsx[201502:1]
16	Sort				
17	Format				¥#,##0,¥-#,##0
18	[No.]	地域	検索2	検索3	売上
19					
20	地域別集計02	検索	検索	検索	集計
21	検索項目/集計項目	地域_1			売上_4
22	(検索1/File1, 検索項目,計算式)				DATA201501.xlsx[201501:1]
23	(検索2/File2,検索2)				DATA201502.xlsx[201502:1]
24	Sort				
25	Format				¥#,##0,¥-#,##0
26	[No.]	地域	検索2	検索3	売上

- ④変更後の集計条件名となります。

実行結果2:「LIST1」シート集計条件MENU変更(4.4 LIST1シート 参照)

A	B	C	D
1	データファイル	検索項目リスト	集計項目リスト
2			集計条件
3	DATA201501.xlsx[201501:1]	※	売上_4
4	DATA201502.xlsx[201502:1]	地域_1	原価_5
5	SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]	支店_2	その他_6
6		日時_3	集計条件03
7			集計条件04
8			集計条件05
9			集計条件06
10			集計条件07
11			集計条件08
12			集計条件09
13			集計条件10
14			一時保存用11

- ⑤集計条件名を変更した場合、集計条件MENUが変更後の集計条件名になります

(6.3) 保存値の設定

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2	保存	ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE			
3	設定	処理ファイル:				
4		START/FINISH				項目5(F)
5	地域別集計02	検索	検索	検索	検索	集計
6	条件初期化					
7	集計条件01					
8	集計条件02					
9	集計条件03					
10	集計条件04					
11	集計条件05					
12	集計条件06					
13	No.					

① 設定する集計条件を選択します。

(集計条件01 ~ 集計条件10、一時保存用11 が選択可能)

② [設定]をクリックします。

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2	保存	ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE			
3	設定	処理ファイル:				
4		START/FINISH				項目5(F)
5	地域別集計02	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域 1				売上 4
7	(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort					
10	Format					¥#,##0,¥-#,##0
11	[No.]	地域	検索2	検索3	検索4	売上

③ 集計条件が設定されます。

実行結果1: 集計実行

地域別集計02	検索	検索	検索	検索	集計	集計	集計
検索項目/集計項目	地域 1				売上 4	原価 5	その他 6
(検索1/File1, 検索項目, 計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
(検索2/File2, 検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
Sort							
Format					¥#,##0,¥-#,##0	<<==	<<==
[No.]	地域	検索2	検索3	検索4	売上	原価	その他
1 東京					¥28,000	¥17,000	¥2,600
2 北海道					¥7,000	¥4,500	¥550
3 大阪					¥17,000	¥9,000	¥2,000
4 福岡					¥7,000	¥4,500	¥500
総計					¥59,000	¥35,000	¥5,650

④ 集計実行結果が出力されます。

実行結果2: 「WORK」シート出力 (4.6 FILE出力シート 参照)

	A	C	D	E
1	【地域別集計】			
2				
3	[No] 地域 売上 原価 雑費			
4	1 東京	¥28,000	¥17,000	¥2,600
5	2 北海道	¥7,000	¥4,500	¥550
6	3 大阪	¥17,000	¥9,000	¥2,000
7	4 福岡	¥7,000	¥4,500	¥500
8	総計	¥59,000	¥35,000	¥5,650

⑤ 集計条件名を変更した場合、タイトルが集計条件名になります。

(7) 集計条件項目(検索・集計・計算)の移動

検索項目、集計項目、計算項目の移動を行います。

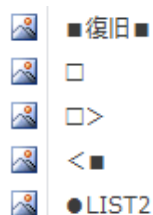
※0項目目は、連番項目として固定です。

※1項目～4項目は、検索項目としています。

2～4項目に計算項目の設定が可能です。集計項目を設定することは出来ません。

	A	B	C	D	E	F
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan	
2		ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE			
3	保存 設定	処理ファイル:				
4		START/FINISH				項目5(F)
5	地域別集計02	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目	地域				売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort					
10	Format					¥##,##0¥-#,##0
11	[No.]	地域	検索2	検索3	検索4	売上

①移動対象の項目を選択して右クリックすると、メニューリストが表示されます。



■復旧■: 項目移動後、移動前に戻す場合、選択します。

□: 選択項目の設定値を消去します。

□>: 項目を右方向に移動します。

□<: 項目を左方向に移動します。

●LIST2: Sort行へ ●LIST2を追加します。

「LIST2」シートのリスト設定は、「設定」をクリックして行います。

※連続した複数項目を選択する場合は、左クリックしたままカーソルをスライドして複数項目選択するか、SHIFTキーを押したまま左クリックで複数項目選択して、右クリックでメニューリストを表示し、処理を選択します。

※●LIST2の場合は、Cntlキーを押したまま連続しない複数項目の選択が有効です。

②移動方法・消去等の処理を選択します。

※計算項目の移動時に、計算式も移動後に変換されます。

※計算式で参照されている項目が消去された場合は、INVALID(n#)となります。

設定例1: 検索項目を右に1項目移動。

	A	B	C	D	E	F	G
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan		
2		ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE				
3	保存 設定	処理ファイル:					
4		START/FINISH				項目5(F)	項目6(G)
5	地域別集計02	検索	検索	検索	検索	集計	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	原価_5
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]	
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]	
9	Sort						
10	Format					¥##,##0¥-#,##0	
11	[No.]	地域	検索2	検索3	検索4	売上	原価

①移動項目で右クリックします。

②メニューより、□>(右方向移動)を選択します。

実行結果1: 検索項目が1項目右へ移動します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan		
2		ファイル設定:	C:\¥DATA¥SAMPLE				
3	保存 設定	処理ファイル:					
4		START/FINISH				項目5(F)	項目6(G)
5	地域別集計02	検索	検索	検索	検索	集計	集計
6	検索項目/集計項目	地域_1				売上_4	原価_5
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]	
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]	
9	Sort						
10	Format					¥##,##0¥-#,##0	
11	[No.]	地域	検索3	検索4		売上	原価

③検索項目の移動を確認します。

※検索項目4項目に未設定の項目が有る場合は、検索項目4項目内で調整します。

設定例2 : 集計項目を右に2項目移動。

	A	B	C	D	E	F	G
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan		
2		ファイル設定:	C:\DATA\YSAMPLE				
3	保存 設定	処理ファイル:					
4		START/FINISH				項目5(F)	項目6(G)
5	地域別集計02	検索	検索	検索	検索	集計	集計
6	検索項目/集計項目		地域_1			売上_4	原価_5
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]	
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]	
9	Sort						
10	Format					¥#,##0¥-#,##0	
11	[No.]		地域	検索3	検索4	売上	原価

- ④左クリックで2項目分選択し、右クリックします。
⑤メニューより、□> (右方向移動)を選択します。

実行結果2: 集計項目が2項目右へ移動します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan			
2		ファイル設定:	C:\DATA\YSAMPLE					
3	保存 設定	処理ファイル:						
4		START/FINISH				項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)
5	地域別集計02	検索	検索	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目		地域_1					売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)							DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)							DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort							
10	Format							¥#,##0¥-#,##0
11	[No.]		地域	検索3	検索4			売上

- ⑥集計項目の移動を確認します。
※検索項目4項目に続く集計項目を移動する場合は、空項目は検索項目になります。

設定例3 : 移動前の状態に戻す。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan			
2		ファイル設定:	C:\DATA\YSAMPLE					
3	保存 設定	処理ファイル:						
4		START/FINISH				項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)
5	地域別集計02	検索	検索	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目		地域_1					売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)							DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)							DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort							
10	Format							¥#,##0¥-#,##0
11	[No.]		地域	検索3	検索4			売上

- ⑦左クリックで2項目分選択し、右クリックします。
⑧メニューより、< ■ (左方向移動)を選択します。

※■復旧■により、移動前の状態に戻すことが可能です。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan			
2		ファイル設定:	C:\DATA\YSAMPLE					
3	保存 設定	処理ファイル:						
4		START/FINISH				項目5(F)	項目6(G)	項目7(H)
5	地域別集計02	検索	検索	検索	検索	検索	検索	集計
6	検索項目/集計項目		地域_1					売上_4
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)							DATA201501.xlsx[201501:1]
8	(検索2/File2,検索2)							DATA201502.xlsx[201502:1]
9	Sort							
10	Format							¥#,##0¥-#,##0
11	[No.]		地域	検索3	検索4			売上

- ⑦右クリックします。
⑧メニューより、■復旧■を選択します。

実行結果3: 移動前の状態に戻ります。

	A	B	C	D	E	F	G
1	RUN	EXCEL情報集計	MFSCalcR11.0	10000行×40項目	Made in Japan		
2		ファイル設定:	C:\DATA\YSAMPLE				
3	保存 設定	処理ファイル:					
4		START/FINISH				項目5(F)	項目6(G)
5	地域別集計02	検索	検索	検索	検索	集計	集計
6	検索項目/集計項目		地域_1			売上_4	原価_5
7	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]	
8	(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]	
9	Sort						
10	Format					¥#,##0¥-#,##0	
11	[No.]		地域	検索3	検索4	売上	原価

- ⑨集計項目の移動を確認します。
※集計項目は、項目5(F)まで移動可能です。F列より左側には移動出来ません。

4.2 集計条件シート

月度・年度の初期値の設定、集計処理シートの設定値の保存を行います。

	A	B	C	D	E	F
1	【集計条件情報】					
2	初期化条件選択	初期化	識別形式/年度:	1:yyymm	4月～翌年3月	NL
3	※条件初期化を選択で、集計条件を全て初期化			※初期値(yyymm)	※初期値(4月～)	※初期値(NL)
4	初期値	検索	検索	検索	検索	集計
5	検索項目/集計項目					
6	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					
7	(検索2/File2,検索2)					
8	Sort					
9	Format					
10	No.					
11						
12	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
13	検索項目/集計項目					
14	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					
15	(検索2/File2,検索2)					
16	Sort					
17	Format					
18	No.					

集計条件シートでは、以下の操作を行います。

- (1) 月度・年度変換初期値設定
- (2) 集計条件初期値設定
- (3) 集計条件の初期化

(1) 月度・年度変換初期値設定

	A	B	C			
1	【集計条件情報】			①	②	③式を直接入力
2	初期化条件選択	初期化	識別形式/年度:	1:yyymm	4月～翌年3月	NL
3	※条件初期化を選択で、集計条件を全て初期化			※初期値(yyymm)	※初期値(4月～)	※初期値(NL)
4	初期値	検索	検索	検索	検索	集計
5	検索項目/集計項目					
6	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					
7	(検索2/File2,検索2)					
8	Sort					
9	Format					
10	No.					

① 0:yyymmdd, 1:yyymm (初期値) 年月日変換フォーマット(メニューより選択)

集計ファイル名、追加情報の数字を年月日と認識する場合のフォーマットです。

0:yyymmdd 数字の右から、dd2文字を日、mm2文字を月、yy残りを年に変換します。

1:yyymm 数字の右から、mm2文字を月、yy残りを年に変換します。

例1: 1:yyymm 数字を 201504 とすると、2015年4月と変換されます。

例2: 1:yyymmdd 数字を 20150401 とすると、2015年4月1日と変換されます。

② 4月～翌年3月(初期値) 年度の指定(直接入力可能)

最初の数字(1～12)が年度の始まり月になります。

例1: 4月～翌年3月 年度の始まりを4月とします。

例2: 9月 年度の始まりを9月とします。

③ NL(初期値) 文字列中の数字位置指定(入力可能)

NL: 最も長い数字、N1: 最初の数字、NE: 最後の数字

3.3 CONVSTR1 文字列変換式 を参照して下さい。

例1: NL 文字列: TEST201510 の場合、201510 に変換されます。

例2: N1 文字列: 201415DATA01 の場合、201512 に変換されます。

(2) 集計条件初期値設定

初期値は、検索項目が4項目に、集計項目が続く、空白項目になります。

直接、設定値を設定すれば、その値が初期値になります。

初期値	検索	検索	検索	検索	集計
検索項目/集計項目					
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					
(検索2/File2,検索2)					
Sort					
Format					
No.					

(3) 集計条件の初期化

集計条件を選択して、初期化します。

	A	B	C	D	E	F
1	【集計条件】					
2	初期化条件選択	初期化	識別形式/年度:	1:yyymm	4月～翌年3月	NL
3	※条件初期化を選択で、集計条件を全て初期化			※初期値(yyymm)	※初期値(4月～)	※初期値(NL)
4	初期値	検索	検索	検索	検索	集計
5	検索項目/集計項目					
6	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					
7	(検索2/File2,検索2)					
8	Sort					
9	Format					
10	No.					
11						
12	集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計
13	検索項目/集計項目					
14	(検索1/File1, 検索項目,計算式)					
15	(検索2/File2,検索2)					
16	Sort					
17	Format					
18	No.					

①初期化対象の集計条件を選択します。

- ・条件初期化: 集計条件01 ～ 集計条件10、一時保存用11 を初期化対象とします。
- ・集計条件01～集計条件10、一時保存用11: 選択した集計条件を初期化対象とします。

②[初期化]をクリックします。

選択された集計条件が初期化されます。集計条件名も 集計条件01～集計条件10へ戻ります。

4.3 設定処理シート

集計ファイルのデータ項目情報を管理します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	【検索・集計MENU設定】										
2	※集計項目読み込み		MENU表示	O_number	○□●LIST1MENU設定			MENU整理			
3	○検索項目/口集計項目		※MENU表示		※LIST1リストへMENU設定			※LIST2リストにより、MENU更新			
4	項目1-10	項目_1(A)	項目_2(B)	項目_3(C)	項目_4(D)	項目_5(E)	項目_6(F)	項目_7(G)	項目_8(H)	項目_9(I)	項目_10(J)
5	項目名										
6	MENU選択										
7	MENU名										
8											
9	項目11-20	項目_11(K)	項目_12(L)	項目_13(M)	項目_14(N)	項目_15(O)	項目_16(P)	項目_17(Q)	項目_18(R)	項目_19(S)	項目_20(T)
10	項目名										
11	MENU選択										
12	MENU名										
13											
14	項目21-30	項目_21(U)	項目_22(V)	項目_23(W)	項目_24(X)	項目_25(Y)	項目_26(Z)	項目_27(AA)	項目_28(AB)	項目_29(AC)	項目_30(AD)
15	項目名										
16	MENU選択										
17	MENU名										

「設定処理」シートでは、以下の操作を行います。

- (1) 集計ファイルデータ項目名読み込み
- (2) 検索対象項目・集計対象項目選択
- (3) MENU表示、「LIST1」シートメニュー設定
- (4) 「LIST2」シート内、検索値リストチェック

(1) 集計ファイルデータ項目名読み込み

基準の集計ファイルのデータ項目名を取得します。

	A	C	D	E	F	G
1	①【検索・集計MENU設定】					
2	※ 集計項目読み込み	MENU表示	O_number		○□[●]LIST1MENU設定	
3	○検索項目/□集計項目	※ MENU表示			※ LIST1リストへMENU設定	
4	項目1-10	項目_1(A)	項目_2(B)	項目_3(C)	項目_4(D)	項目_5(E)
5	項目名					
6	MENU選択					
7	MENU名					
8						
9	項目11-20	項目_11(K)	項目_12(L)	項目_13(M)	項目_14(N)	項目_15(O)
10	項目名					
11	MENU選択					
12	MENU名					
13						
14	項目21-30	項目_21(U)	項目_22(V)	項目_23(W)	項目_24(X)	項目_25(Y)
15	項目名					
16	MENU選択					
17	MENU名					

※「集計処理」シート、集計ファイルフォーマット(B1セル)を確認・選択が必要です。

①「設定処理」シートの、[※集計項目読み込み]をクリックします。

②ファイルエクスプローラ画面が表示され、入力ファイルを1ファイル選択します。

名前	更新日時	種類
DATA201501	2014/11/15 20:09	Microsoft Excel
DATA201502	2014/11/15 20:11	Microsoft Excel

③選択されたファイルのデータと、項目行選択画面が表示されます。

集計対象の表形式のデータシートを選択し項目行をクリックします。

例:セルA1を選択すると、項目行選択画面に選択位置(\$A\$1)が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	地域	支店	日時	売上	原価	その他		
2	東京	新宿	2015/1/10 10:30	6000	3500	600		
3	東京	渋谷	2015/1/12 13:40	9000	5500	800		
4	北海道	札幌	2015/1/15 16:10	3000	2000	250		
5	大阪	梅田	2015/1/20 9:10	10000	5000	1000		
6	福岡	博多	2015/1/25 14:50	4000	2500	300		
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

④[OK]をクリックします。

⑤「設定処理」シートに、項目名が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	【検索・集計MENU設定】						
2	※ 集計項目読み込み	MENU表示	0_number			○□[●] LIST1 MENU設定	
3	○ 検索項目/□ 集計項目	※ MENU表示				※ LIST1リストへMENU設定	
4	項目1-10	項目_1(A)	項目_2(B)	項目_3(C)	項目_4(D)	項目_5(E)	項目_6(F)
5	項目名	地域	支店	日時	売上	原価	その他
6	MENU選択						
7	MENU名						
8							
9	項目11-20	項目_11(K)	項目_12(L)	項目_13(M)	項目_14(N)	項目_15(O)	項目_16(P)
10	項目名						
11	MENU選択						
12	MENU名						

※項目は最大100項目まで読み込みます。

100項目を超える場合は、10項目まで追加設定可能です。

54	追加項目	追加項目_1	追加項目_2	追加項目_3	追加項目_4	追加項目_5	追加項目_6
55	MENU選択						
56	MENU名						

⑥追加項目名を設定します。

書式(101項目の場合): 追加項目名_101 or 追加項目名_cw or 追加項目名_CW

(2) 検索対象項目・集計対象項目選択

	A	B	C	D	E	F	G
1	【検索・集計MENU設定】						
2	※ 集計項目読み込み	MENU表示	0_number			○□[●] LIST1 MENU設定	
3	○ 検索項目/□ 集計項目	※ MENU表示				※ LIST1リストへMENU設定	
4	項目1-10	項目_1(A)	項目_2(B)	項目_3(C)	項目_4(D)	項目_5(E)	項目_6(F)
5	項目名	地域	支店	日時	売上	原価	その他
6	MENU選択	○	○	○	□	□	□
7	MENU名	地域_1	支店_2	日時_3	売上_4	原価_5	その他_6
8							
9	項目11-20	項目_11(K)	項目_12(L)	項目_13(M)	項目_14(N)	項目_15(O)	項目_16(P)
10	項目名						
11	MENU選択						
12	MENU名						

⑦「設定処理」シートのMENU選択から、集計で使用する項目を、検索○、集計□で選択します。

- ・○: 検索項目
- ・□: 集計項目
- ・○□: 検索項目、集計項目
- ・[●]: 検索項目(特殊項目名の「LIST2」シートへの、検索値リスト作成用)

※項目名の先頭が数字・特殊文字の場合、検索値リストの設定が不可のため、項目名を[]で囲み、検索値リストを作成可能とします。

(3) MENU表示、「LIST1」シートメニュー設定

	A	B	C	D	E	F	G
1	【検索・集計MENU設定】						
2	※ 集計項目読み込み	MENU表示	0_number			○□[●] LIST1 MENU設定	
3	○ 検索項目/□ 集計項目	※ MENU表示				※ LIST1リストへMENU設定	
4	項目1-10	項目_1(A)	項目_2(B)	項目_3(C)	項目_4(D)	項目_5(E)	項目_6(F)
5	項目名	地域	支店	日時	売上	原価	その他
6	MENU選択	○	○	○	□	□	□
7	MENU名	地域_1	支店_2	日時_3	売上_4	原価_5	その他_6
8							
9	項目11-20	項目_11(K)	項目_12(L)	項目_13(M)	項目_14(N)	項目_15(O)	項目_16(P)
10	項目名						
11	MENU選択						
12	MENU名						

⑧MENUの表示形式の選択を行います。(初期値:0_number)

- ・0_number: 項目名_番号
- ・1_alphabet: 項目名_列値(小文字)
- ・2_ALPHABET: 項目名_列値(大文字)

⑨[MENU表示]をクリックして、MENU名を表示します。(確認用、省略可能です。)

⑩[○□[●]LIST1 MENU設定]をクリックします。

「LIST1」シートにMENUリストが作成されます。

	A	B	C
1	データファイル	検索項目リスト	集計項目リスト
2			
3		※	売上_4
4		地域_1	原価_5
5		支店_2	その他_6
6		日時_3	
7			
8			

- ⑪検索項目リストが作成されます。
 ・検索項目リストの(※)は、検索値を設定せず集計のみ行うか、集計ファイル名を出力する場合に設定します。
- ⑫集計項目リストが作成されます。
- ⑬「LIST1」シートの D22:D25セルに項目行基準位置情報が作成されます。

開始行_1	開始行: 集計データが始まる1行前の行番号
項目行_1	項目行: 項目行の行数(項目行セルを複数行結合した場合2以上)
判定列_0	判定行: 0は全て空白の行までを集計範囲とします。
最終列_0	最終列: 0は項目が空白項目までを集計範囲とします。

※2.1 集計ファイルの設定、(2) 集計ファイル設定、集計ファイルリスト作成

を参照して下さい。

集計ファイル設定で、項目行が認識不能の場合は、基準位置情報が使用されます。

(4) 「LIST2」シート内、検索値リストチェック

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	【検索・集計MENU設定】								
2	※ 集計項目読み込み	MENU表示	0_number			○□●] LIST1 MENU設定			MENU整理
3	○ 検索項目/□ 集計項目	※ MENU表示			※ LIST1リストへMENU設定			※ LIST2リスト	
4	項目1-10	項目_1(A)	項目_2(B)	項目_3(C)	項目_4(D)	項目_5(E)	項目_6(F)	項目_7(G)	項目_8(H)
5	項目名	地域	支店	日時	売上	原価	その他		
6	MENU選択	●	●	○	□	□	□		
7	MENU名	地域_1	支店_2	日時_3	売上_4	原価_5	その他_6		

- ①[MENU整理]をクリックします。
 「LIST2」シートに設定されている、検索値リストをチェックして、MENU選択を○→●に変更します。検索値リストから削除されている場合は、●→○に変更します。

設定例1: 「LIST2」シートのB列を削除し、「設定処理」シートの[MENU整理] をクリック

	A	B	C
1	地域_1	支店_2	
2			
3	[LIST2]	[LIST2]	
4	大阪	梅田	
5	東京	渋谷	
6	東京	新宿	
7	福岡	博多	
8	北海道	札幌	
9			
10			
11			

※「LIST2」シートは直接編集(列単位の削除、検索値の追加、削除、変更)が可能です。

実行結果1: MENU選択の表示が更新されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	【検索・集計MENU設定】								
2	※ 集計項目読み込み	MENU表示	0_number			○□●] LIST1 MENU設定			MENU整理
3	○ 検索項目/□ 集計項目	※ MENU表示			※ LIST1リストへMENU設定			※ LIST2リスト	
4	項目1-10	項目_1(A)	項目_2(B)	項目_3(C)	項目_4(D)	項目_5(E)	項目_6(F)	項目_7(G)	項目_8(H)
5	項目名	地域	支店	日時	売上	原価	その他		
6	MENU選択	●	○	○	□	□	□		
7	MENU名	地域_1	支店_2	日時_3	売上_4	原価_5	その他_6		

- ・項目_2(B) ● → ○ に更新されます。

4.4 LIST1シート

「集計処理」シートで設定する、各種の設定情報のMENUリストです。

	A	B	C	D
1	データファイル	検索項目リスト	集計項目リスト	集計条件
2				
3	DATA201501.xlsx[201501:1]	※	売上 4	条件初期化
4	DATA201502.xlsx[201502:1]	地域 1	原価 5	集計条件01
5	SAMPLEDATA.xlsx[Sheet1:1]201510	支店 2	その他 6	集計条件02
6		日時 3		集計条件03
7				集計条件04
8				集計条件05
9				集計条件06
10				集計条件07
11				集計条件08
12				集計条件09
13				集計条件10
14				一時保存用11
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				開始行 1
24				項目行 1
25				判定列 0
26				最終列 0

※データファイル～集計条件は、「集計処理」「集計条件」「設定処理」シートからリスト作成されます。

4.5 LIST2シート

「集計処理」シートで設定する、検索値リストです。

	A	B	C
1	地域 1	支店 2	
2			
3	[LIST2]	[LIST2]	
4	東京	新宿	
5	北海道	渋谷	
6	大阪	札幌	
7	福岡	梅田	
8		博多	
9			
10			
11			

※最大100行(検索値は97個)まで、設定可能です。

※【重要】列単位に削除可能ですが、シートの削除は出来ません。

(MFSCalcアプリケーションが動作不能になります。)

4.6 FILE出力シート

集計結果の「WORK」シートへの出力、EXCELファイル出力、EXCEL→CSVファイル出力、集計条件の設定値の引き継ぎデータ出力、引き継ぎデータの読込を行います。

(1) 集計結果出力

「集計処理」シートの集計結果の「WORK」シート出力、「WORK」シートから.xlsx形式のファイル出力を行います。

(1.1) 「WORK」シートの消去

	A	B	C	D	E
1	【集計結果→EXCELファイル出力】				
2	※ 集計結果をEXCELファイル(.xlsx形式)出力します。				
3	WORKデータ消去1		概要出力	全結果・表出力	
4	出力範囲指定		開始列	検索列	終了列
5	開始行	11	1	0	100
6	出力選択	0:表作成のみ	タイトル名	【集計結果】	
7	枠線	11	シート名	直接入力	
8	・開始行: 出力開始行(集計処理シートの出力開始行番号)				
9	・開始列: 出力を開始する列(開始列<終了列)				
10	・検索列: 検索情報無し検索列を出力無しは 0、出力は 1				
11	・終了列: 自動判別(90以下:値のみ, 99:数式込,100:Filter付)				
12	・出力選択: 0:表作成, 1:表作成新規出力, 2:表作成追加出力,				
13	3:新規出力, 4:追加出力				
14	・枠線: 細破線格子 1、外枠細線 +10、列幅無調整 +100				

①[WORKデータ消去1]をクリックします。

「WORK」シートの消去(列幅の初期化無し)を行います。

(1.2) 出力パラメータ設定

- ・開始行: 「集計処理」シートの集計結果の出力開始行数
- ・開始列: 「集計処理」シートの集計結果の出力開始列数
- ・検索列: 検索項目で検索値の設定の無い項目の出力
0: 出力無し、1: 出力
- ・終了列: 集計結果の出力最終列番号
1~90: 集計結果の値のみ出力、99: 計算式を含め出力、
100: 計算式及び項目行にフィルタを設定して出力
- ・出力選択: 出力方法の選択
0: 表作成のみ 集計結果を「WORK」シートへ出力
1: 表作成新規出力 集計結果を「WORK」シートへ出力、新規ファイル出力
2: 表作成追加出力 集計結果を「WORK」シートへ出力、既存ファイルシート追加出力
3: 新規出力 「WORK」シートを、新規ファイルへ出力
4: 追加出力 「WORK」シートを、既存ファイルへシート追加出力
- ・枠線: 「WORK」シートへ出力される集計結果の枠線の設定
0: 枠線を描画しない
1: 細破線で描画
11: 外枠・中間集計枠を細線実線、その他を細細線で描画
111: 前回出力した列幅のまま出力(複数の集計結果の出力イメージを合わせる場合)
- ・タイトル名: 集計結果のタイトル名
- ・シート名: 集計結果のシート名(直接入力: ファイル出力時に直接入力します)

(1.3) 概要出力

「集計処理」シートの集計結果の内、中間集計と総計のみを出力します。

	A	B	C	D	E
1	【集計結果→EXCELファイル出力】				
2	※ 集計結果をEXCELファイル(.xlsx形式)出力します。				
3	WORKデータ消去1		概要出力	全結果・表出力	
4	出力範囲指定		開始列	検索列	終了列
5	開始行		1	0	100
6	出力選択	0:表作成のみ	タイトル名【集計結果】		
7	枠線	11	シート名	直接入力	

- ①「WORK」シートを消去します。
- ②出力選択: 0:表作成のみ を選択します。
- ③[概要出力]をクリックします。

実行例1:集計結果(「集計処理」シート)

集計条件01	検索	検索	検索	検索	集計	集計	集計
検索項目/集計項目	地域 1	支店 2			売上 4	原価 5	その他 6
(検索1/File1, 検索項目,計算式)					DATA201501.xlsx[201501:1]		
(検索2/File2,検索2)					DATA201502.xlsx[201502:1]		
Sort							
Format					##,##0##,##0	<<=	<<=
[[年月]]	地域	支店	検索3	検索4	売上	原価	その他
2015年01月	東京	新宿			¥6,000	¥3,500	¥600
2015年01月	東京	渋谷			¥9,000	¥5,500	¥800
2015年01月	北海道	札幌			¥3,000	¥2,000	¥250
2015年01月	大阪	梅田			¥10,000	¥5,000	¥1,000
2015年01月	福岡	博多			¥4,000	¥2,500	¥300
2015年01月 集計					¥32,000	¥18,500	¥2,950
2015年02月	東京	新宿			¥5,000	¥3,000	¥500
2015年02月	東京	渋谷			¥8,000	¥5,000	¥700
2015年02月	北海道	札幌			¥4,000	¥2,500	¥300
2015年02月	大阪	梅田			¥7,000	¥4,000	¥1,000
2015年02月	福岡	博多			¥3,000	¥2,000	¥200
2015年02月 集計					¥27,000	¥16,500	¥2,700
総計					¥59,000	¥35,000	¥5,650

実行結果1:概要出力例(「WORK」シート)

	A	B	C	D
1	【集計結果】			
2				
3	[[年月]]	売上	原価	その他
4	2015年01月	¥32,000	¥18,500	¥2,950
5	2015年02月	¥27,000	¥16,500	¥2,700
6	総計	¥59,000	¥35,000	¥5,650

※中間集計結果、総計の値のみ出力されます。

(1.4) 全結果・表出力

「集計処理」シートの集計結果を出力します。

	A	B	C	D	E
1	【集計結果→EXCELファイル出力】				
2	※ 集計結果をEXCELファイル(.xlsx形式)出力します。				
3	WORKデータ消去1		概要出力	全結果・表出力	
4	出力範囲指定		開始列	検索列	終了列
5	開始行		1	0	100
6	出力選択	0:表作成のみ	タイトル名【集計結果】		
7	枠線	11	シート名	直接入力	

- ①「WORK」シートを消去します。
- ②出力選択: 0:表作成のみ を選択します。
- ③[全結果・表出力]をクリックします。

実行結果2:全結果出力例(「WORK」シート)

	A	B	C	D	E	F
1	【集計結果】					
2						
3	[[年月]]	地域	支店	売上	原価	その他
4	2015年01月	東京	新宿	¥6,000	¥3,500	¥600
5	2015年01月	東京	渋谷	¥9,000	¥5,500	¥800
6	2015年01月	北海道	札幌	¥3,000	¥2,000	¥250
7	2015年01月	大阪	梅田	¥10,000	¥5,000	¥1,000
8	2015年01月	福岡	博多	¥4,000	¥2,500	¥300
9	2015年01月 集計			¥32,000	¥18,500	¥2,950
10	2015年02月	東京	新宿	¥5,000	¥3,000	¥500
11	2015年02月	東京	渋谷	¥8,000	¥5,000	¥700
12	2015年02月	北海道	札幌	¥4,000	¥2,500	¥300
13	2015年02月	大阪	梅田	¥7,000	¥4,000	¥1,000
14	2015年02月	福岡	博多	¥3,000	¥2,000	¥200
15	2015年02月 集計			¥27,000	¥16,500	¥2,700
16	総計			¥59,000	¥35,000	¥5,650

実行結果3:全結果出力例(「WORK」シート)(検索列:1の場合)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	【集計結果】							
2								
3	[[年月]]	地域	支店	検索1	検索2	売上	原価	その他
4	2015年01月	東京	新宿			¥6,000	¥3,500	¥600
5	2015年01月	東京	渋谷			¥9,000	¥5,500	¥800
6	2015年01月	北海道	札幌			¥3,000	¥2,000	¥250
7	2015年01月	大阪	梅田			¥10,000	¥5,000	¥1,000
8	2015年01月	福岡	博多			¥4,000	¥2,500	¥300
9	2015年01月 集計					¥32,000	¥18,500	¥2,950
10	2015年02月	東京	新宿			¥5,000	¥3,000	¥500
11	2015年02月	東京	渋谷			¥8,000	¥5,000	¥700
12	2015年02月	北海道	札幌			¥4,000	¥2,500	¥300
13	2015年02月	大阪	梅田			¥7,000	¥4,000	¥1,000
14	2015年02月	福岡	博多			¥3,000	¥2,000	¥200
15	2015年02月 集計					¥27,000	¥16,500	¥2,700
16	総計					¥59,000	¥35,000	¥5,650

検索設定の無い検索項目も出力されます。

実行結果4:全結果出力例(「WORK」シート)(開始行:5の場合)

	A	B	C	D	E	F
1	【集計結果】					
2						
3	集計条件01	検索	検索	集計	集計	集計
4	検索項目/集計項目	地域 1	支店 2	売上 4	原価 5	その他 6
5	(検索1/File1, 検索項目,計算式)			DATA201501.xlsx[201501:1]		
6	(検索2/File2,検索2)			DATA201502.xlsx[201502:1]		
7	Sort					
8	Format			¥#,##0¥-#,##0	<<==	<<==
9	[[年月]]	地域	支店	売上	原価	その他
10	2015年01月	東京	新宿	¥6,000	¥3,500	¥600
11	2015年01月	東京	渋谷	¥9,000	¥5,500	¥800
12	2015年01月	北海道	札幌	¥3,000	¥2,000	¥250
13	2015年01月	大阪	梅田	¥10,000	¥5,000	¥1,000
14	2015年01月	福岡	博多	¥4,000	¥2,500	¥300
15	2015年01月 集計			¥32,000	¥18,500	¥2,950
16	2015年02月	東京	新宿	¥5,000	¥3,000	¥500
17	2015年02月	東京	渋谷	¥8,000	¥5,000	¥700
18	2015年02月	北海道	札幌	¥4,000	¥2,500	¥300
19	2015年02月	大阪	梅田	¥7,000	¥4,000	¥1,000
20	2015年02月	福岡	博多	¥3,000	¥2,000	¥200
21	2015年02月 集計			¥27,000	¥16,500	¥2,700
22	総計			¥59,000	¥35,000	¥5,650

集計条件を含め出力されます。

(1.5) 新規ファイル出力

「WORK」シートを新規ファイル(.xlsx形式)出力します。

	A	B	C	D	E
1	【集計結果→EXCELファイル出力】				
2	※ 集計結果をEXCELファイル(.xlsx形式)出力します。				
3	WORKデータ消去1		概要出力	全結果・表出力	
4	出力範囲指定		開始列	検索列	終了列
5	開始行	1	1	0	100
6	出力選択	3:新規出力	タイトル名	【集計結果】	
7	枠線	11	シート名	直接入力	

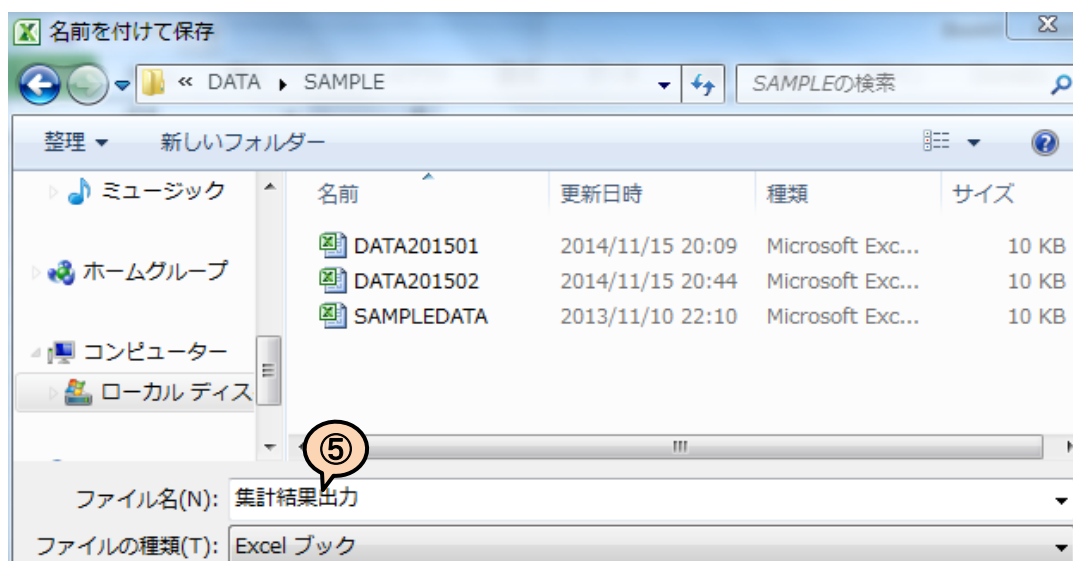
①出力選択: 3:新規出力 を選択します。

②[全結果・表出力]をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	【集計結果】							
2								
3	[[年月]]	地域	支店	売上	原価	その他		
4	2015年01月	東京	新宿	¥6,000	¥3,500	¥600		
5	2015年01月	東京	渋谷	¥9,000	¥5,500	¥800		
6	2015年01月	北海道	札幌	¥3,000	¥2,000	¥250		
7	2015年01月	大阪	梅田	¥10,000	¥5,000	¥1,000		
8	2015年01月	福岡	博多	¥4,000	¥2,500	¥300		
9	2015年01月 集計			¥32,000	¥18,500	¥2,950		
10	2015年02月	東京	新宿	¥5,000	¥3,000	¥500		
11	2015年02月	東京	渋谷	¥8,000	¥5,000	¥700		
12	2015年02月	北海道	札幌	¥4,000	¥2,500	¥300		
13	2015年02月	大阪	梅田	¥7,000	¥4,000	¥1,000		
14	2015年02月	福岡	博多	¥3,000	¥2,000	¥200		
15	2015年02月 集計			¥27,000	¥16,500	¥2,700		
16	総計			¥59,000	¥35,000	¥5,650		

③出力するシート名を入力します。

④[OK]をクリックします。



⑤集計結果出力ファイル名を入力します。

⑥[保存(S)]をクリックして、ファイルを保存します。

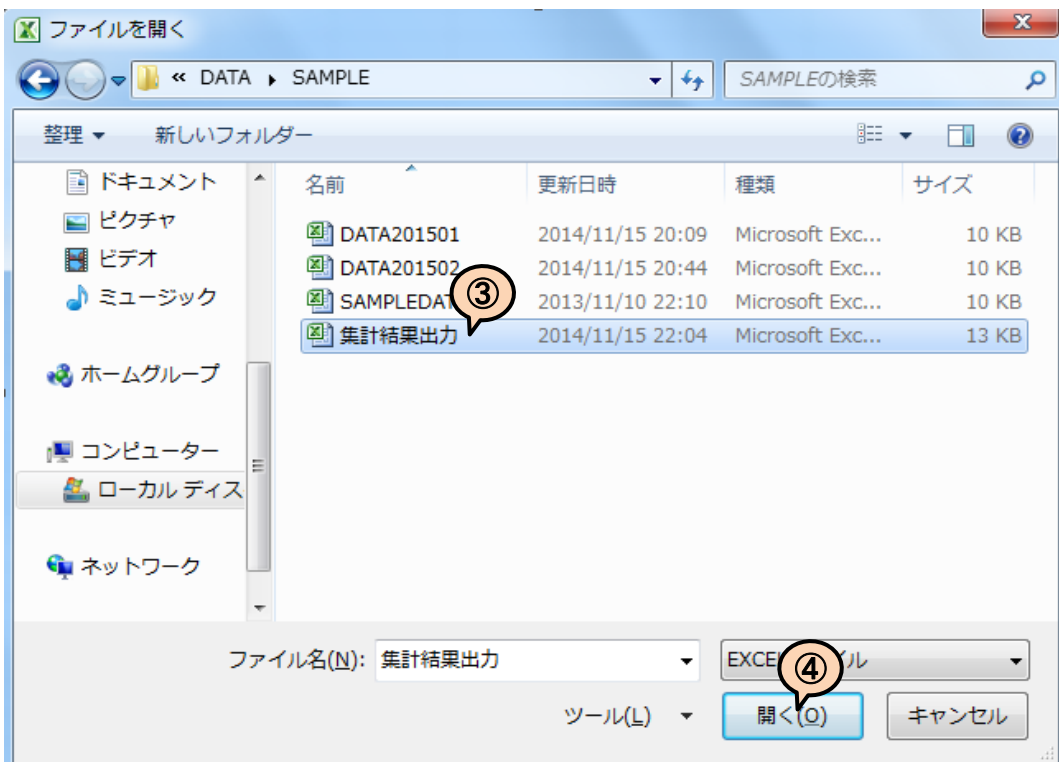
(1.6) 追加出力

「WORK」シートを既存ファイルに追加出力します。

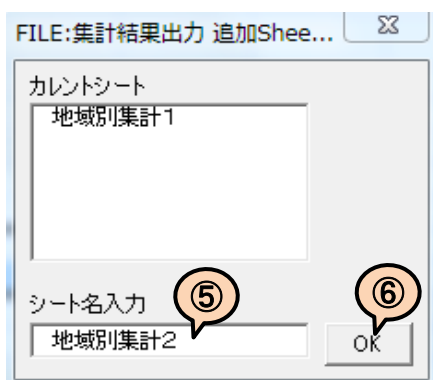
	A	B	C	D	E
1	【集計結果→EXCELファイル出力】				
2	※ 集計結果をEXCELファイル(.xlsx形式)出力します。				
3	WORKデータ消去1		概要出力	全結果・表出力	
4	出力範囲指定		開始列	検索列	終了列
5	開始行		1	0	100
6	出力選択	4:追加出力	タイトル名	【集計結果】	
7	枠線	11	シート名	直接入力	

①出力選択: 4:追加出力 を選択します。

②[全結果・表出力]をクリックします。



③エクスプローラから既存ファイルを選択します。



⑤追加ファイルのシートリストが表示され、追加するシート名を入力します。

※既存のシート名と異なるシート名を入力して下さい。

⑥[OK]をクリックします。



⑦[保存(S)]をクリックして、ファイルを保存します。

(2) CSVファイル出力
EXCELファイルをCSVファイルに変換します。

(2.1) 「WORK」シート消去

16	【EXCELファイル→CSVファイル出力】			
17	※ EXCELファイル→CSVデータ変換を行います。			
18	WORKデータ消去2		EXCELファイル読込・CSV出力	
19	読込み範囲指定		開始列	判別列
20	開始行	1	1	0
21				
22	※ 範囲指定例		開始列(3)	判別列(3)
23	開始行(23)		項目1	項目2
24	※C8:E12の範囲を		1	aa
25	csvファイル出力例		2	bb
26			3	cc
27			4	dd
28				
29	・判別列=0の場合、開始列-最終列範囲で空白行まで処理します。			
30	1行目から空白行が続く場合は、判別列>0で指定して下さい。			
31	・判別列>0の場合、判別列の値がNULLの行で処理を終了します。			
32	・読込むEXCELファイルのフィルタ指定は反映されます。			
33	・EXCELデータ内のカンマ(,)は、CSVファイルでは			
34	半角スペースに変換されます。			

- ①[WORKデータ消去2]をクリックします。
「WORK」シートの消去(列幅を初期化)を行います。

(2.2) 出力パラメータ設定

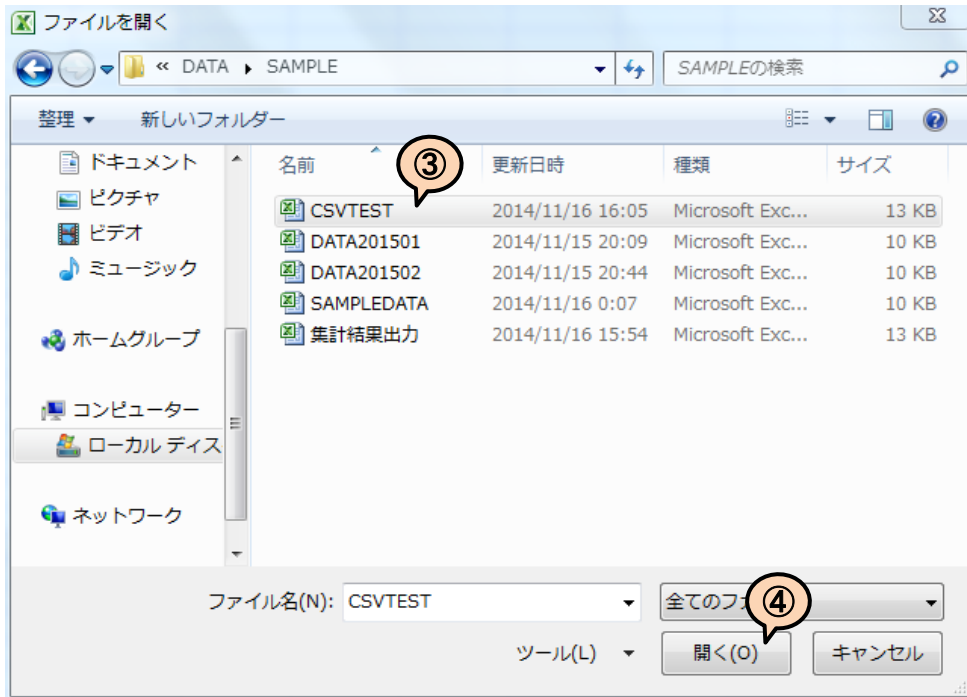
- ・開始行: 変換ファイルの出力開始行数
- ・開始列: 変換ファイルの出力開始列数
- ・判別列: データが最終行まで存在する場合に設定します。
0: 自動判別
- ・終了列: 変換ファイルの出力最終列番号
0: 自動判別

※出力される CSVファイルは、カンマ(,)区切り形式のCSVファイルになります。
EXCELデータ内のカンマ(,)は、半角スペースに変換され出力されますが、
元のEXCELデータ自体は変更されません。

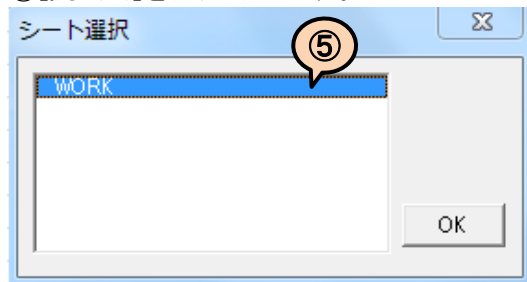
実行例1:

16	【EXCELファイル→CSVファイル出力】			
17	※ EXCELファイル→CSVデータ変換を行います。			
18	WORKデータ消去2		EXCELファイル読込・CSV出力	
19	読込み範囲指定		開始列	判別列
20	開始行	1	1	0
21				
22	※ 範囲指定例		開始列(3)	判別列(3)
23	開始行(23)		項目1	項目2
24	※C8:E12の範囲を		1	aa
25	csvファイル出力例		2	bb
26			3	cc
27			4	dd

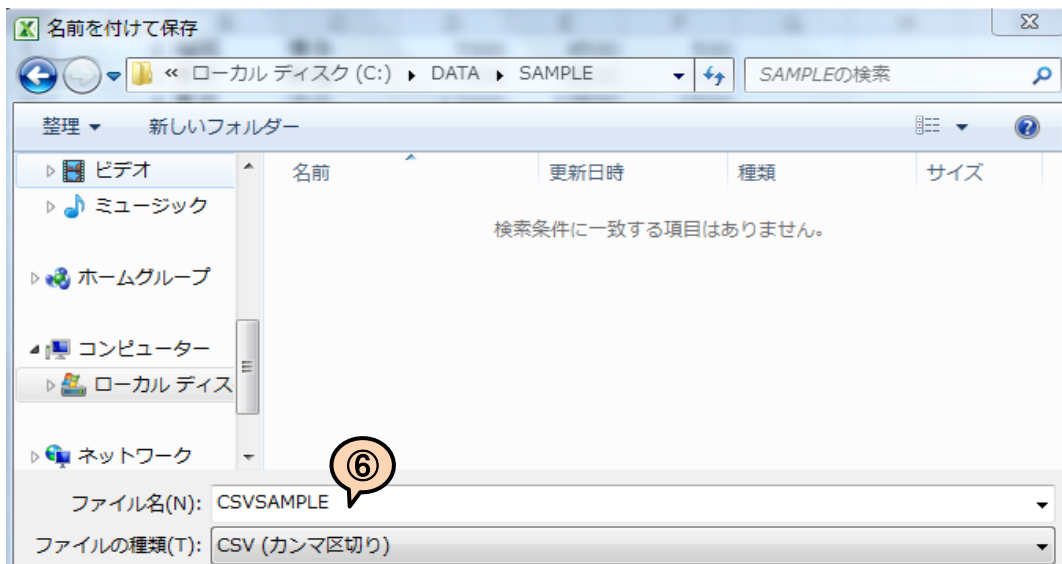
- ②[EXCELファイル読込・CSV出力]をクリックします。



- ③エクスプローラから変換ファイルを選択します。
④[開く(O)]をクリックします。



- ⑤変換対象のシートを選択します。



- ⑥保存するファイル名を入力します。
⑦[保存(S)]をクリックして、保存します。

(3) 設定値ファイル出力、設定値ファイル入力
MFSCalc設定値のファイル出力、入力を行います。

(3.1) 「WORK」シート消去

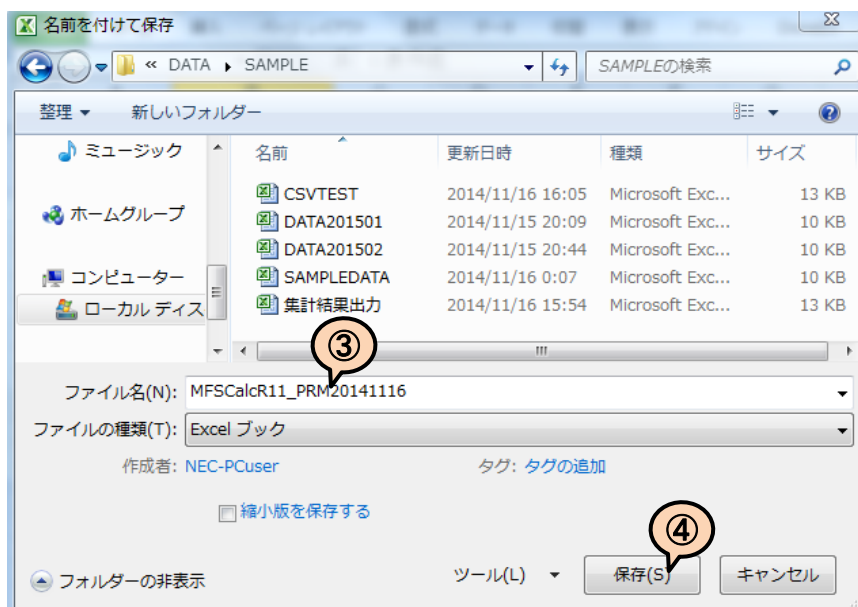
36	【設定値ファイル出力、設定値ファイル入力】	
37	※ MFSCalc設定値のファイル出力、入力を行います。	
38	WORKデータ消去2	設定値ファイル出力
40		設定値ファイル入力

- ①[WORKデータ消去2]をクリックします。
「WORK」シートの消去(列幅を初期化)を行います。

(3.2) 設定値ファイル出力

36	【設定値ファイル出力、設定値ファイル入力】	
37	※ MFSCalc設定値のファイル出力、入力を行います。	
38	WORKデータ消去2	設定値ファイル出力
40		設定値ファイル入力

- ②[設定値ファイル出力]をクリックします。



- ③エクスプローラから、設定値ファイル名 (MFSCalcR11_PRMyyyyymmdd)を確認します。
④[保存(S)]をクリックして、保存します。

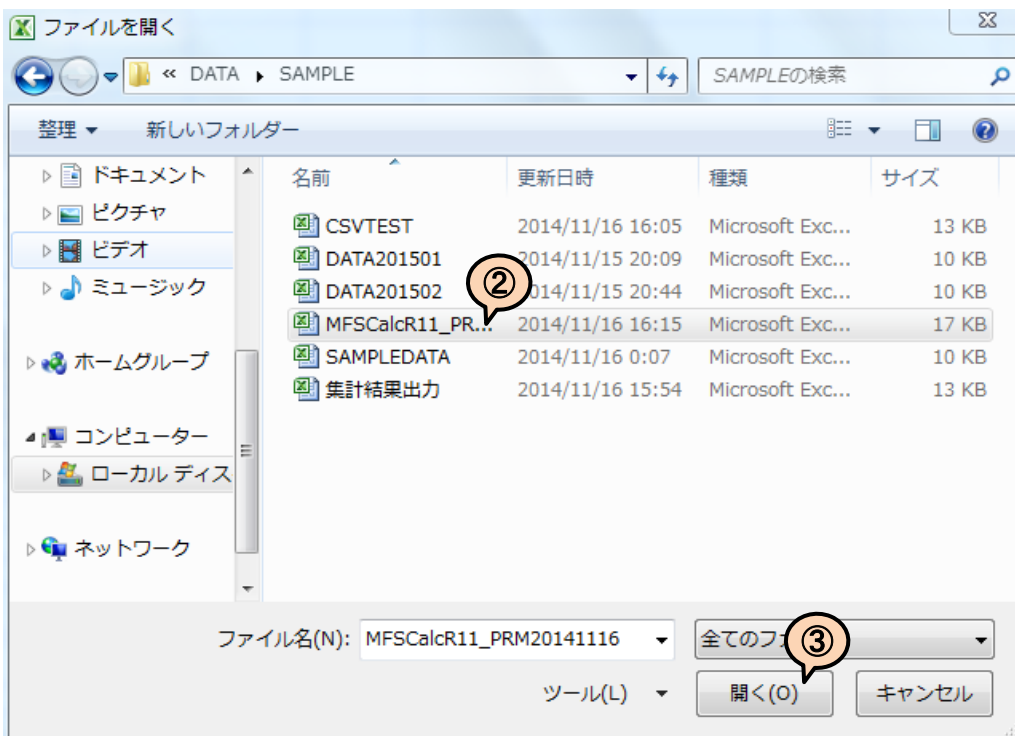
設定値ファイル情報

シート	出力情報
集計処理	・集計ファイルフォーマット、フォルダ情報 (C2:AO2の範囲の値) ・集計条件設定値 (B5:AO11の範囲の値)
集計条件	・月度・年度変換初期値、年度指定値、数字位置指定値 ・集計条件01～集計条件10設定値
設定条件	・MENUの表示形式 ・項目1～項目100情報、追加項目1～追加項目10情報
LIST1	・集計ファイルリスト、検索項目リスト、集計項目リスト ・集計条件リスト、集計ファイル項目位置情報
LIST2	・検索値リスト
FILE出力	・集計結果出力設定値 ・CSVファイル出力設定値
WORK	・無し

(3.3) 設定値ファイル入力

36	【設定値ファイル出力、設定値ファイル入力】		
37	※ MFSCalc設定値のファイル出力、入力を行います。		
38	WORKデータ消去2	設定値ファイル出力	①
40		設定値ファイル入力	

①[設定値ファイル入力]をクリックします。



②エクスプローラから、設定値ファイルを選択します。

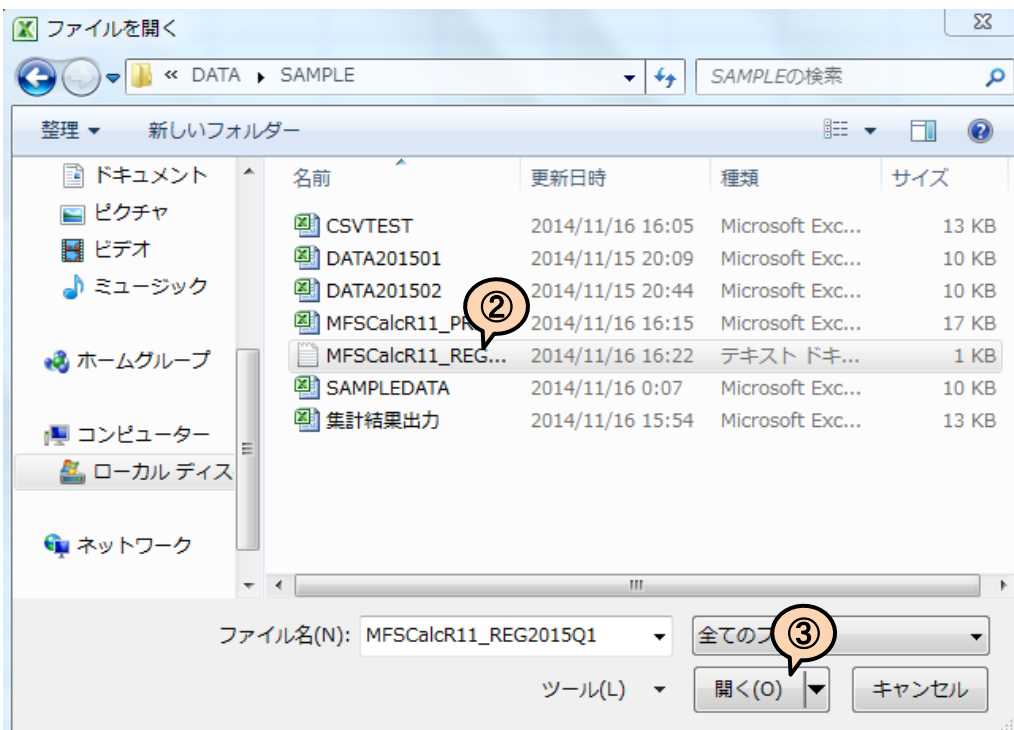
③[開く(O)]をクリックします。

設定値ファイルが読み込まれ、各シートの設定値に反映されます。

(3.4) ライセンス・キー設定

36	【設定値ファイル出力、設定値ファイル入力】		
37	※ MFSCalc 設定値のファイル出力、入力を行います。		
38	WORKデータ消去2	設定値ファイル出力 ①	
40		設定値ファイル入力	

①[設定値ファイル入力]をクリックします。



②エクスプローラから、ライセンス・キー(MFSCalcR11_REGyyyyxx)を選択します。

③[開く(O)]をクリックします。

ライセンス・キーが読み込まれ、ライセンスコードを確認後設定します。

※ライセンス・キー購入後、速やかに設定をお願いします。

4.7 WORKシート

MFSCalcからのファイル出力時の、データの一時保存用として使用します。

※【重要】行列単位に削除可能ですが、シートの削除は出来ません。

(MFSCalcアプリケーションが動作不能になります。)

5. エラーメッセージ一覧

MFSCalcで出力されるエラーメッセージの原因と対処方法は以下の通りです。

No.	エラーメッセージ	原因	対処
1	[ERROR:001] 利用制限のため利用出来ません。	利用可能制限を超えています。使用期限切れ、利用PC台数の制限、利用環境制限が考えられます。	利用可能なPC、環境での利用をお願いします。または、新規購入をご検討下さい。
2	[ERROR:002] 利用期限超過のため利用出来ません。	利用可能期限を超えています。	新規購入をご検討下さい。実行不能な実行ファイルは削除して下さい。アンインストールの必要はありません。
5	[ERROR:005] 実行ファイル名が正しくありません。	アプリケーションファイル名に“MFSCalc”が含まれていません。	アプリケーションファイル名に「MFSCalc」を含めて下さい。
10	[ERROR:010] 項目1が検索指定されていません。	項目1の検索項目が指定されていません。	項目1を検索項目として下さい。検索項目が無い場合は、※を設定して下さい。
11	[ERROR:011] 検索項目nの検索条件が指定されていません。	項目nの検索項目に検索条件が指定されていません。	項目nの検索項目に検索条件を指定して下さい。
12	[ERROR:012] 検索項目数が20を超えました。	最大検索項目数:20を超えました。	検索項目の数を20以下にして下さい。
13	[ERROR:013] 検索項目nの検索数が超過しました。	検索項目n内の検索値が97を超えました。	検索項目n内の検索値の数を、97以下にして下さい。
14	[ERROR:014] 検索項目n DATE, TIME, WEEKDAY, VALUE の式に間違いがあります。	検索項目n内のDATE, TIME, WEEKDAY, VALUE の検索式が間違っています。	検索項目nのDATE, TIME, WEEKDAY, VALUEの検索式を修正して下さい。
15	[ERROR:015] 検索項目nに、※, DATE, TIME, WEEKDAY, VALUE の指定は出来ません。	検索項目nに、※, DATE, TIME, WEEKDAY, VALUE検索式は設定出来ません。	検索項目nの検索指定を、文字列のみの検索値に変更して下さい。
16	[ERROR:16] 検索項目nの検索数が前検索数と同数ではありません。	検索項目n内の検索値の数が検索_matchの検索値の数と違います。	検索_match項目の検索値の数が同一になるように変更して下さい。
20	[ERROR:020] 計算項目nは計算式を省略出来ません。	計算項目nに計算式が指定されていません。	計算項目nに、計算式を設定して下さい。
30	[ERROR:030] 項目nの設定が不正です。	項目nの集計項目が指定されていません。	項目nに集計条件を指定して下さい。
31	[ERROR:031] 項目nは、5文字以上のファイル名を指定して下さい。	項目nの3行目に集計ファイル名の指定がありません。	項目nに集計ファイル名の指定をして下さい。
32	[ERROR:032] 項目nのファイル設定が不正です。	項目nの3行目に集計ファイル名の指定がありません。	項目nに集計ファイル名の指定をして下さい。
35	[ERROR:035] 項目nは、検索条件を指定して下さい。	項目nの集計検索項目が指定されていません。	項目nに検索項目の指定をして下さい。
40	[ERROR:040] 集計検索項目nの検索数が超過しました。	項目nの集計検索項目の検索値の数が30を超えました。	項目nの集計検索項目の検索値の数を30以下にして下さい。
41	[ERROR:041] 集計検索項目n DATE, TIME, WEEKDAY, VALUE の式に間違いがあります。	集計検索項目n内のDATE, TIME, WEEKDAY, VALUE の検索式が間違っています。	集計検索項目nのDATE, TIME, WEEKDAY, VALUEの検索式を修正して下さい。
42	[ERROR:042] 項目n SORT指定 DATE, TIME, WEEKDAY, VALUE の式に間違いがあります。	項目n内のSORT指定, DATE, TIME, WEEKDAY, VALUE の検索式が間違っています。	項目nのSORT指定, DATE, TIME, WEEKDAY, VALUEの検索式を修正して下さい。
43	[ERROR:043] 項目n SORT指定 出力制限の検索数が超過しました。	項目nの出力制限の検索値の数が30を超えました。	項目nのSORT指定の検索値の数を30以下にして下さい。
50	[ERROR:050] 項目nのファイル設定が不正です。	項目nの集計ファイル名の指定に間違いがあります。	項目nの集計ファイル名の指定を修正して下さい。

60	[ERROR:060] ファイル:filename が存在しません。	集計ファイル:filenameが見付かりませんでした。	集計ファイル名の確認、修正をして下さい。
70	[ERROR:070] 項目列ズレ補正不能 File=filename[sheetname] 検索項目:項目名	集計ファイルの項目列ズレ補正で検索項目:が見付かりません。	項目ズレ補正対象ファイルの項目名を確認して下さい。項目名を修正するか、集計対象ファイルから削除して下さい。
71	[ERROR:071] 項目列ズレ補正不能 File=filename[sheetname] 集計項目:項目名	集計ファイルの項目列ズレ補正で集計項目:が見付かりません。	項目ズレ補正対象ファイルの項目名を確認して下さい。項目名を修正するか、集計対象ファイルから削除して下さい。
72	[ERROR:072] 項目列ズレ補正不能 File=filename[sheetname] 集計検索項目:項	集計ファイルの項目列ズレ補正で集計検索項目:が見付かりません。	項目ズレ補正対象ファイルの項目名を確認して下さい。項目名を修正するか、集計対象ファイルから削除して下さい。
90	[ERROR:090] 最大行数:10000 を超過しました。	集計処理最大行数:10000 を超えました。	検索結果の行数を減らすため、検索条件を調整するか、集計ファイル・シート数を減らして下さい。
91	[ERROR:091] 中間集計式が1024文字を超過しました。	集計結果の中間集計計算式が最大1024文字を超えました。	中間集計を解除して下さい。または、中間集計項目・ソート方法を変更して中間集計数を減らして下さい。
99	[ERROR:099] Escキーが押されたか、処理エラーが発生しました。 (ファイル:filename シート:[sheetname] 行番号:mmmm)	処理が中断されました。原因として、 ①Escキーが押された。(ファイル読込前の処理でEscキーが押された場合、ファイル名は、空白です。) ②集計処理において回避出来ないデータ(#NAME?, #VALUE!, #N/A, #REF!, #NUM!, #NULL!等)が有った場合。(ファイル表示は、処理不能ファイルの処理不能行です。) ③計算項目の計算式・検索式に間違いが有った場合。(ファイル表示は、最終読込ファイルの最終行です。) ④集計結果の中間集計計算式が最大1024文字を超えた場合。(ファイル表示は、最終読込ファイルの最終行です。)	①集計ファイル読込中の場合は、ファイルが開いていますので、閉じて下さい。 ②不正値回避指定で再度集計処理を行う(回避出来ない場合が有ります)。または、読込不能となった、ファイル名、シート名、行番号を確認して、読込データを修正(通常はデータ削除)するか、集計ファイルの指定を外して下さい。 ③計算項目の計算式を修正して下さい。または、DATE・TIME・WEEKDAY・VALUE検索式を修正して下さい。 ④中間集計を解除して下さい。または、分割集計項目・ソート方法を変更して分割集計数を減らして下さい。
100	[ERROR:100] ファイル:filenameが不正です。	ファイル名:filenameの実ファイルが存在しません。	読込可能なファイルで再度実行して下さい。
110	[ERROR:110] ファイル:filenameが存在しません。	LIST1シートのファイル名:filenameの実ファイルが存在しません。	LIST1シートのファイル名リストを変更して下さい。
111	[ERROR:111] LIST1シートに、データファイルリストが存在しません。	LIST1シートのファイル名リストが有りません。	LIST1シートにファイル名リストを作成するか、新しい集計アプリケーションに替えて下さい。
112	[ERROR:112] フォーマット形式の指定が不正です。	B1セルのファイル形式が不正です。	B1セルのファイル形式をリストから選択して下さい。
113	[ERROR:113] データファイルが指定されていません。	集計データファイルが選択されていません。	集計対象ファイルを再度選択します。
119	[Warning:119] 項目行を認識出来ませんが、処理を継続します。	集計データファイルの項目行の認識が出来ませんでした。	集計ファイルの項目行(項目名情報取得時の値が設定されます)を確認し、変更が有れば直接入力します。
120	[ERROR:120] 集計・計算項目のリスト作成は出来ません。	LIST2シートの検索リストが作成出来ません。	検索項目で●LIST2を指定して下さい。
121	[ERROR:121] 指定範囲外のため処理を行いません。	項目のシフト指定範囲が正しく有りません。	項目設定範囲で実行して下さい。
122	[ERROR:122] この位置での左SHIFTは出来ません。	項目1より左に検索項目をシフトさせるか、項目5より左に集計項目をシフトさせる指定は出来ません。	左への項目移動の制限を超えないよう、設定をし直して下さい。
125	[ERROR:125] 集計条件番号が不正です。	集権条件の条件番号が不正です。	条件番号は01から11の値にして下さい。

130	[ERROR:130] 集計条件番号が不正です。	集権条件の条件番号が不正です。	条件番号は01から11の値にして下さい。
200	[ERROR:200] 出力範囲設定値:開始行 が不正です。	出力範囲設定値:開始行 が1未満です。	出力範囲設定値:開始行を1以上の値に変更して下さい。
201	[ERROR:201] 出力範囲設定値:開始列 or 検索列 or 終了列 が不正です。	出力範囲設定値:開始列 or 検索列 or 終了列の値の大小関係が不正です。	出力範囲設定値:開始列 <= 検索列 <= 終了列 として下さい。
203	[ERROR:203] 出力範囲設定値:RSTRT=rstrt が表範囲を超えています。	出力開始列範囲が集計表の範囲を超えています。	集計結果列数以下となるように、出力開始列を指定して下さい。
210	[ERROR:210] WORKシート消去後、実行して下さい。	WORKシートのデータが消去されていません。	WORKデータ消去を実行して下さい。
211	[ERROR:211] ファイル:filename が不正です。	出力ファイル名の指定が間違っています。	集計結果の出力ファイル名を修正して下さい。
212	[ERROR:212] 同一シート名が存在するため、追加出来ません。	シート追加指定の場合、指定した追加シート名と同一のシート名が存在します。	集計結果のシート追加出力で同一のシート名にならないよう、追加シート名を変更して下さい。
250	[ERROR:250] 出力範囲設定値:開始行 が不正です。	出力範囲設定値:開始行 が1以下です。	出力範囲設定値:開始行を1以上の値に変更して下さい。
251	[ERROR:251] 出力範囲設定値:開始列 or 検索列 or 終了列 が不正です。	出力範囲設定値:開始列 or 検索列 or 終了列の値の大小関係が不正です。	出力範囲設定値:開始列 <= 検索列 <= 終了列 として下さい。
253	[ERROR:253] 出力範囲設定値:RSTRT=rstrt が表範囲を超えています。	出力開始列範囲が集計表の範囲を超えています。	集計結果列数以下となるように、出力開始列を指定して下さい。
260	[ERROR:260] WORKシート消去後、実行して下さい。	WORKシートのデータが消去されていません。	WORKデータ消去を実行して下さい。
261	[ERROR:261] ファイル:filename が不正です。	出力ファイル名の指定が間違っています。	集計結果の出力ファイル名を修正して下さい。
262	[ERROR:262] 同一シート名が存在するため、追加出来ません。	シート追加指定の場合、指定した追加シート名と同一のシート名が存在します。	集計結果のシート追加出力で同一のシート名にならないよう、追加シート名を変更して下さい。
300	[ERROR:300] WORKシート消去後、実行して下さい。	WORKシートのデータが消去されていません。	WORKシートのデータ消去を実行して下さい。
310	[ERROR:310] MFSCalc設定値ファイル:filename が不正です。	設定値ファイルの形式が、.xlsx 形式では有りません。	設定値FILE出力で出力された設定値ファイルを読み込んで下さい。
311	[ERROR:311] 同一ファイル名は不可です。File:filename	設定値ファイルのファイル名が同一です。	アプリケーションと同一ファイル名とならないよう設定値ファイル名を変更して下さい。
312	[ERROR:312] MFSCalc設定値ファイル名が不正です。File:filename	設定値ファイル名に、MFSCalcの文字列が有りません。	設定値ファイル名にMFSCalcの文字列を入れて下さい。
315	[ERROR:315] 読込不能ファイルまたは、読込不能Versionです。	対象ファイルのバージョンは読込可能では有りません。	R11,R06の読込可能な設定値ファイルを読込んで下さい。
319	[ERROR:319] EXCELファイル形式が違います、確認して下さい。	実行ファイル形式が違います。	アプリケーションに問題が有ります。(通常は発生しません。)
320	[ERROR:320] ライセンス情報に誤りがあります。	ライセンス・キーの内容が正しくないか、再読込は出来ません。	正規のライセンス・キーを確認して下さい。
400	[ERROR:400] READ FILE:filename が不正です。	入力ファイルの形式が読込不能です。	.xls,.xlsx,xlsm いずれかのファイル形式のファイルを指定して下さい。
401	[ERROR:401] WORKシート消去後、実行して下さい。	WORKシートのデータが消去されていません。	WORKシートデータ消去を実行して下さい。

2013年12月1日 初版発行